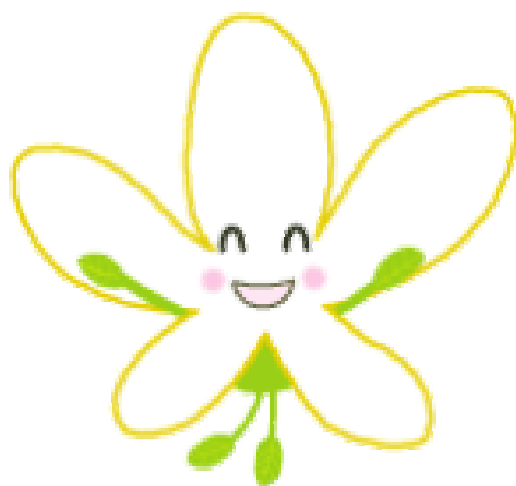


平成22年度 青葉区区民意識調査

調査結果報告書

(概要版)



平成22年9月

横浜市青葉区

平成22年度 青葉区区民意識調査

目 次

調査概要.....	2
. 回答者の属性.....	3
. 調査結果(概要).....	10
1. 青葉区の生活環境について.....	10
2. 健康・子育てについて.....	20
3. 情報関係について.....	30
4. 大学連携事業について.....	42
5. 買い物について.....	43
6. 地域活動・地域社会について.....	46
7. 危機管理について.....	63
8. 区政・行政サービスについて.....	65
調査票.....	68

青葉区 区民意識調査

調査概要

調査目的

青葉区民の日常生活における行動や意識を調査し、今後の区政運営の参考とすることを目的とする。

調査対象

調査対象数（青葉区に居住する 16 歳以上の男女無作為抽出） 3,000 人

調査方法

郵送によるアンケート形式

調査期間

平成 22 年 6 月

有効回答数：1,467 件（48.9%）

集計結果の見方

図（グラフ）の中で使用されているアルファベットの意味は次の通り。

MA : 複数回答（マルチアンサー）の設問

N : その設問に対する回答者数

回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると 100%を超える場合がある。また、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならない場合がある。

概要数値の見方

数値はそれぞれ割合（%）を表示。基数の記述があるもの以外は有効回収数を基本としている（N=1,467）。

クロス集計表の見方

濃いグレーの塗りつぶし：選択肢の中で、第 1 位の項目については濃いグレーで塗りつぶしている。

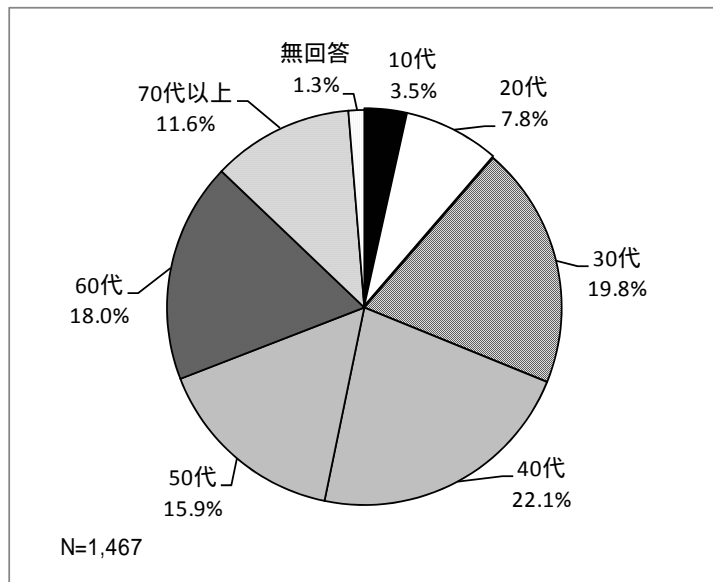
薄いグレーの塗りつぶし：属性別にみて、区全体の数値と比べてかなり高い（概ね 10 ポイント以上）

数値の項目、やや高い（概ね 8.5～10 ポイント）数値の項目については、薄いグレーで塗りつぶして特記している。

. 回答者の属性

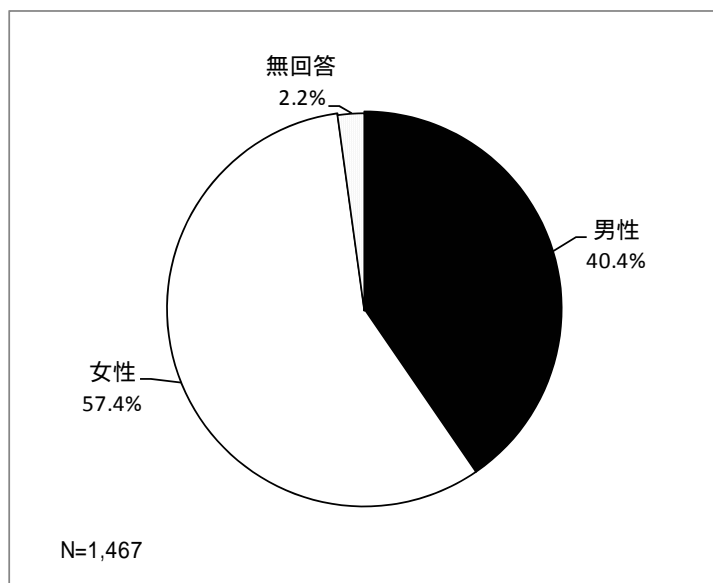
年齢 (F 1)

40代が最多、10代が最少。世代別で見ると、中年層がやや多いもののほぼ均等に分布



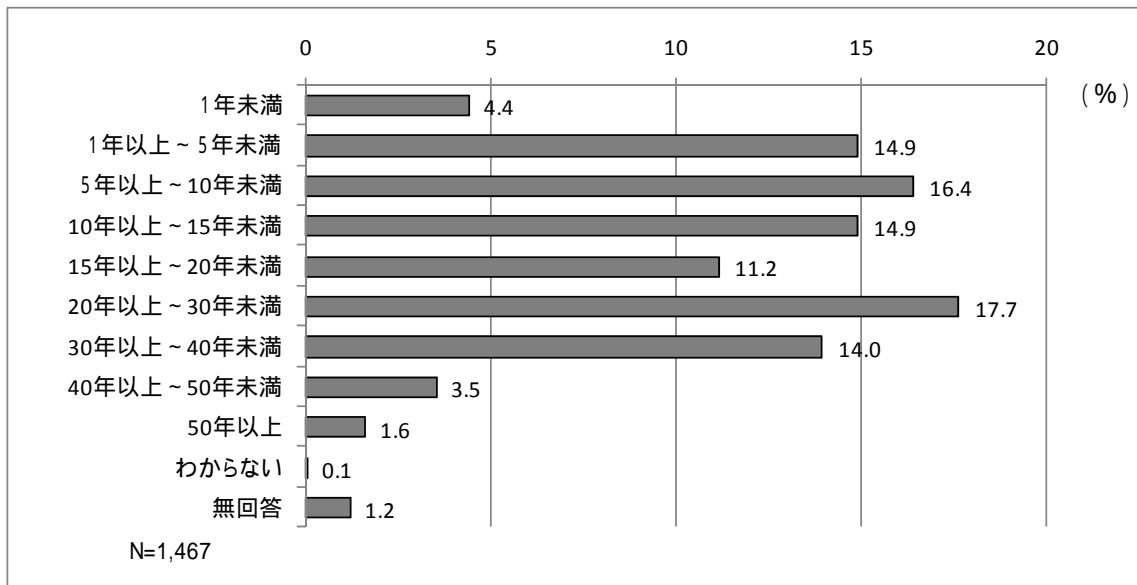
性別 (F 2)

女性が男性より 17 ポイント多い



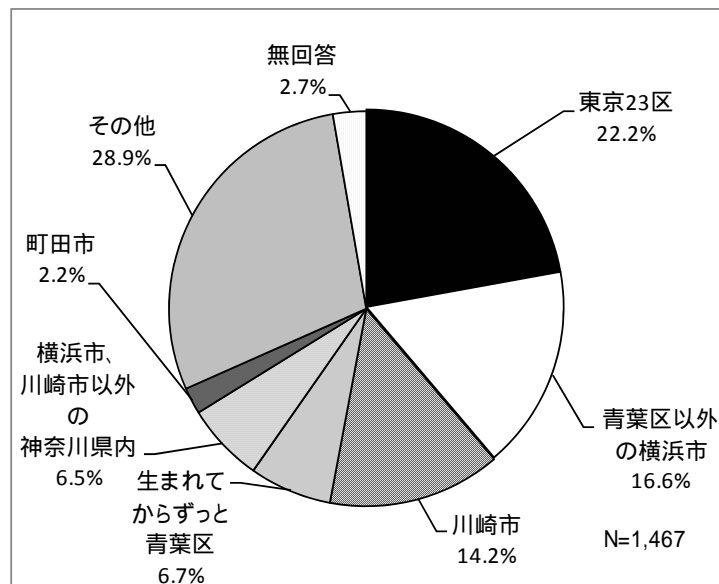
居住期間 (F 3)

「20年以上～30年未満」が最も多い



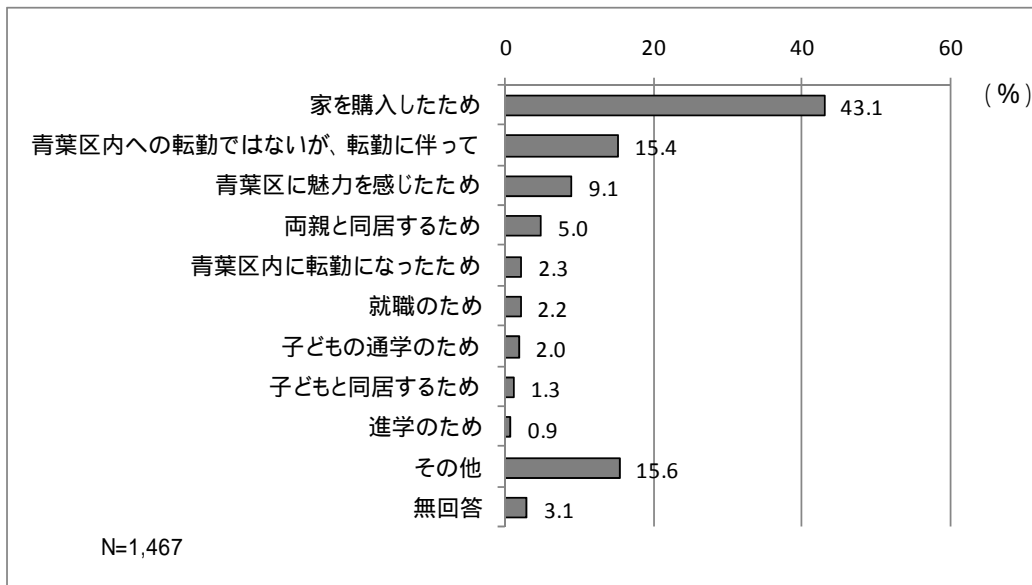
以前の居住地 (F 4)

「東京23区」が2割強で最も多い



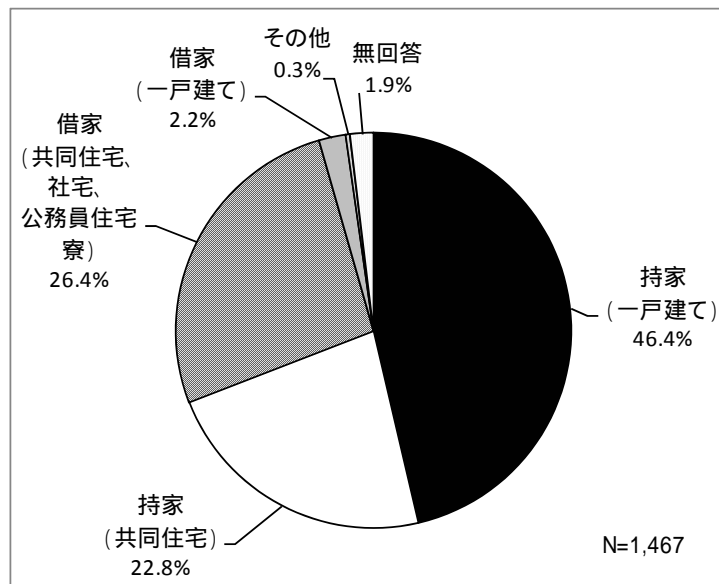
青葉区へ転入してきた最大の理由（F 4 - 1）

「家を購入したため」が全体の4割強に達している



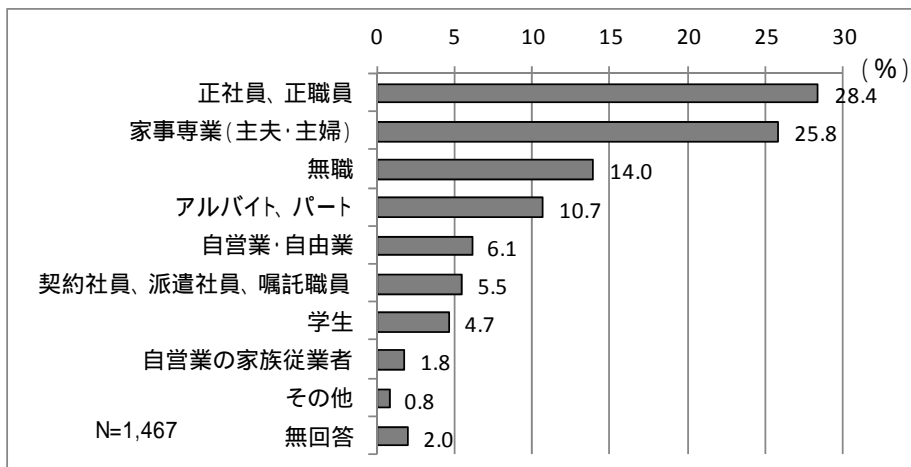
住居形態（F 5）

「持家（一戸建て）」が半数弱を占める。持家比率は7割近くに達する



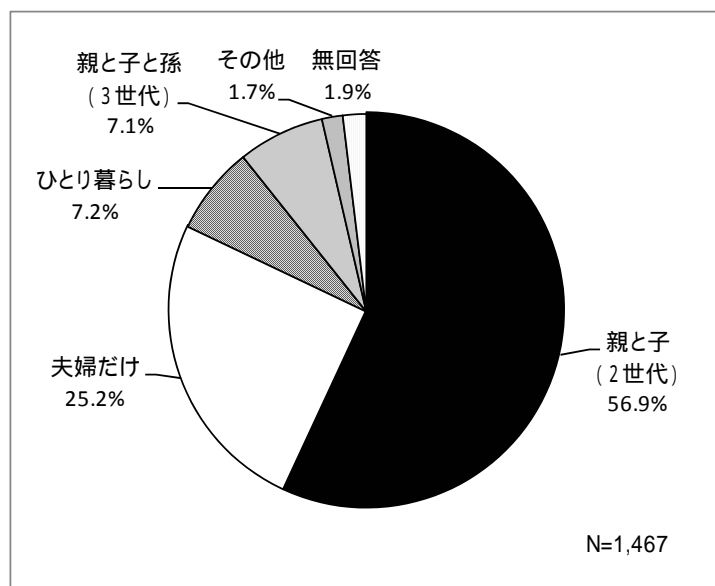
職業 (F 6)

「正社員、正職員」が3割弱、次いで「家事専業(主夫・主婦)」が全体の約4分の1



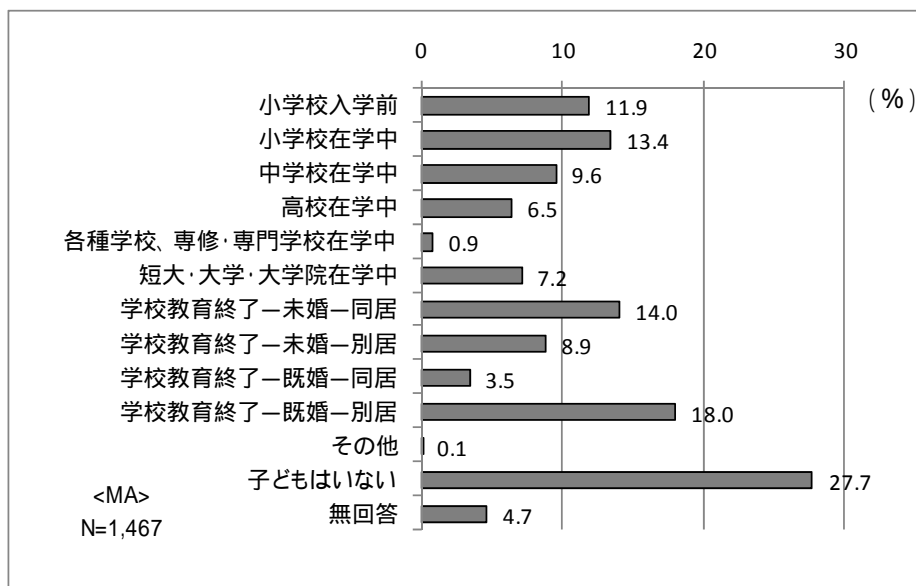
家族形態 (F 7)

「親と子(2世代)」が過半数を占め、次いで「夫婦だけ」が全体の4分の1



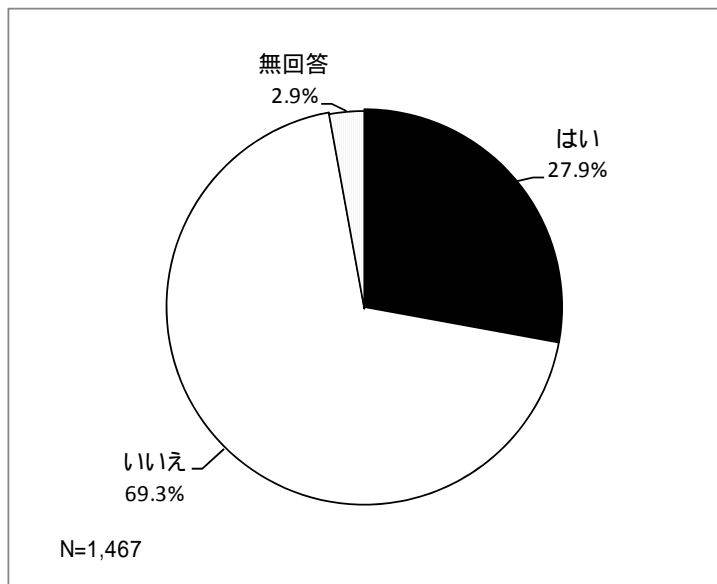
子どもの有無および段階（F 8）

「子どもはいない」が3割弱で最も多くなっている



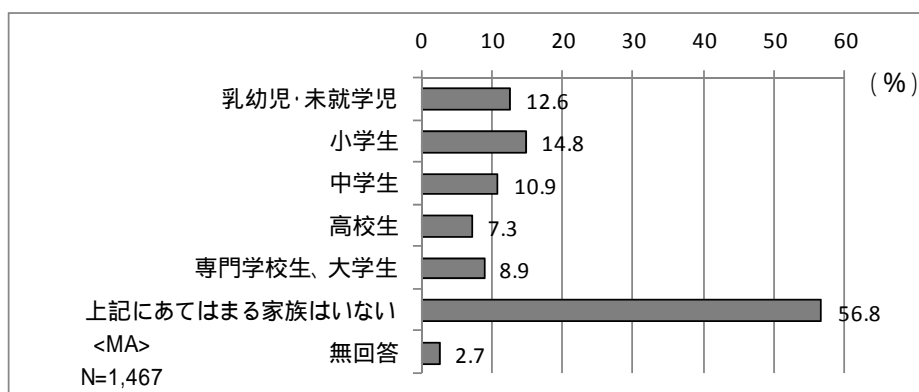
共働きか否か（F 9）

全体の7割を共働きでない家庭が占めている



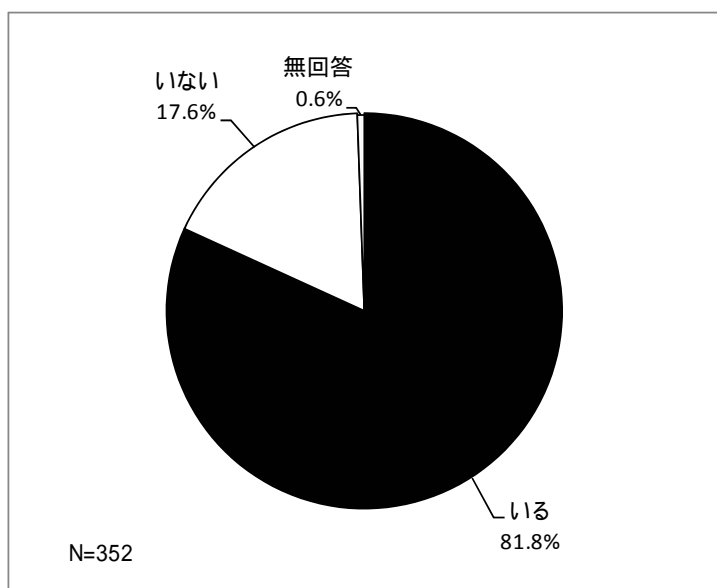
同居している子ども (F 10)

乳幼児から大学生までの子どもがいない家庭が過半数を占める



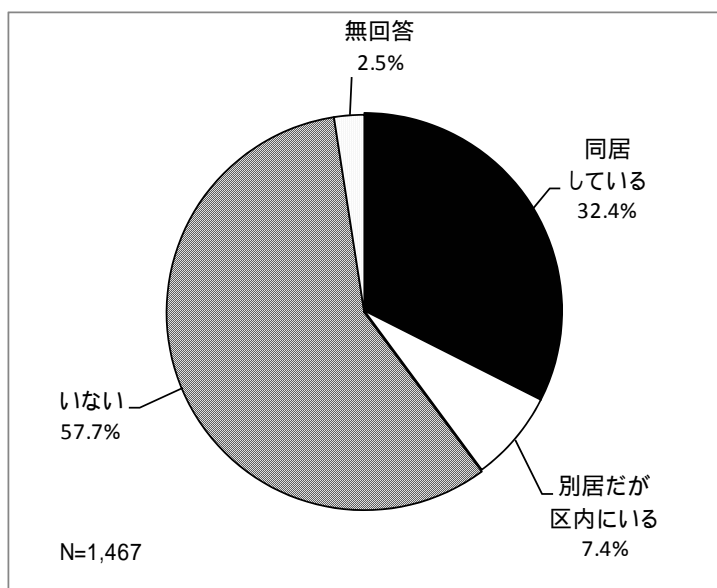
日中子どもの世話をする人の有無 (F 10 - 1)

小学生まで子どもがいる家庭では、8割以上が日中子どもの世話をする人がいる



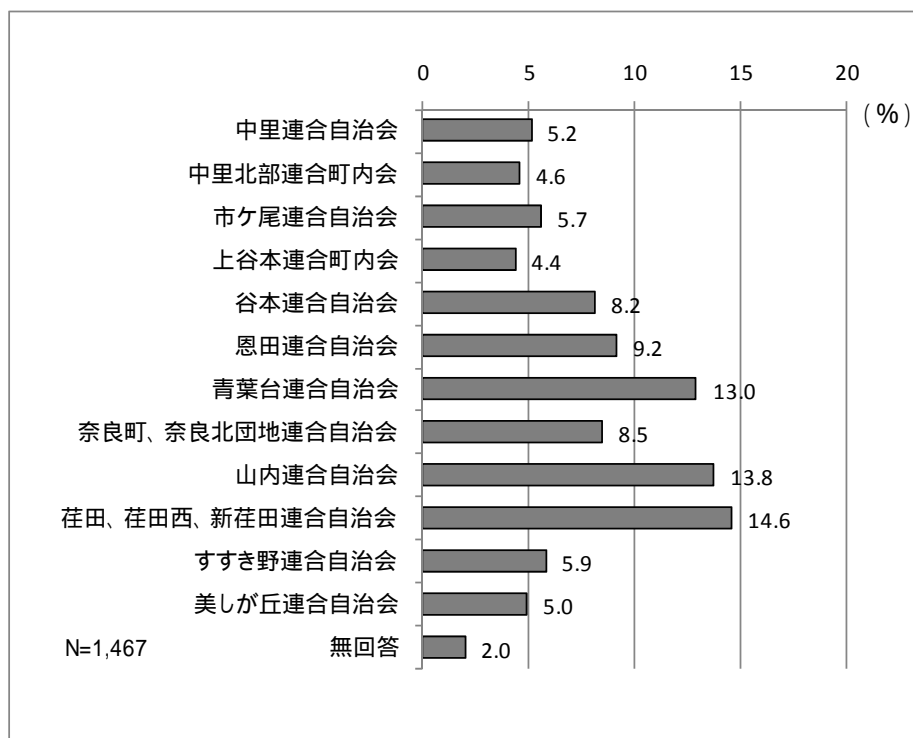
区内における 65 歳以上の家族の有無（自身も含む）(F 11)

区内に 65 歳以上の家族がない世帯が過半数だが、同居している世帯も全体の約 3 分の 1



居住地域 (F 12)

「荏田、荏田西、新荏田連合自治会」「山内連合自治会」「青葉台連合自治会」が多くなっている



調査結果(概要)

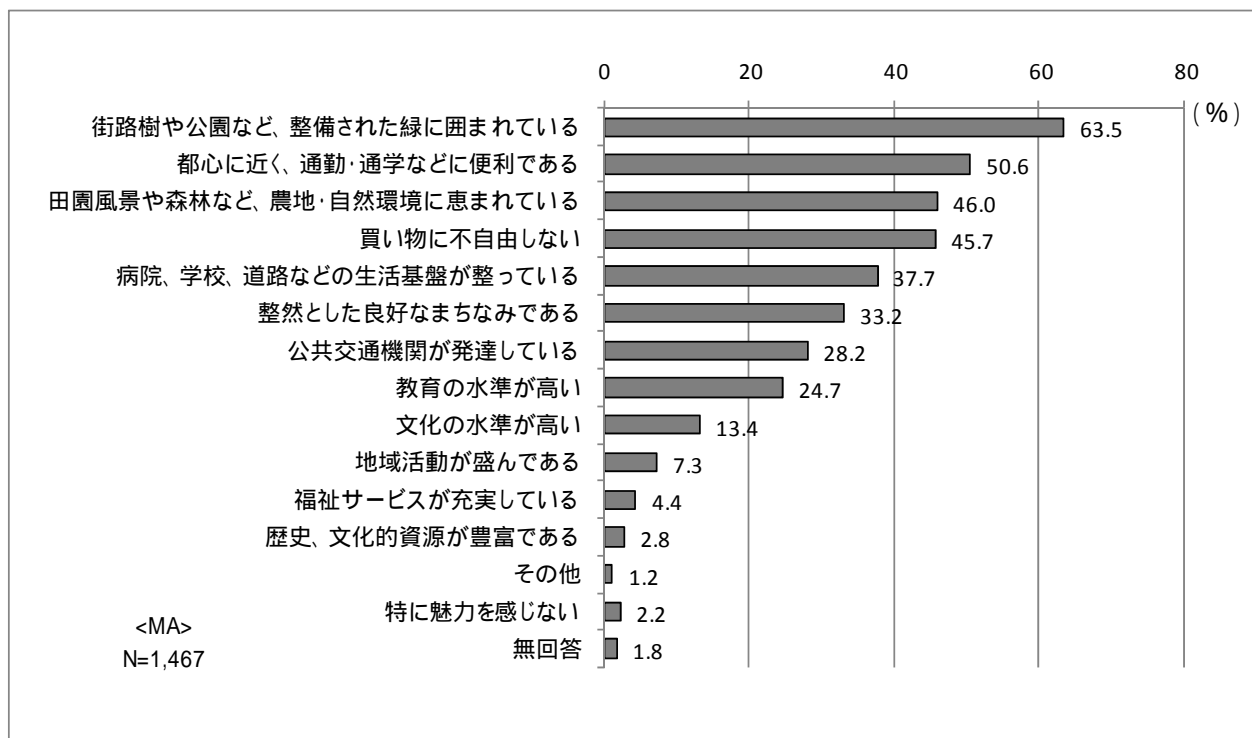
1. 青葉区の生活環境について

青葉区の魅力(問1)

洗練された街並みや利便性の良さと、緑の多い良好な住環境に恵まれている点が魅力と捉えられている

- 最も多いのは「街路樹や公園など、整備された緑に囲まれている」で、6割強の人が挙げている。次いで「都心に近く、通勤・通学などに便利である」、「田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている」、「買い物に不自由しない」で、洗練された街並みや利便性の良さがありながら、緑の多い良好な住環境にも恵まれている点が魅力と捉えられている。

図 青葉区の魅力(はいくつでも)



年齢別 青葉区の魅力(問1×F1)

- ・ 10代のみ「都心に近く、通勤・通学などに便利である」、20代以上の世代では「街路樹や公園など、整備された緑に囲まれている」が最も多くなっている。
- ・ また、40代では「教育の水準が高い」、70代以上では「病院、学校、道路などの生活基盤が整っている」の数値が他に比べて高く、60代では「田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている」の数値がやや高くなっている。

図 年齢別 青葉区の魅力

		全体	街路樹や公園など、整備された緑に囲まれている	都心に近く、通勤・通学などに便利である	田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている	買い物に不自由しない	病院、学校、道路などの生活基盤が整っている	整然とした良好なまちなみである	公共交通機関が発達している	教育の水準が高い	文化の水準が高い	地域活動が盛んである	福祉サービスが充実している	歴史、文化的資源が豊富である	特に魅力を感じない	無回答	その他
全 体		1,467	931	742	675	671	553	487	413	363	196	107	65	41	33	26	18
全体		-	63.5	50.6	46.0	45.7	37.7	33.2	28.2	24.7	13.4	7.3	4.4	2.8	2.2	1.8	1.2
F 1 年齢	10代	51	31.4	49.0	33.3	39.2	21.6	29.4	31.4	13.7	3.9	2.0	5.9	0.0	2.0	0.0	0.0
	20代	115	55.7	51.3	41.7	36.5	34.8	35.7	21.7	12.2	8.7	6.1	1.7	1.7	3.5	0.9	1.7
	30代	291	64.6	44.0	39.2	48.5	30.6	34.7	26.8	21.0	6.2	5.8	4.1	2.1	2.4	1.4	1.0
	40代	324	65.7	51.5	45.1	45.4	37.0	34.9	23.1	34.6	11.4	6.5	2.2	2.2	1.9	1.5	2.5
	50代	233	63.1	56.2	51.1	45.1	34.3	37.3	31.3	24.9	19.3	3.4	4.7	1.7	2.1	1.3	0.9
	60代	264	67.8	50.4	54.9	48.1	44.3	26.5	31.1	26.5	21.2	11.4	6.8	3.4	1.5	1.1	0.4
	70代以上	170	64.7	51.8	47.1	48.2	52.9	31.2	34.7	21.2	15.9	12.9	7.1	7.1	3.5	5.3	1.2
	無回答	19	73.7	57.9	31.6	36.8	31.6	36.8	26.3	26.3	5.3	5.3	0.0	5.3	0.0	5.3	0.0

<参考> 平成 21 年度調査結果との比較

- 平成 21 年度調査までは自然環境への評価を「豊かな緑、丘陵、田園風景などの自然環境に恵まれている」に一本化していたが、今年度は整備された都市的な緑と、農地や自然などの自然環境に分け「街路樹や公園など、整備された緑に囲まれている」「田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている」の 2 本の選択肢を設定した。このため単純な比較はできないが、緑地や優れた環境への評価が最上位にきており、次いで利便性の高さが評価されているという点では変わっていない。
- なお、今年度の調査では「街路樹や公園など、整備された緑に囲まれている」を選択した人の約半数と「田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている」を選択した人の 3 分の 2 が、両方の選択肢を選択している。
- また、今年度は「教育水準」「文化水準」への評価に関する選択肢も二本化したため、次の「公共交通機関が発達している」と順位が逆転しているが、それ以外の項目については昨年度と順位の移動はない。

図 <参考> 平成 21 年度調査結果

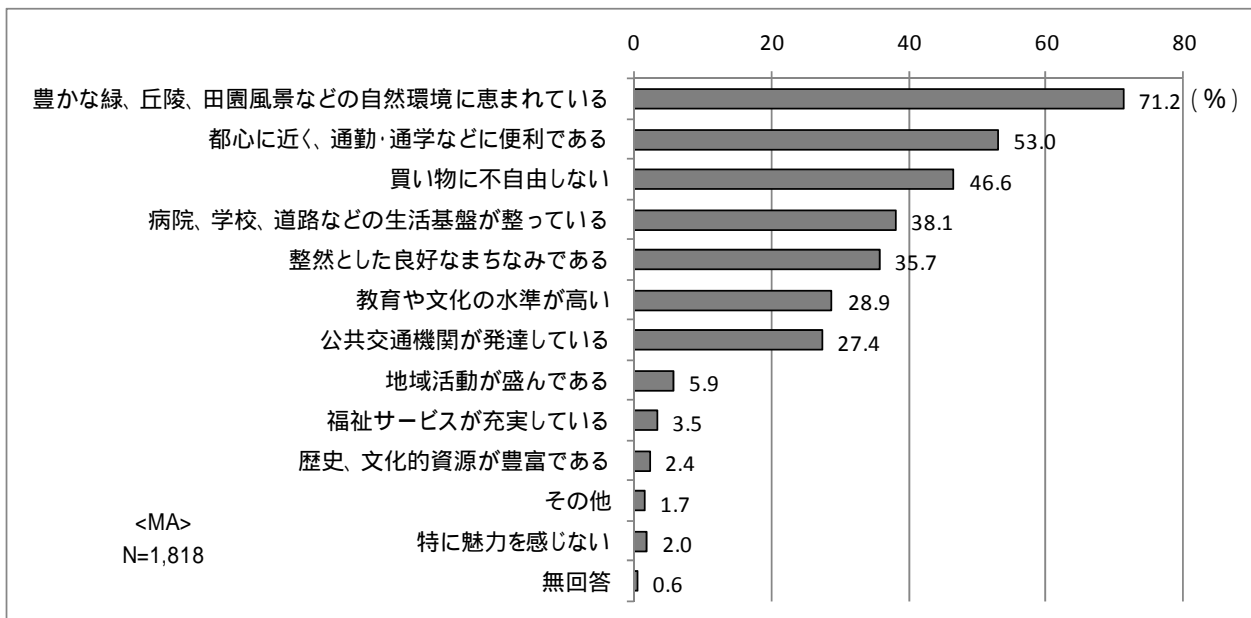
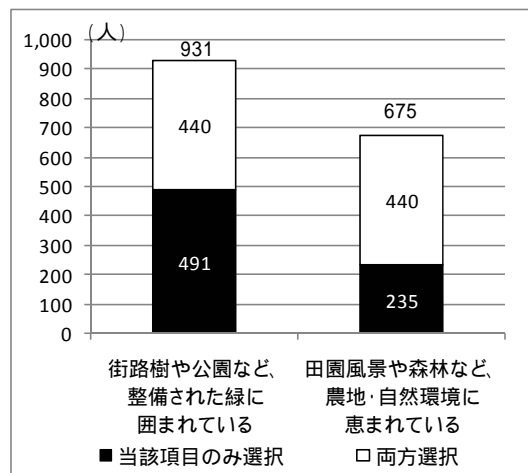


図 自然環境関連選択肢の内訳(今年度調査)

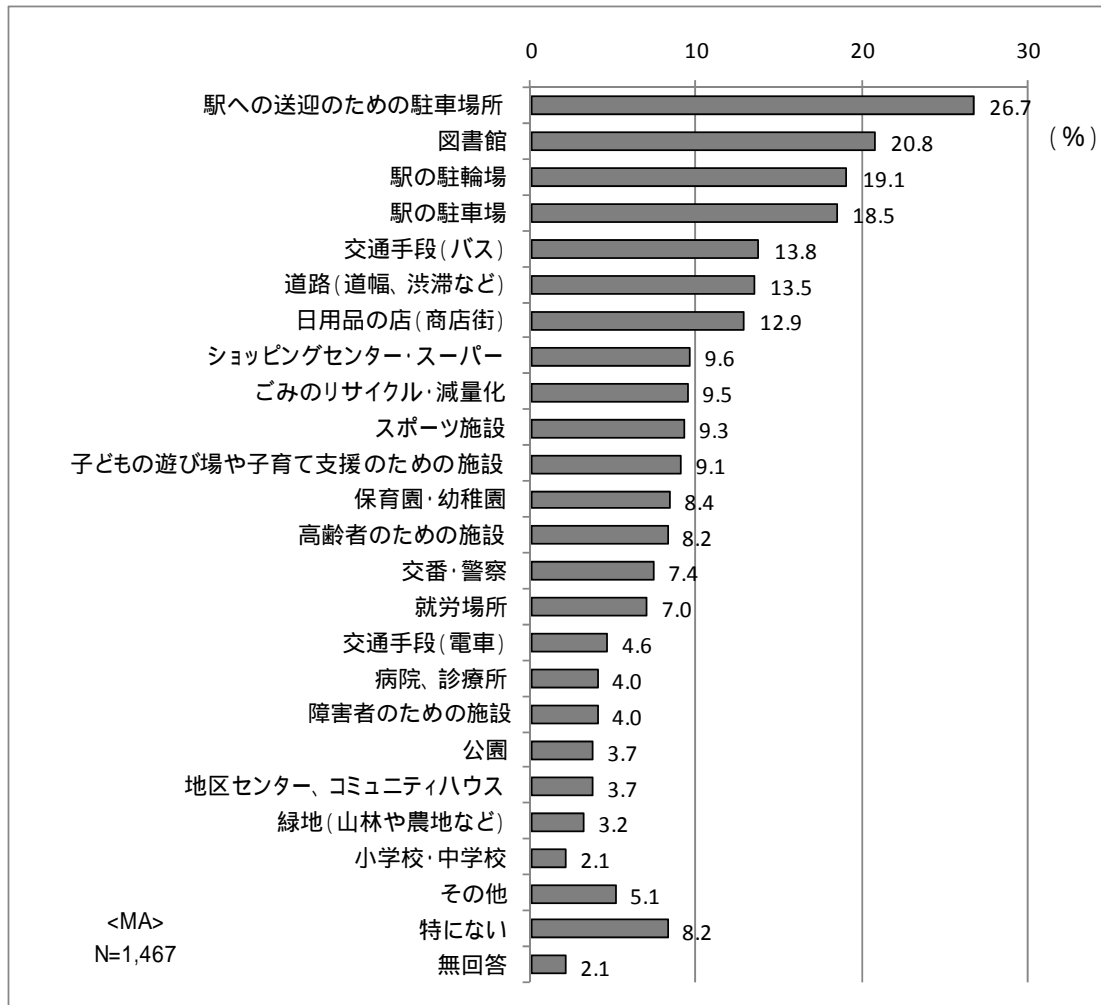


日々の生活の中の不足・不便（問2）

交通問題、特に駐車・駐輪場所の不足を挙げる声が目立って多くなっている

- ・ 「駅への送迎のための駐車場所」が最も多くなっている。次に多いのは「図書館」であるが、次いで「駅の駐輪場」、「駅の駐車場」、「交通手段（バス）」、「道路（道幅、渋滞など）」と続き、交通問題、特に駐車・駐輪場所の不足を挙げる声が目立って多くなっている。

図 日々の生活の中で、不足もしくは不便と思うこと（は3つまで）



年齢別 日々の生活の中で、不足もしくは不便と思うこと(問2×F1)

- ・ 10代では「駅の駐輪場」、20代では「図書館」、30代から60代までの世代では「駅への送迎のための駐車場所」、70代以上では「高齢者のための施設」が最も多くなっており、世代間で回答が分かれた。
- ・ また、10代では「スポーツ施設」の数値が他世代に比べて高くなっているほか、子育て世代である30代では「保育園・幼稚園」の数値が他世代に比べてやや高くなっている。

図 年齢別 日々の生活の中で、不足もしくは不便と思うこと

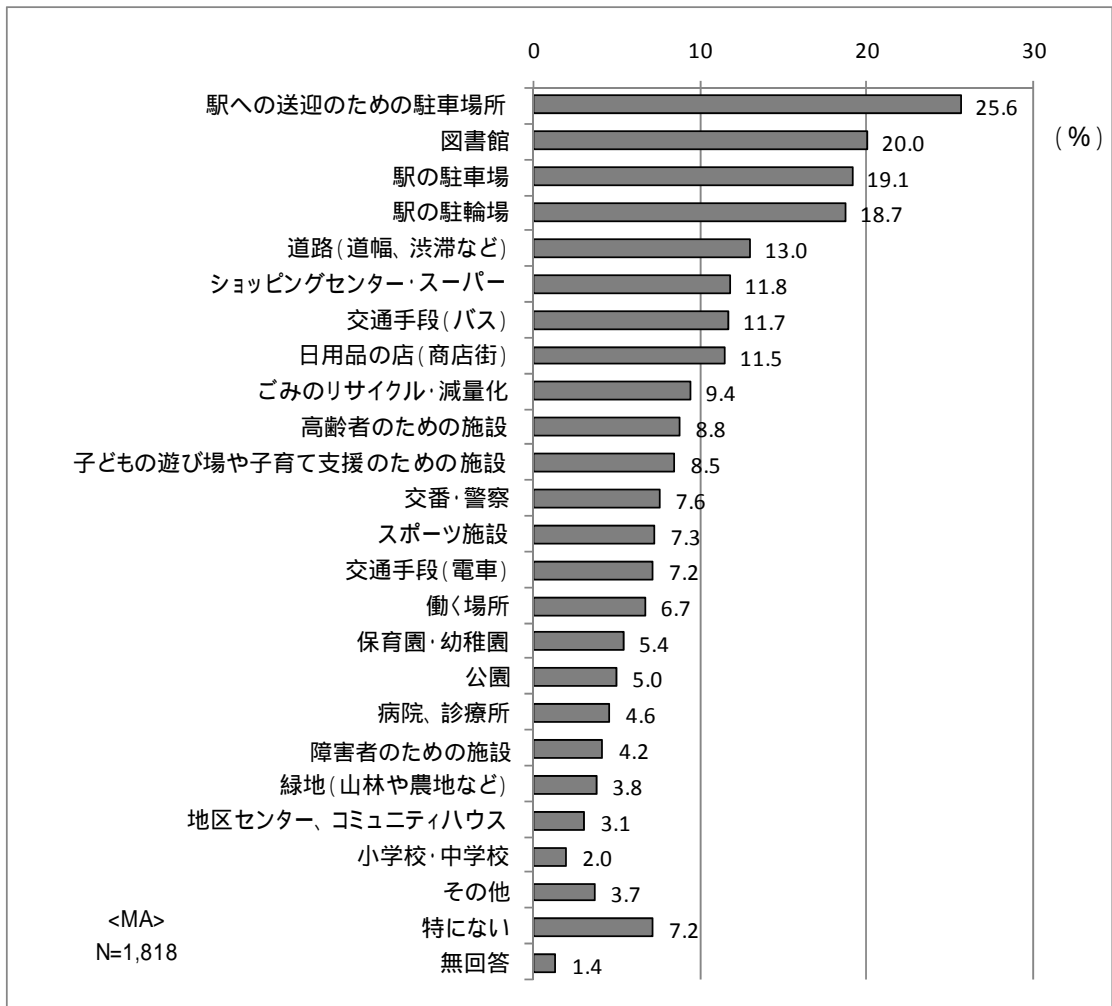
	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
全体	1,467 -	51	115	291	324	233	264	170	19
駅への送迎のための駐車場所	392 26.7	11.8	13.0	26.5	32.1	29.6	31.8	19.4	21.1
図書館	305 20.8	19.6	30.4	20.6	25.0	18.9	19.3	12.4	15.8
駅の駐輪場	280 19.1	23.5	25.2	23.0	24.7	17.6	11.0	12.4	5.3
駅の駐車場	271 18.5	3.9	15.7	16.2	18.5	24.0	20.5	17.1	26.3
交通手段(バス)	202 13.8	13.7	14.8	11.3	16.4	11.6	14.4	14.1	15.8
道路(道幅、渋滞など)	198 13.5	11.8	10.4	17.2	16.0	11.6	11.7	10.0	15.8
日用品の店(商店街)	189 12.9	13.7	14.8	10.7	11.1	14.6	11.7	17.6	15.8
ショッピングセンター・スーパー	141 9.6	13.7	15.7	10.7	9.0	9.4	8.0	7.6	0.0
ごみのリサイクル・減量化	139 9.5	5.9	7.8	9.6	10.2	8.6	9.8	10.6	10.5
スポーツ施設	136 9.3	21.6	13.0	10.7	11.7	8.6	6.4	1.8	5.3
子どもの遊び場や子育て支援のための施設	133 9.1	7.8	8.7	16.5	9.3	4.3	8.0	5.9	0.0
保育園・幼稚園	123 8.4	2.0	11.3	17.5	6.5	7.7	4.5	3.5	5.3
高齢者のための施設	121 8.2	0.0	0.9	1.4	3.1	8.2	17.8	21.2	21.1
交番・警察	109 7.4	2.0	7.8	5.8	6.5	8.6	8.0	10.6	10.5
就労場所	103 7.0	3.9	10.4	7.6	6.8	5.6	9.8	2.4	10.5
交通手段(電車)	68 4.6	7.8	8.7	6.9	5.2	3.0	1.9	1.8	10.5
病院、診療所	59 4.0	2.0	3.5	4.8	3.7	2.6	5.3	4.7	0.0
障害者のための施設	59 4.0	3.9	1.7	3.1	3.1	3.0	6.4	6.5	5.3
公園	55 3.7	2.0	1.7	4.8	6.5	2.1	2.3	3.5	0.0
地区センター、コミュニティハウス	55 3.7	0.0	3.5	2.7	4.6	4.7	4.9	2.4	0.0
緑地(山林や農地など)	47 3.2	5.9	3.5	4.1	2.8	2.1	3.0	3.5	0.0
小学校・中学校	31 2.1	2.0	1.7	2.1	4.9	0.9	0.4	1.8	0.0
その他	75 5.1	3.9	3.5	5.8	7.4	3.0	3.8	5.9	5.3
特にない	121 8.2	11.8	5.2	5.5	4.9	12.4	9.5	12.9	5.3
無回答	31 2.1	2.0	2.6	1.0	1.2	1.3	1.5	6.5	10.5

(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

<参考> 平成 21 年度調査結果との比較

- 平成 20 年度調査でも今年度と同様「駅への送迎のための駐車場所」が最も多く、図書館と交通問題が上位項目を占めた。

図 <参考> 平成 21 年度調査結果

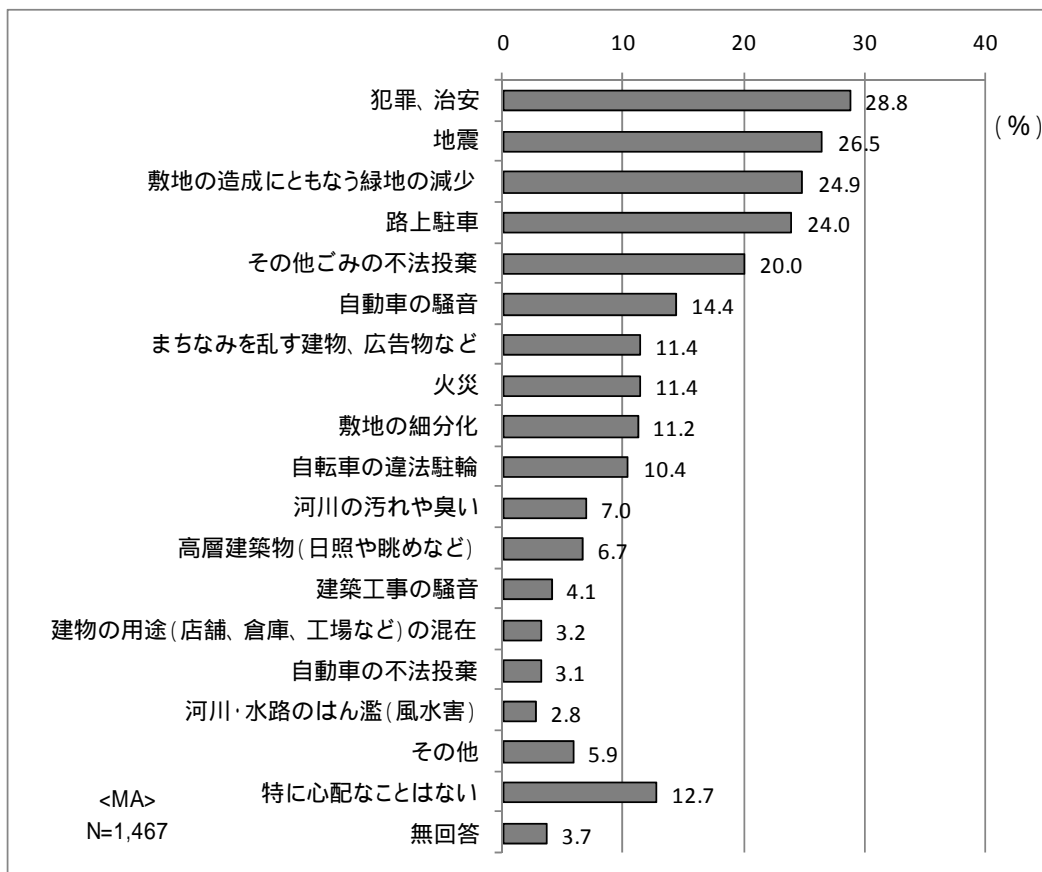


身近な住環境の心配ごと（問3）

「犯罪、治安」が最も多い。以下「地震」「敷地の造成にともなう緑地の減少」「路上駐車」

- ・ 「犯罪、治安」が最も多く、3割近くの人が挙げている。次いで「地震」、「敷地の造成にともなう緑地の減少」、「路上駐車」を全体の4分の1程度の人が、「その他ごみの不法投棄」を2割前後の人が挙げている。

図 身近な住環境について心配なこと（はいくつでも）



年齢別 身近な住環境について心配なこと(問3×F1)

- 10代では「特に心配なことはない」、20代から50代までの世代では「犯罪、治安」、60代では「敷地の造成にともなう緑地の減少」、70代以上では「地震」が、それぞれ最も多くなっており、世代によって回答の傾向が分かれた。

図 年齢別 身近な住環境について心配なこと

		全体	犯罪・治安	地震	敷地の造成にともなう緑地の減少	路上駐車	その他ごみの不法投棄	自動車の騒音	まちなみを乱す建物・広告物など	火災	敷地の細分化	自転車の違法駐輪	河川の汚れや臭い	高層建築物(日照や眺めなど)	建築工事の騒音	建物の用途(店舗、倉庫、工場など)の混在	自動車の不法投棄	河川・水路のはん濫(風水害)	その他	特に心配なことはない	無回答
全体		1,467	422	389	365	352	294	211	167	167	164	153	102	98	60	47	46	41	86	187	54
全体		-	28.8	26.5	24.9	24.0	20.0	14.4	11.4	11.4	11.2	10.4	7.0	6.7	4.1	3.2	3.1	2.8	5.9	12.7	3.7
F1 年齢	10代	51	21.6	23.5	15.7	13.7	11.8	11.8	9.8	13.7	9.8	7.8	9.8	3.9	7.8	9.8	3.9	3.9	0.0	31.4	0.0
	20代	115	40.0	26.1	17.4	20.0	14.8	13.0	14.8	10.4	1.7	11.3	11.3	9.6	6.1	4.3	2.6	1.7	3.5	18.3	3.5
	30代	291	29.6	28.2	21.6	25.1	18.6	18.2	11.0	13.7	5.5	7.9	7.6	5.5	4.1	2.1	2.7	4.1	7.9	13.1	2.1
	40代	324	30.9	26.2	25.0	24.4	18.8	14.8	13.0	11.1	6.8	10.2	6.5	5.6	4.0	3.7	2.5	4.0	8.3	9.6	3.1
	50代	233	31.3	28.3	28.8	27.0	25.3	16.3	13.7	9.4	12.4	12.4	5.2	9.4	5.2	3.0	3.4	2.6	5.2	7.3	4.7
	60代	264	23.9	25.0	32.6	25.0	21.2	11.0	9.5	11.0	20.1	11.4	7.6	6.4	2.7	2.3	3.4	0.8	4.2	12.5	2.3
	70代以上	170	22.4	27.1	21.2	20.6	20.6	11.2	7.1	11.8	20.0	11.2	4.1	5.9	2.9	3.5	3.5	1.8	4.7	16.5	8.2
	無回答	19	26.3	10.5	21.1	31.6	31.6	15.8	10.5	5.3	15.8	10.5	10.5	10.5	0.0	0.0	10.5	5.3	5.3	15.8	15.8

居住地域別 身近な住環境について心配なこと(問3×F12)

- ・ 一戸建て比率の高い中里連合自治会では「敷地の造成にともなう緑地の減少」が最も多くなっている。
- ・ 中里北部連合町内会・上谷本連合町内会・恩田連合自治会・青葉台連合自治会・奈良町、奈良北団地連合自治会では「犯罪、治安」が最も多い。
- ・ 市ヶ尾連合自治会・谷本連合自治会・荏田、荏田西、新荏田連合自治会・すすき野連合自治会・美しが丘連合自治会では「地震」が最も多い。
- ・ 山内連合自治会では「路上駐車」が最も高くなっており、地域ごとの特色がみられた。

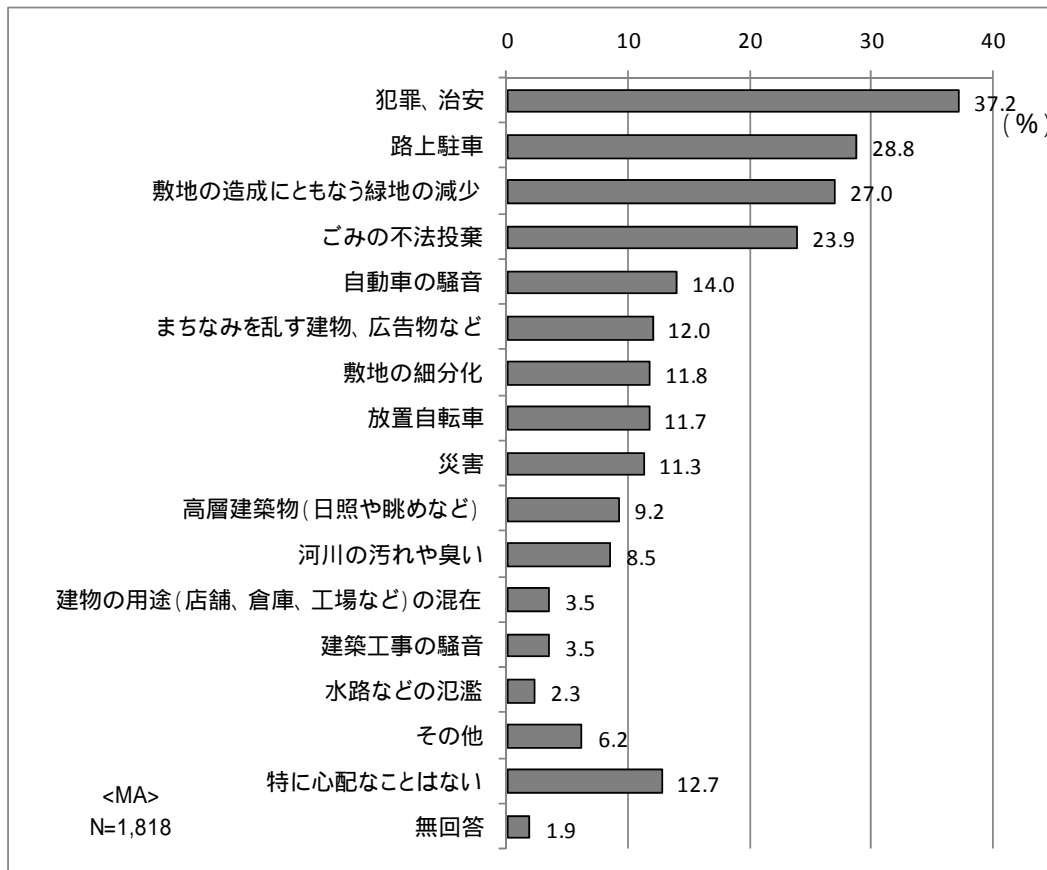
図 居住地域別 身近な住環境について心配なこと

		全体	犯罪 治安	地震	敷地の造成にともなう緑地の減少	路上駐車	その他ごみの不法投棄	自動車の騒音	まちなみを乱す建物 広告物など	火災	敷地の細分化	自転車の違法駐輪	河川の汚れや臭い	高層建築物(日照や眺めなど)	建築工事の騒音	建物の用途(店舗 倉庫 工場など)の混在	自動車の不法投棄	河川・水路のはん濫(風水害)	その他	特に心配なことはない	無回答
全体		1,467	422	389	365	352	294	211	167	167	164	153	102	98	60	47	46	41	86	187	54
全体		-	28.8	26.5	24.9	24.0	20.0	14.4	11.4	11.4	11.2	10.4	7.0	6.7	4.1	3.2	3.1	2.8	5.9	12.7	3.7
F 12 居住地	中里連合自治会	76	26.3	21.1	31.6	11.8	17.1	11.8	13.2	9.2	14.5	3.9	9.2	2.6	5.3	9.2	5.3	2.6	1.3	14.5	3.9
	中里北部連合町内会	68	35.3	19.1	22.1	22.1	27.9	5.9	5.9	8.8	8.8	13.2	10.3	1.5	2.9	1.5	2.9	2.9	5.9	14.7	4.4
	市ヶ尾連合自治会	83	28.9	31.3	24.1	25.3	25.3	18.1	7.2	15.7	12.0	13.3	10.8	10.8	4.8	1.2	7.2	6.0	3.6	9.6	3.6
	上谷本連合町内会	65	35.4	30.8	26.2	32.3	27.7	12.3	7.7	18.5	9.2	6.2	10.8	6.2	4.6	4.6	6.2	4.6	3.1	15.4	0.0
	谷本連合自治会	120	30.8	34.2	25.0	26.7	22.5	15.8	9.2	15.8	13.3	11.7	5.0	9.2	5.0	5.8	2.5	5.8	6.7	10.8	3.3
	恩田連合自治会	135	36.3	20.7	26.7	27.4	20.0	7.4	14.8	4.4	20.7	8.9	7.4	3.0	6.7	3.0	4.4	1.5	4.4	13.3	3.7
	青葉台連合自治会	190	32.1	27.9	24.2	26.3	17.9	17.4	13.2	11.1	10.0	13.7	3.7	10.0	7.4	3.7	3.2	2.6	4.7	8.9	5.3
	奈良町、奈良北団地連合自治会	125	33.6	21.6	26.4	14.4	24.8	13.6	7.2	6.4	9.6	10.4	8.8	5.6	2.4	3.2	2.4	1.6	9.6	15.2	2.4
	山内連合自治会	202	22.8	22.8	24.8	27.2	18.8	13.9	17.8	15.3	11.4	12.9	3.5	5.9	2.0	3.5	3.0	2.0	4.0	14.4	4.0
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	214	23.4	26.2	20.6	22.0	19.2	21.5	10.7	12.1	7.5	9.3	7.9	9.8	2.8	1.9	1.4	3.3	8.4	14.0	2.3
	すすき野連合自治会	86	17.4	32.6	31.4	26.7	11.6	10.5	9.3	10.5	12.8	8.1	11.6	2.3	2.3	2.3	1.2	1.2	4.7	12.8	5.8
	美しが丘連合自治会	73	34.2	38.4	23.3	27.4	13.7	8.2	8.2	9.6	4.1	6.8	2.7	5.5	4.1	0.0	1.4	1.4	11.0	8.2	4.1
	無回答	30	20.0	23.3	20.0	13.3	16.7	23.3	13.3	6.7	10.0	10.0	6.7	6.7	0.0	0.0	3.3	0.0	10.0	16.7	6.7

<参考> 平成 21 年度調査結果との比較

- ・ 平成 21 年度調査でも今年度と同様「犯罪、治安」が最も多かった。
- ・ なお、今年度は「災害」から「地震」を独立した選択項目として扱ったところ、「犯罪、治安」に次いで第二位に上がっている。

図 <参考> 平成 21 年度調査結果



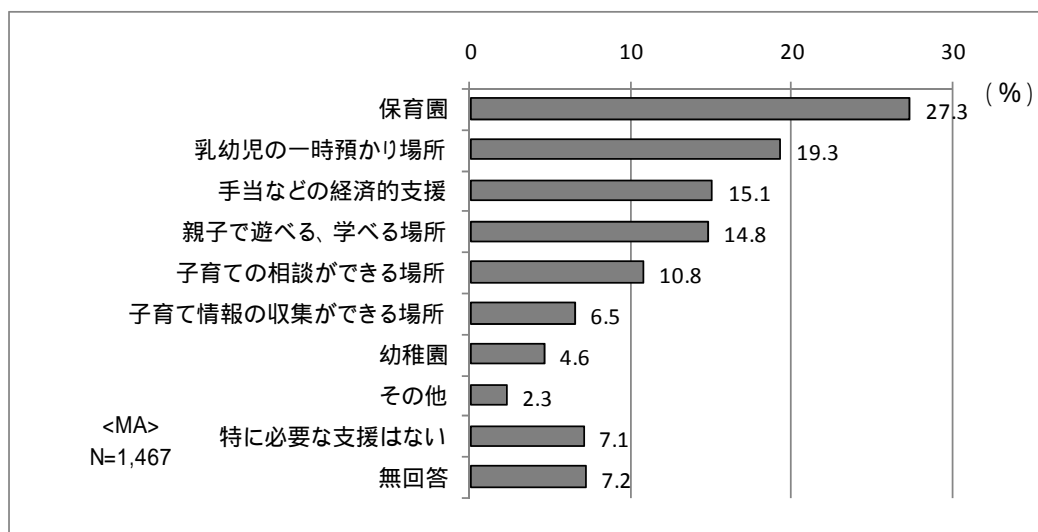
2. 健康・子育てについて

充実する必要がある子育て中の家庭支援（問4）

「保育園」が最も多く、3割近くが挙げている

- 「保育園」が最も多く、次いで「乳幼児の一時預かり場所」、「手当などの経済的支援」、「親子で遊べる、学べる場所」などの順となっている。

図 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと（はいくつでも*）



* 本来単一回答の設問であるが、複数選択した回答者が多かったため複数回答扱いとして集計した。

年齢別 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと(問4×F1)

- ・ 10代のみ「親子で遊べる、学べる場所」、それ以外の世代では「保育園」が最も多くなっている。
- ・ また、子育ての中心世代である20代、30代で「手当などの経済的支援」の数値が他に比べて高い。

図 年齢別 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと

		全体	保育園	乳幼児の一時預かり場所	手当などの経済的支援	親子で遊べる、学べる場所	子育ての相談ができる場所	子育て情報の収集ができる場所	幼稚園	その他	特に必要な支援はない	無回答
全 体		1,467	401	283	221	217	158	96	68	34	104	106
全体		-	27.3	19.3	15.1	14.8	10.8	6.5	4.6	2.3	7.1	7.2
F 1 年齢	10代	51	19.6	15.7	19.6	35.3	13.7	5.9	3.9	3.9	3.9	0.0
	20代	115	28.7	20.9	25.2	16.5	8.7	10.4	10.4	1.7	8.7	2.6
	30代	291	27.5	17.5	26.1	16.5	5.2	4.1	5.2	4.5	2.7	2.7
	40代	324	25.0	23.1	20.1	16.4	8.6	8.0	4.6	3.4	4.9	3.1
	50代	233	34.3	20.2	7.7	10.3	15.9	8.6	3.9	2.1	8.6	6.9
	60代	264	31.1	19.7	5.3	12.5	13.6	5.7	2.3	0.4	9.5	8.7
	70代以上	170	18.8	13.5	4.7	12.4	12.9	4.7	4.7	0.0	12.9	23.5
	無回答	19	15.8	15.8	5.3	5.3	15.8	0.0	5.3	0.0	5.3	31.6

子どもの有無及び段階別 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと(問4×F8)

- ・ 子どもが中学生までの家庭では「手当などの経済的支援」、それ以外では「保育園」が最も多くなっている。

図 子どもの有無及び段階別 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと

		全体	保育園	乳幼児の一時預かり場所	手当などの経済的支援	親子で遊べる、学べる場所	子育ての相談ができる場所	子育て情報の収集ができる場所	幼稚園	その他	特に必要な支援はない	無回答
全体		1,467	401	283	221	217	158	96	68	34	104	106
全体		-	27.3	19.3	15.1	14.8	10.8	6.5	4.6	2.3	7.1	7.2
F 8 子どもの有無及び段階	小学校入学前	175	26.9	20.0	28.6	20.6	3.4	5.7	7.4	4.0	1.7	0.6
	小学校在学中	197	14.7	13.2	35.5	21.3	5.6	8.6	4.1	7.1	2.0	2.0
	中学校在学中	141	20.6	19.1	29.1	14.9	10.6	7.8	5.0	5.0	3.5	2.1
	高校在学中	95	32.6	16.8	13.7	16.8	7.4	9.5	3.2	3.2	8.4	3.2
	各種学校、専修・専門学校在学中	13	46.2	30.8	7.7	7.7	30.8	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0
	短大・大学・大学院在学中	105	32.4	21.0	9.5	15.2	15.2	6.7	2.9	2.9	4.8	4.8
	学校教育終了 未婚 同居	206	33.0	20.4	4.4	10.7	18.0	8.7	2.9	0.5	11.2	9.2
	学校教育終了 未婚 別居	130	33.1	18.5	7.7	16.2	12.3	3.8	3.1	0.8	6.9	6.9
	学校教育終了 既婚 同居	51	29.4	21.6	3.9	7.8	13.7	7.8	3.9	0.0	17.6	5.9
	学校教育終了 既婚 別居	264	28.8	18.2	6.4	12.1	11.4	6.1	3.4	0.0	7.6	12.9
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	子どもはいない	407	28.5	19.9	14.3	15.2	10.6	5.9	5.4	2.2	8.4	6.1
無回答	69	24.6	17.4	13.0	8.7	13.0	5.8	5.8	0.0	8.7	23.2	

子どもの世話をする人の有無別 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと(問4×F10-1)

- ・ 小学生以下の子どもがいる家庭で、子どもの世話をする人がいるケースでは「手当などの経済的支援」、いないケースでは「保育園」が最も多くなっている。

図 子どもの世話をする人の有無別 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと

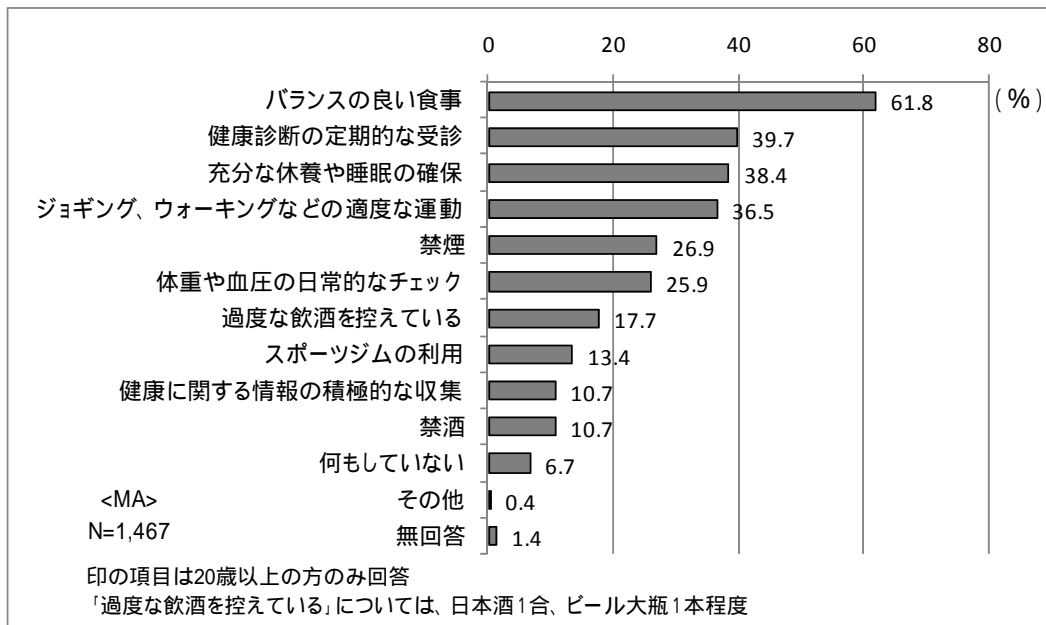
		全体	保育園	乳幼児の一時預かり場所	手当などの経済的支援	親子で遊べる、学べる場所	子育ての相談ができる場所	子育て情報の収集ができる場所	幼稚園	その他	特に必要な支援はない	無回答
全体		1,467	401	283	221	217	158	96	68	34	104	106
全体		-	27.3	19.3	15.1	14.8	10.8	6.5	4.6	2.3	7.1	7.2
F 10 - 1 子どもの世話をする人	いる	288	19.1	16.0	31.3	21.2	5.6	8.0	6.9	4.5	2.4	1.0
	いない	62	32.3	14.5	29.0	14.5	4.8	4.8	3.2	11.3	0.0	3.2
	無回答	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

健康づくりのために取り組んでいること(問5)(印の項目は20歳以上のみ)

「バランスの良い食事」を挙げる人が圧倒的に多くなっている

- ・ 「バランスの良い食事」が圧倒的に多く、6割強の人が挙げている。次いで「健康診断の定期的な受診」、「十分な休養や睡眠の確保」、「ジョギング、ウォーキングなどの適度な運動」が4割弱で続く。

図 健康づくりのために取り組んでいること(はいくつでも)



年齢別 健康づくりのために取り組んでいること(問5×F1)

- ・ 20代で「十分な休養や睡眠の確保」、他世代では「バランスの良い食事」が最も多い。
- ・ 高齢者層ほど健康づくりに熱心に取り組んでいることが表れている。

図 年齢別 健康づくりのために取り組んでいること

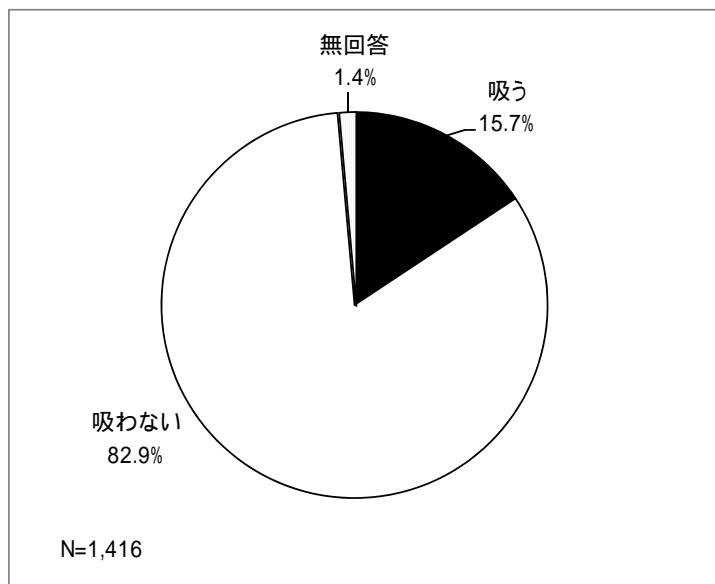
		全体	バランスの良い食事	健康診断の定期的な受診	十分な休養や睡眠の確保	ジョギング、ウォーキングなどの適度な運動	禁煙	体重や血圧の日常的なチェック	過度な飲酒を控えている	スポーツジムの利用	健康に関する情報の積極的な収集	禁酒	何もしていない	その他	無回答
全体		1,467	906	582	564	535	395	380	259	197	157	157	99	6	21
全体		-	61.8	39.7	38.4	36.5	26.9	25.9	17.7	13.4	10.7	10.7	6.7	0.4	1.4
F1 年齢	10代	51	45.1	5.9	29.4	33.3	0.0	2.0	0.0	5.9	2.0	0.0	21.6	0.0	9.8
	20代	115	47.8	14.8	48.7	25.2	22.6	8.7	17.4	14.8	7.8	10.4	12.2	0.9	0.0
	30代	291	56.7	22.3	40.2	26.5	24.1	11.0	14.4	8.2	4.8	6.9	12.4	0.7	1.0
	40代	324	64.8	42.3	38.3	27.8	20.7	21.3	17.9	16.4	9.9	9.3	6.5	0.0	0.6
	50代	233	65.7	51.1	35.2	42.5	26.6	27.9	16.3	15.0	10.3	8.2	3.4	0.9	0.9
	60代	264	66.3	52.7	36.7	52.7	34.5	37.9	18.6	15.2	15.2	14.8	2.3	0.4	0.8
	70代以上	170	66.5	55.3	38.8	43.5	43.5	57.1	27.6	14.1	20.6	21.8	1.2	0.0	2.9
	無回答	19	63.2	42.1	36.8	52.6	26.3	31.6	26.3	5.3	10.5	0.0	5.3	0.0	10.5

喫煙の有無（問6 -- 20歳以上のみ）

たばこを吸わない人が全体の8割以上を占める

- 「吸わない」が8割以上を占め、圧倒的多数がたばこを吸わないとしている。

図 喫煙の有無



年齢別 喫煙の有無(問6 × F1)

- 最も喫煙率が高いのは40代、低いのは70代以上となっている。

男女別 喫煙の有無(問6 × F2)

- 男女とも「吸わない」が圧倒的に多いが、男性の方が女性より喫煙者が10ポイント以上多い。

図 年齢別 喫煙の有無

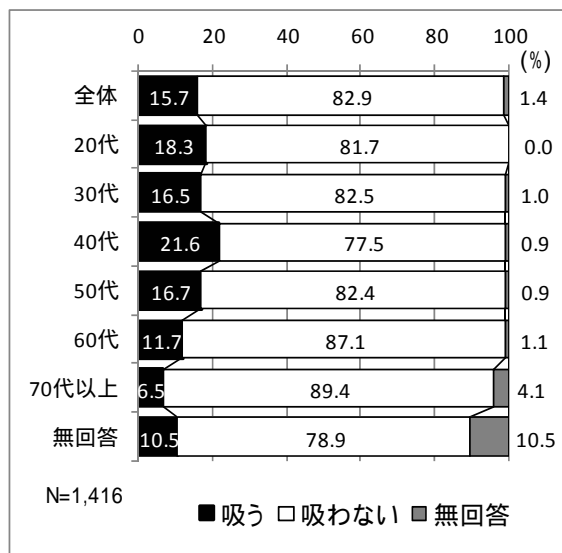
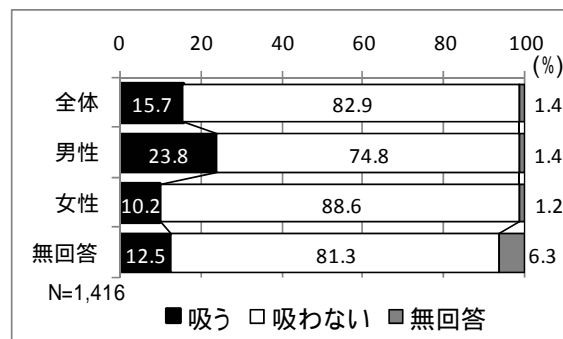


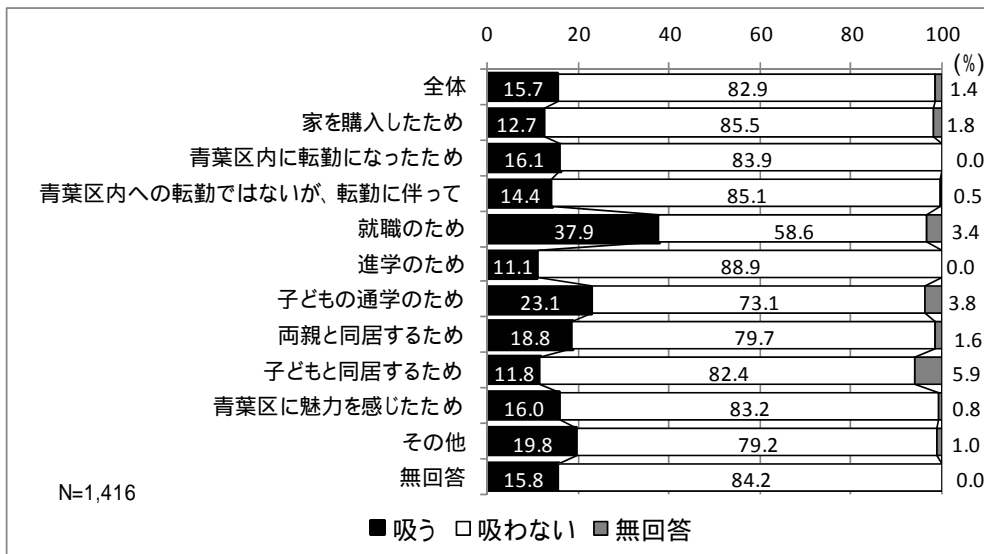
図 男女別 喫煙の有無



転入理由別 喫煙の有無(問6×F4 - 1)

- ・ 転入理由が「就職のため」のケースでは、喫煙率が突出しており4割近くになっている。

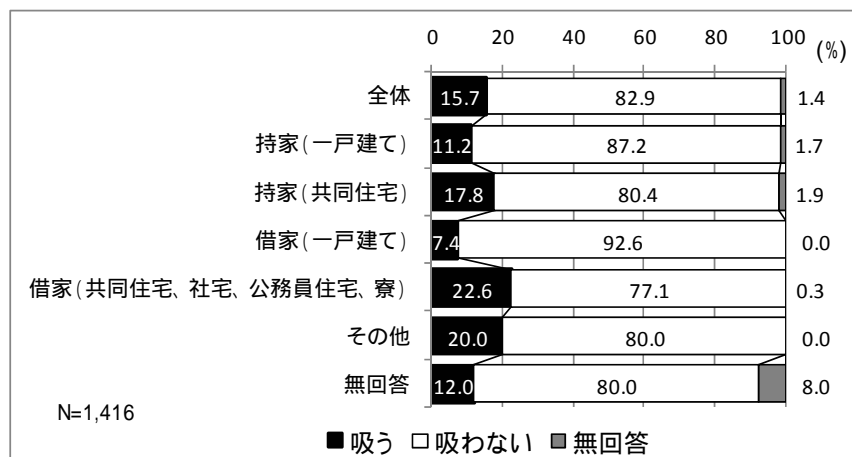
図 転入理由別 喫煙の有無



住居形態別 喫煙の有無(問6×F5)

- ・ 最も喫煙率が高いのは「借家(共同住宅、社宅、公務員住宅、寮)」となっている。また、一戸建ての喫煙率が低くなっている。

図 住居形態別 喫煙の有無

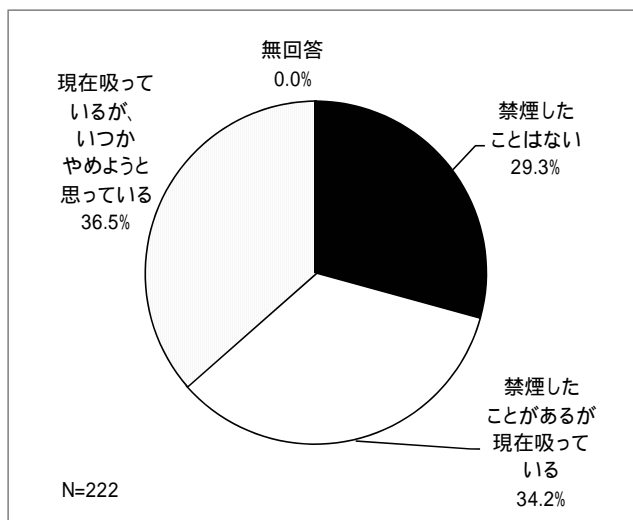


禁煙の取組経験（問6 - 1）

禁煙したことがある、あるいはしようと思っている人は、喫煙者の7割

- 喫煙者に禁煙の経験を聞いたところ、「現在吸っているが、いつかやめようと思っている」が最も多く、次いで「禁煙したことがあるが現在吸っている」が小差で続く。これらを合わせると、禁煙したことがある、あるいはしようと思っている人は喫煙者の7割に達している。「禁煙したことはない」は3割弱である。

図 禁煙の経験

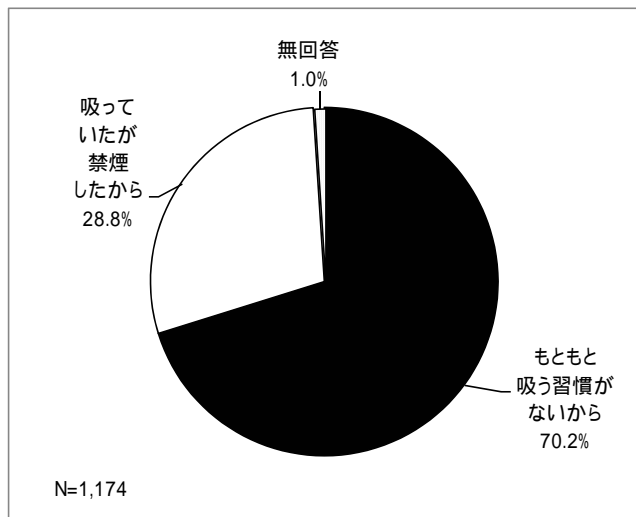


喫煙しない理由（問6 - 2）

非喫煙者が喫煙しない理由は「もともと喫煙の習慣がないため」が多いが、禁煙した人も3割弱

- 非喫煙者に吸わない理由を聞いたところ、「もともと吸う習慣がないから」が7割を占めるが、「吸っていたが禁煙した」も3割弱に達している。

図 喫煙しない理由

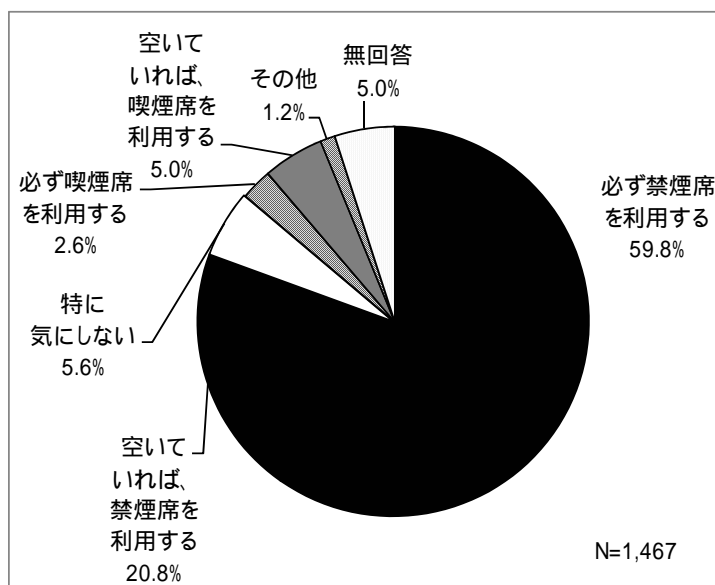


飲食店での禁煙席・喫煙席の選択（問7）

8割の人が禁煙席の利用を希望している

- 「必ず禁煙席を利用する」が過半数を占め、最も多くなっている。次の「空いていれば、禁煙席を利用する」を合わせると8割の人が禁煙席の利用を希望している。「必ず喫煙席を利用する」「空いていれば、喫煙席を利用する」を合わせても喫煙席の希望者は全体の1割に達していない。

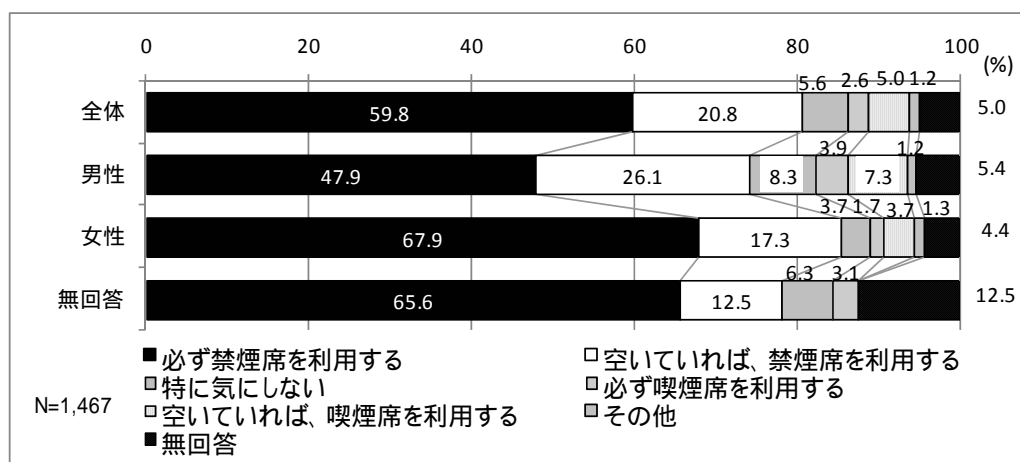
図 禁煙席・喫煙席の希望



男女別 禁煙席・喫煙席の希望(問7×F2)

- 男女とも「必ず禁煙席を利用する」が最も多いが、特に女性では7割近くに達しており、男性を20ポイント上回っている。女性は「必ず禁煙席を利用する」「空いていれば、禁煙席を利用する」を合わせると9割近く、圧倒的に禁煙席の希望が多くなっている。

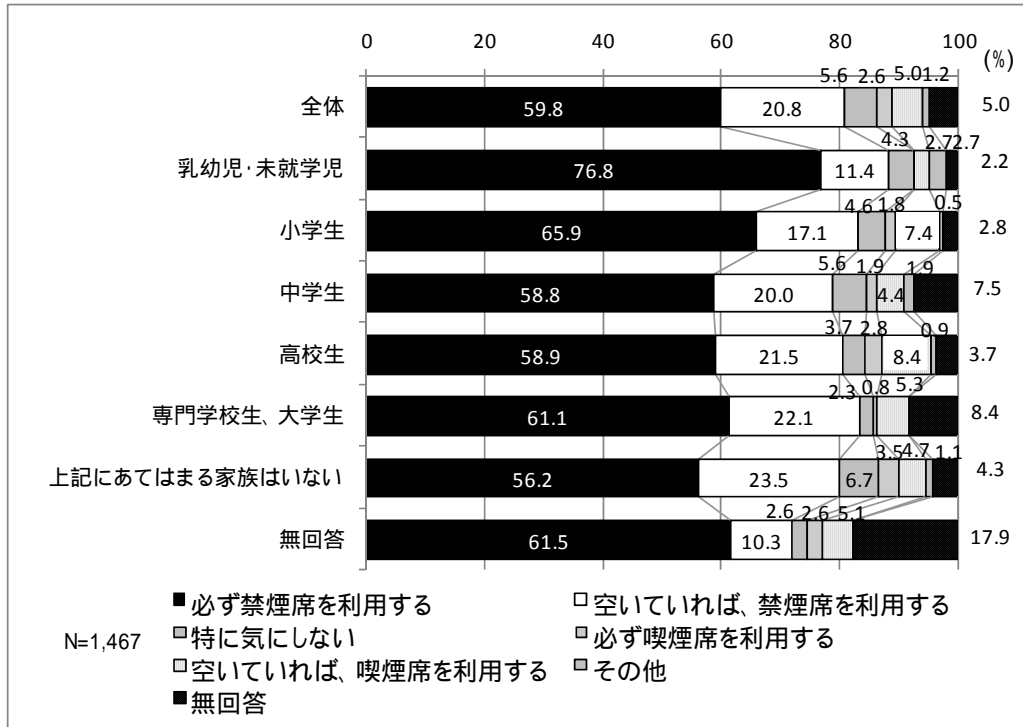
図 男女別 禁煙席・喫煙席の希望



同居している子ども別 禁煙席・喫煙席の希望(問7×F10)

- ・ いずれも「必ず禁煙席を利用する」が最も多いが、特に子どもが乳幼児・未就学児のケースでは8割近くに達している。

図 同居している子ども別 禁煙席・喫煙席の希望



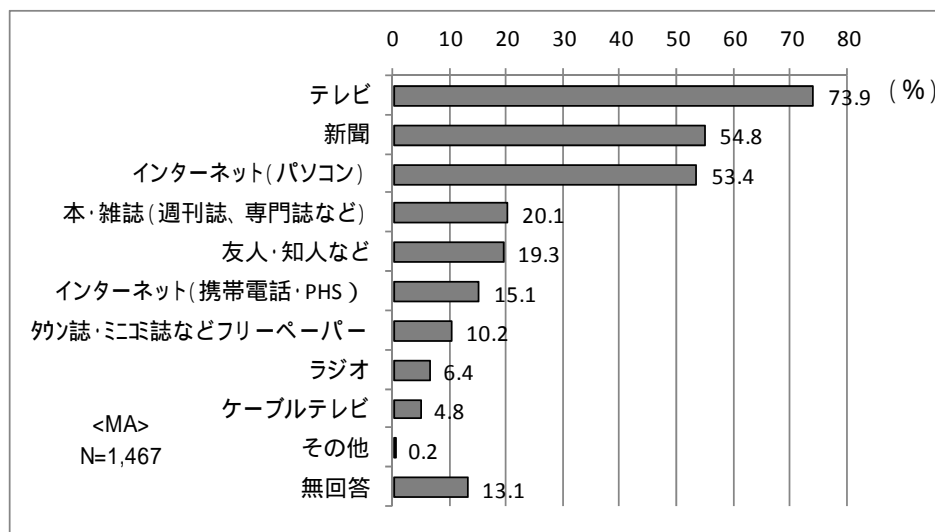
3. 情報関係について

普段よく利用している情報源（問8）

7割が「テレビ」、半数強が「新聞」「インターネット」を挙げている

- 「テレビ」が最も多く、7割以上の人が挙げている。次いで「新聞」「インターネット（パソコン）」である。

図 普段よく利用している情報源(よく利用する順に3つまで)



年齢別 普段よく利用している情報源(問8×F1)

- 10代から50代までは「テレビ」、60代より上の世代では「新聞」が最も多くなっており、60代を境に回答が分かれた。また、インターネット関連では若い世代ほど数値が高くなっている。

図 年齢別 普段よく利用している情報源

		全体	テレビ	新聞	インターネット(パソコン)	本・雑誌(週刊誌、専門誌など)	友人・知人など	インターネット(携帯電話・PHS)	月刊誌・ミニコミ誌などフリーペーパー	ラジオ	ケーブルテレビ	その他	無回答
全体		1,467	1,084	804	783	295	283	222	150	94	70	3	192
全体		-	73.9	54.8	53.4	20.1	19.3	15.1	10.2	6.4	4.8	0.2	13.1
F1 年齢	10代	51	84.3	25.5	76.5	5.9	41.2	58.8	0.0	3.9	2.0	0.0	0.0
	20代	115	80.0	27.0	73.0	20.9	17.4	41.7	10.4	6.1	5.2	0.0	5.2
	30代	291	80.1	40.9	70.4	24.7	23.0	26.1	13.4	3.4	1.7	0.0	4.8
	40代	324	77.2	60.2	70.1	20.4	16.0	13.6	9.9	3.1	5.9	0.0	7.1
	50代	233	77.7	65.2	49.8	17.2	19.7	6.9	12.4	6.0	4.7	0.0	12.9
	60代	264	65.5	68.9	32.6	21.6	17.8	2.3	8.7	9.1	5.7	0.4	21.6
	70代以上	170	57.6	61.2	9.4	16.5	15.9	0.0	7.1	15.9	7.6	1.2	34.1
	無回答	19	73.7	42.1	52.6	26.3	15.8	10.5	15.8	0.0	0.0	0.0	21.1

同居している子ども別 普段よく利用している情報源(問8×F10)

- ・ いずれも「テレビ」が最も多く、7割台となっている。
- ・ 高校生までの子どもがいる世帯では「インターネット(パソコン)」の割合が高い。また、乳幼児のいる世帯で「友人・知人など」、高校生のいる世帯では「新聞」の数値が、他に比べて高くなっている。

図 同居している子ども別 普段よく利用している情報源

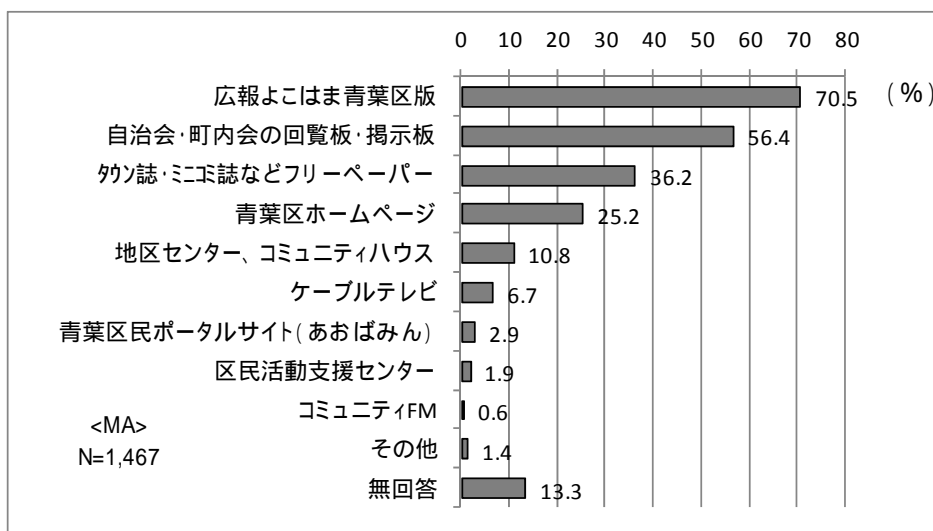
		全体	テレビ	新聞	インターネット(パソコン)	本・雑誌 (週刊誌、専門誌など)	友人・知人など	インターネット (携帯電話・PHS)	タウン誌・ミニコミ誌など フリーペーパー	ラジオ	ケーブルテレビ	その他	無回答
全体		1,467	1,084	804	783	295	283	222	150	94	70	3	192
全体		-	73.9	54.8	53.4	20.1	19.3	15.1	10.2	6.4	4.8	0.2	13.1
F10 同居して いる子ども	乳幼児・未就学児	185	71.4	48.1	65.4	21.1	28.1	21.1	17.8	6.5	3.2	0.0	4.9
	小学生	217	77.0	55.8	65.0	17.5	23.5	16.6	12.4	2.3	3.2	0.0	7.8
	中学生	160	75.6	60.6	63.1	17.5	18.8	13.8	10.0	3.1	4.4	0.0	10.6
	高校生	107	75.7	66.4	67.3	17.8	11.2	13.1	11.2	2.8	5.6	0.0	9.3
	専門学校生、大学生	131	76.3	61.1	61.1	13.7	19.8	14.5	10.7	4.6	3.8	0.0	11.5
	上記にあてはまる家族はいない	833	73.3	55.0	45.7	22.3	17.5	14.0	9.1	8.4	5.6	0.4	15.2
	無回答	39	59.0	35.9	35.9	12.8	20.5	12.8	2.6	5.1	7.7	0.0	33.3

青葉区役所からの行政情報の入手手段（問9）

「広報よこはま青葉区版」が最も多く、次いで「自治会・町内会の回覧板・掲示板」

- 「広報よこはま青葉区版」が最も多く、約7割の人が挙げている。次いで「自治会・町内会の回覧板・掲示板」が過半数である。

図 青葉区役所からの行政情報の入手手段(よく利用する順に3つまで)



年齢別 青葉区役所からの行政情報の入手手段(問9×F1)

- 10代は「自治会・町内会の回覧板・掲示板」、20代より上の世代では「広報よこはま青葉区版」が最も多くなっている。

図 年齢別 青葉区役所からの行政情報の入手手段

		全体	広報よこはま青葉区版	自治会・町内会の回覧板・掲示板	タウン誌・ミニ誌などフリーペーパー	青葉区ホームページ	地区センター、コミュニティハウス	ケーブルテレビ	青葉区民ポータルサイト(あおばみん)	区民活動支援センター	コミュニティFM	その他	無回答
全体		1,467	1,034	828	531	370	159	98	43	28	9	21	195
全体		-	70.5	56.4	36.2	25.2	10.8	6.7	2.9	1.9	0.6	1.4	13.3
F1 年齢	10代	51	35.3	39.2	27.5	17.6	15.7	23.5	5.9	5.9	3.9	2.0	21.6
	20代	115	47.0	44.3	36.5	38.3	9.6	9.6	3.5	4.3	0.9	2.6	15.7
	30代	291	70.1	45.4	38.1	41.9	11.7	4.8	4.1	2.4	0.0	1.4	7.9
	40代	324	80.2	58.3	44.1	26.9	8.0	6.5	2.5	0.6	0.6	0.9	7.1
	50代	233	77.7	65.2	36.5	26.6	9.4	5.6	2.1	1.3	0.9	1.7	9.0
	60代	264	73.1	63.6	34.8	10.6	12.9	3.4	3.0	1.1	0.4	1.1	20.5
	70代以上	170	66.5	62.9	23.5	6.5	12.9	10.0	1.2	2.4	0.6	1.8	23.5
	無回答	19	57.9	47.4	21.1	36.8	10.5	5.3	5.3	5.3	0.0	0.0	26.3

同居している子ども別 青葉区役所からの行政情報の入手手段(問9×F10)

- ・ いずれも「広報よこはま青葉区版」が最も多く、特に乳幼児・未就学児がいる世帯では高い数値となっている。
- ・ また、乳幼児・未就学児がいる世帯では「青葉区ホームページ」の数値が他に比べて高くなっている。高校生がいる世帯では「自治会・町内会の回覧板・掲示板」が他に比べて高いほか、「タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー」の数値もやや高い。

図 同居している子ども別 青葉区役所からの行政情報の入手手段

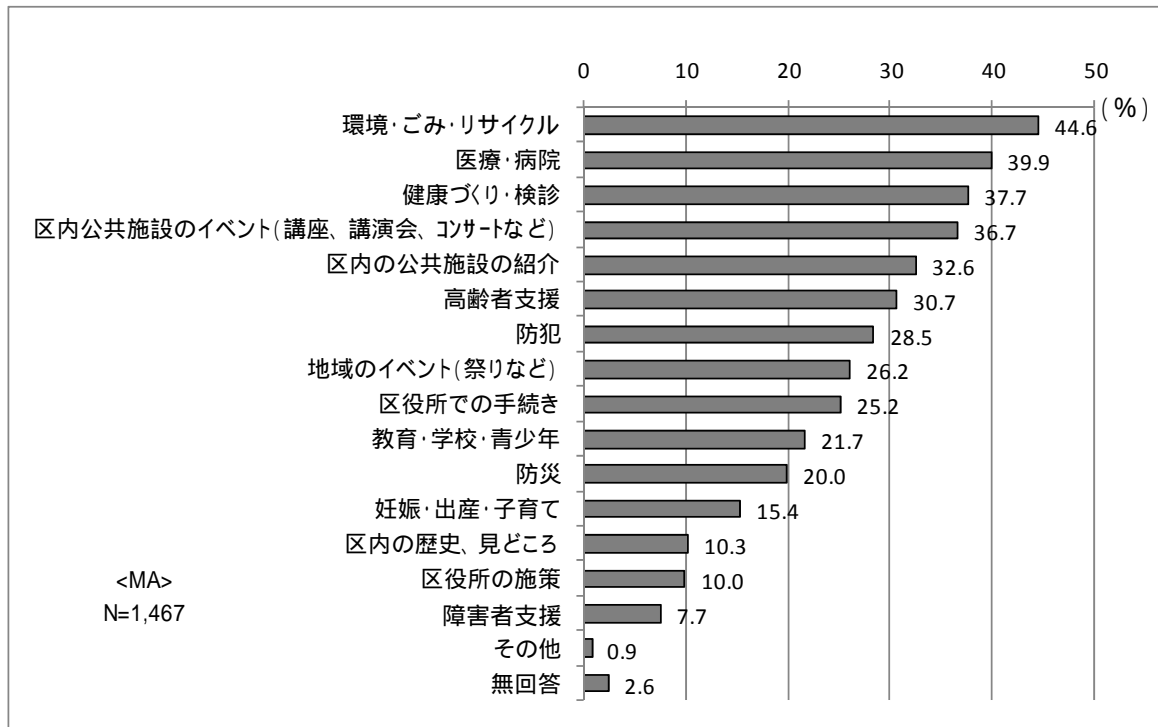
		全体	広報よこはま青葉区版	自治会・町内会の回覧板・掲示板	タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー	青葉区ホームページ	地区センター、コミュニティハウス	ケーブルテレビ	青葉区民ポータルサイト(あおばみん)	区民活動支援センター	コミュニティFM	その他	無回答
全 体		1,467	1,034	828	531	370	159	98	43	28	9	21	195
全体		-	70.5	56.4	36.2	25.2	10.8	6.7	2.9	1.9	0.6	1.4	13.3
F10	乳幼児・未就学児	185	82.2	49.7	33.5	41.6	15.7	4.3	4.9	3.2	0.5	2.2	2.7
同居している子ども	小学生	217	79.3	59.0	31.8	25.3	14.3	6.5	3.2	0.9	0.9	0.9	9.7
	中学生	160	78.8	58.1	38.8	23.8	12.5	8.8	3.1	0.6	1.3	1.9	8.8
	高校生	107	81.3	65.4	44.9	25.2	11.2	7.5	0.9	0.9	0.0	0.9	8.4
	専門学校生、大学生	131	69.5	58.0	38.9	23.7	6.1	8.4	1.5	0.8	0.8	0.8	13.7
	上記にあてはまる家族はいない	833	66.3	57.7	36.4	22.0	10.4	6.5	2.9	2.3	0.6	1.4	15.5
	無回答	39	51.3	46.2	28.2	23.1	5.1	7.7	2.6	0.0	0.0	2.6	33.3

青葉区役所からの行政情報で知りたいこと（問 10）

「環境・ごみ・リサイクル」が最も多く、健康に関する情報も求められている

- ・ 「環境・ごみ・リサイクル」が最も多くなっている。次いで「医療・病院」、「健康づくり・検診」と、健康に関する情報が続く。回答は比較的分散した。

図 青葉区役所からの行政情報として知りたいこと（はいくつでも）



年齢別 青葉区役所からの行政情報として知りたいこと(問 10×F1)

- ・ 10代では「地域のイベント(祭りなど)」、20代では「医療・病院」、30代では「妊娠・出産・子育て」、40代、50代では「環境・ごみ・リサイクル」、60代、70代以上では「高齢者支援」がそれぞれ最も多くなっており、世代によつての傾向が顕著に表れている。

図 年齢別 青葉区役所からの行政情報として知りたいこと

		全体	環境・ごみ・リサイクル	医療・病院	健康づくり・検診	区内公共施設のイベント(講座、講演会、コンサートなど)	区内の公共施設の紹介	高齢者支援	防犯	地域のイベント(祭りなど)	区役所での手続き	教育・学校・青少年	防災	妊娠・出産・子育て	区内の歴史、見どころ	区役所の施策	障害者支援	その他	無回答
全体		1,467	654	586	553	538	478	451	418	384	370	319	293	226	151	147	113	13	38
全体		-	44.6	39.9	37.7	36.7	32.6	30.7	28.5	26.2	25.2	21.7	20.0	15.4	10.3	10.0	7.7	0.9	2.6
F1 年齢	10代	51	21.6	15.7	3.9	17.6	19.6	0.0	17.6	27.5	5.9	21.6	15.7	3.9	5.9	5.9	3.9	0.0	9.8
	20代	115	33.9	36.5	29.6	23.5	25.2	7.8	22.6	32.2	27.8	27.0	9.6	34.8	12.2	7.8	8.7	0.9	4.3
	30代	291	44.0	40.5	39.9	33.7	36.1	7.2	24.7	37.1	26.1	43.0	16.2	47.8	6.9	8.9	5.5	1.4	1.7
	40代	324	51.9	41.4	39.8	40.1	38.0	13.9	28.1	30.9	30.2	34.6	19.8	9.9	7.4	9.3	6.8	0.9	0.6
	50代	233	53.2	39.9	32.2	39.1	31.8	34.8	29.6	22.3	32.2	7.3	21.5	1.3	7.7	9.0	6.9	1.7	1.7
	60代	264	40.9	39.0	42.4	48.5	34.1	58.3	29.9	17.8	18.6	4.9	22.0	2.7	16.3	12.5	10.2	0.4	3.4
	70代以上	170	41.2	47.6	45.9	29.4	24.7	78.2	38.2	13.5	18.2	4.1	30.0	0.6	15.3	12.4	11.2	0.0	4.1
	無回答	19	31.6	36.8	36.8	26.3	26.3	42.1	36.8	15.8	31.6	15.8	21.1	10.5	15.8	21.1	5.3	0.0	5.3

よく利用する情報源別 青葉区役所からの行政情報として知りたいこと(問10×問8)

- ラジオでは「高齢者支援」、それ以外ではいずれも「環境・ごみ・リサイクル」が最も多い。

図 よく利用する情報源別 青葉区役所からの行政情報として知りたいこと

		全体	環境・ごみ・リサイクル	医療・病院	健康づくり・検診	区内公共施設のイベント(講座、講演会、コンサートなど)	区内の公共施設の紹介	高齢者支援	防犯	地域のイベント(祭りなど)	区役所での手続き	教育・学校・青少年	防災	妊娠・出産・子育て	区内の歴史、見どころ	区役所の施策	障害者支援	その他	無回答
全体		1,467	654	586	553	538	478	451	418	384	370	319	293	226	151	147	113	13	38
		-	44.6	39.9	37.7	36.7	32.6	30.7	28.5	26.2	25.2	21.7	20.0	15.4	10.3	10.0	7.7	0.9	2.6
問8 情報源 (複数回答)	テレビ	1,084	45.8	41.0	38.9	36.1	33.6	28.3	28.8	27.4	27.6	24.1	20.0	16.7	10.3	9.2	7.5	0.9	1.6
	ケーブルテレビ	70	51.4	45.7	41.4	42.9	40.0	42.9	28.6	25.7	31.4	12.9	24.3	8.6	14.3	20.0	8.6	0.0	2.9
	新聞	804	48.5	43.9	39.9	40.0	33.8	35.8	32.0	24.0	24.6	20.0	22.3	12.2	11.1	10.7	8.5	0.9	1.0
	本・雑誌(週刊誌、専門誌など)	295	48.1	43.7	38.6	38.3	34.9	30.5	30.5	28.5	26.1	23.7	22.0	15.3	12.5	8.5	7.5	0.7	1.0
	月刊誌・ミニ誌などフリーペーパー	150	46.7	43.3	43.3	43.3	29.3	24.7	22.0	36.7	26.0	27.3	16.0	23.3	8.7	12.0	8.7	0.7	0.0
	ラジオ	94	47.9	40.4	34.0	37.2	36.2	48.9	40.4	23.4	21.3	10.6	27.7	13.8	14.9	17.0	10.6	1.1	2.1
	インターネット(パソコン)	783	46.1	39.8	37.9	36.8	34.7	19.8	27.7	29.1	28.0	26.9	18.9	20.2	8.6	8.3	6.0	1.3	1.5
	インターネット(携帯電話・PHS)	222	45.0	38.7	30.2	30.2	32.0	13.1	27.9	34.7	28.4	33.8	16.2	27.0	11.7	8.6	6.3	1.4	3.6
	友人・知人など	283	43.8	39.9	41.0	37.8	32.9	30.4	25.4	27.9	26.1	22.6	18.4	17.7	10.6	7.4	8.5	0.7	1.8
	その他	3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
無回答	192	31.8	30.7	32.8	32.3	25.0	47.9	26.0	16.1	16.7	8.3	19.8	5.2	8.9	12.5	8.9	0.5	8.9	

行政情報の入手手段別 青葉区役所からの行政情報として知りたいこと(問10×問9)

- 地区センター、コミュニティハウスでは「区内公共施設のイベント(講座、講演会、コンサートなど)」、それ以外はいずれも「環境・ごみ・リサイクル」が最も多く、区民活動支援センターではこれらが同率となっている。

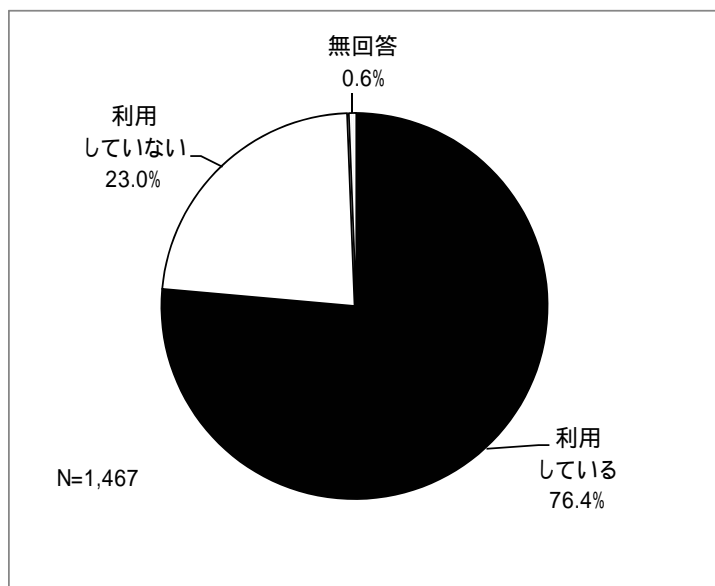
図 行政情報の入手手段別 青葉区役所からの行政情報として知りたいこと

		全体	環境・ごみ・リサイクル	医療・病院	健康づくり・検診	区内公共施設のイベント(講座、講演会、コンサートなど)	区内の公共施設の紹介	高齢者支援	防犯	地域のイベント(祭りなど)	区役所での手続き	教育・学校・青少年	防災	妊娠・出産・子育て	区内の歴史、見どころ	区役所の施策	障害者支援	その他	無回答
全体		1,467	654	586	553	538	478	451	418	384	370	319	293	226	151	147	113	13	38
		-	44.6	39.9	37.7	36.7	32.6	30.7	28.5	26.2	25.2	21.7	20.0	15.4	10.3	10.0	7.7	0.9	2.6
問9 行政情報 入手手段 (複数回答)	ケーブルテレビ	98	50.0	48.0	38.8	34.7	33.7	30.6	36.7	19.4	19.4	22.4	24.5	10.2	9.2	14.3	10.2	0.0	0.0
	広報よこはま青葉区版	1,034	48.3	43.9	41.9	40.9	36.8	32.7	29.9	28.5	27.3	24.1	21.9	16.6	11.5	10.7	8.1	0.8	0.3
	自治会・町内会の回覧板・掲示板	828	49.8	43.8	40.1	40.7	33.2	35.0	32.5	26.2	27.3	19.6	23.3	12.4	11.2	10.4	7.7	0.6	0.6
	月刊誌・ミニ誌などフリーペーパー	531	47.6	43.5	42.9	41.1	35.8	30.3	27.3	31.5	27.9	23.4	18.6	14.9	10.2	8.1	7.2	0.4	0.4
	コミュニティFM	9	33.3	22.2	33.3	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0
	青葉区ホームページ	370	48.1	38.1	36.8	31.9	33.5	17.3	27.3	26.5	30.0	31.9	16.5	27.0	7.6	8.1	5.4	1.1	0.3
	区民活動支援センター	28	39.3	32.1	35.7	39.3	28.6	28.6	28.6	35.7	25.0	17.9	10.7	28.6	10.7	28.6	7.1	0.0	0.0
	青葉区民ポータルサイト(あおばみん)	43	48.8	25.6	32.6	32.6	25.6	14.0	25.6	34.9	18.6	23.3	18.6	23.3	14.0	7.0	11.6	2.3	0.0
	地区センター、コミュニティハウス	159	47.2	44.0	47.8	58.5	44.0	39.0	28.3	46.5	22.6	32.7	18.9	17.6	15.7	12.6	9.4	0.6	0.0
	その他	21	38.1	23.8	14.3	28.6	14.3	28.6	33.3	33.3	33.3	33.3	23.8	9.5	14.3	14.3	9.5	4.8	0.0
無回答	195	26.7	26.7	28.2	25.1	23.6	39.5	26.7	15.4	15.4	15.4	9.7	16.4	7.7	9.7	8.7	6.7	1.5	15.4

インターネットの利用（携帯電話・PHSによるEメールやホームページ閲覧を含む）（問11）

「利用している」が全体の4分の3強を占め、「利用していない」を大きく上回る

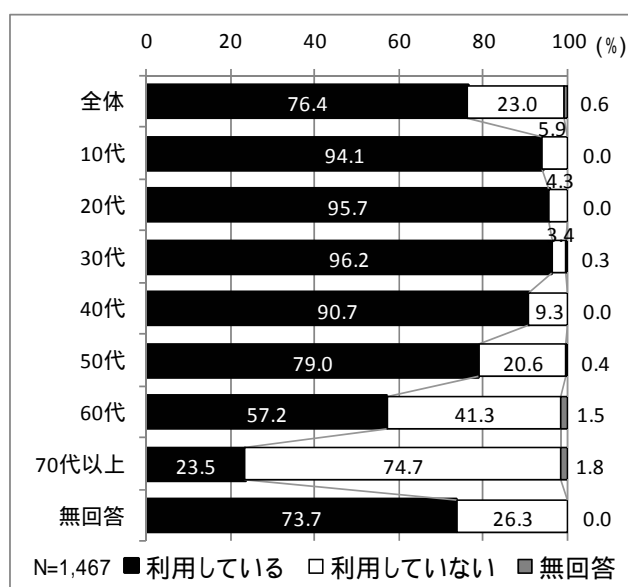
図 インターネット利用の有無



年齢別 インターネット利用の有無(問11×F1)

- 10代から60代までの世代では「利用している」、70代以上でのみ「利用していない」の方が多くなっており、60代を境に変化している。利用率は30代を中心に若年層で高い。

図 年齢別 インターネット利用の有無



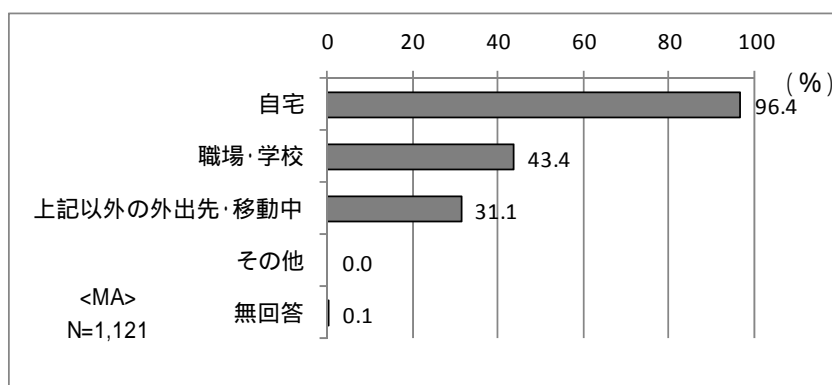
インターネットの利用場所、利用機器、利用目的（問 11 - 1）

利用場所は「自宅」が、利用機器は「パソコン」が圧倒的に多い
 利用サービスは「ホームページの閲覧」と「電子メール」が飛びぬけて多くなっている

【利用場所】

- ・ 「自宅」が圧倒的多数を占める。

図 インターネットの利用場所
 （ はいくつでも、問 11 で「利用している」と回答した人のみ）



年齢別 インターネットの利用場所(問 11 - 1【利用場所】×F1)

- ・ いずれの世代も「自宅」が9割を超えているが、20代までの若い世代では自宅以外の数値が他に比べて高くなっている。

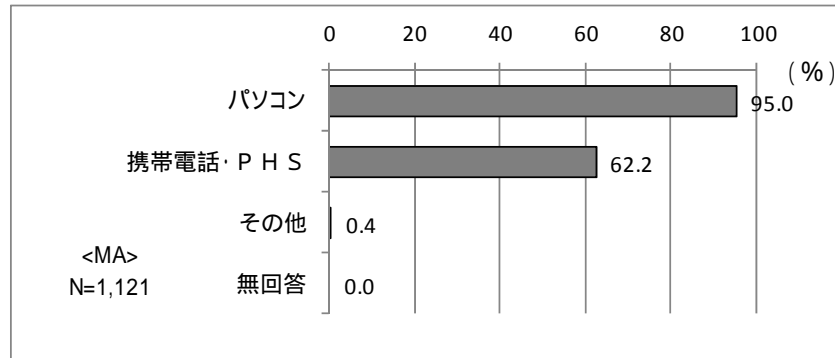
図 年齢別 インターネットの利用場所

		全体	自宅	職場・学校	上記以外の 外出先・移 動中	その他	無回答
全 体		1,121	1,081	487	349	0	1
		-	96.4	43.4	31.1	0.0	0.1
F 1 年齢	10代	48	97.9	58.3	52.1	0.0	0.0
	20代	110	96.4	57.3	49.1	0.0	0.0
	30代	280	97.9	45.4	37.5	0.0	0.0
	40代	294	97.6	44.2	33.0	0.0	0.0
	50代	184	94.6	46.2	21.2	0.0	0.0
	60代	151	92.7	29.8	14.6	0.0	0.7
	70代以上	40	100.0	5.0	10.0	0.0	0.0
	無回答	14	92.9	50.0	21.4	0.0	0.0

【利用機器】

- ・ 「パソコン」が圧倒的多数を占める。「携帯電話・PHS」も6割強の人があげている。

図 インターネット利用機器
(はいくつでも、問11で「利用している」と回答した人のみ)



年齢別 インターネット利用機器(問11-1【利用機器】×F1)

- ・ いずれの世代も「パソコン」が9割を超えている。また、20代までの若い世代では「携帯電話・PHS」の数値が他に比べて高く8割前後に達している。

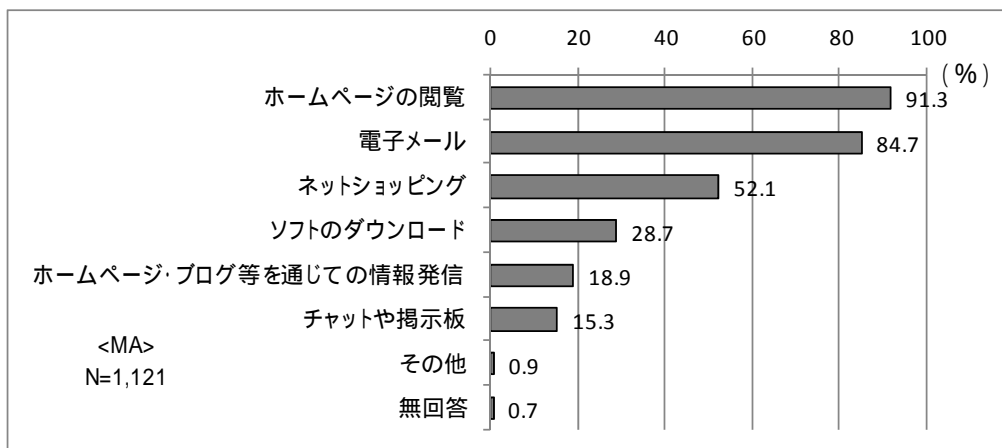
図 年齢別 インターネット利用機器

		全体	パソコン	携帯電話・PHS	その他	無回答
全 体		1,121	1,065	697	4	0
		-	95.0	62.2	0.4	0.0
F 1 年齢	10代	48	91.7	79.2	0.0	0.0
	20代	110	95.5	83.6	0.9	0.0
	30代	280	95.4	71.4	0.4	0.0
	40代	294	96.3	67.3	0.7	0.0
	50代	184	94.0	54.3	0.0	0.0
	60代	151	95.4	35.1	0.0	0.0
	70代以上	40	90.0	22.5	0.0	0.0
	無回答	14	92.9	50.0	0.0	0.0

【利用サービス】(はいくつでも)

- ・ 「ホームページの閲覧」、「電子メール」の2つが飛びぬけて多い。以下「ネットショッピング」、「ソフトのダウンロード」が続いている。

図 インターネット利用サービス
(はいくつでも、問 11 で「利用している」と回答した人のみ)



年齢別 インターネット利用サービス(問 11 - 1【利用サービス】×F1)

- ・ 70代以上のみ「電子メール」、それ以外の世代では「ホームページの閲覧」が最も多くなっている。また、10代、20代では「チャットや掲示板」、「ホームページ・ブログ等を通じての情報発信」の数値が高く、若い世代ほどネットを利用した情報発信に熱心な傾向にある。10代ではこれらに加えて「ソフトのダウンロード」、また、30代では「ネットショッピング」の数値が他世代に比べて高い。

図 年齢別 インターネット利用サービス

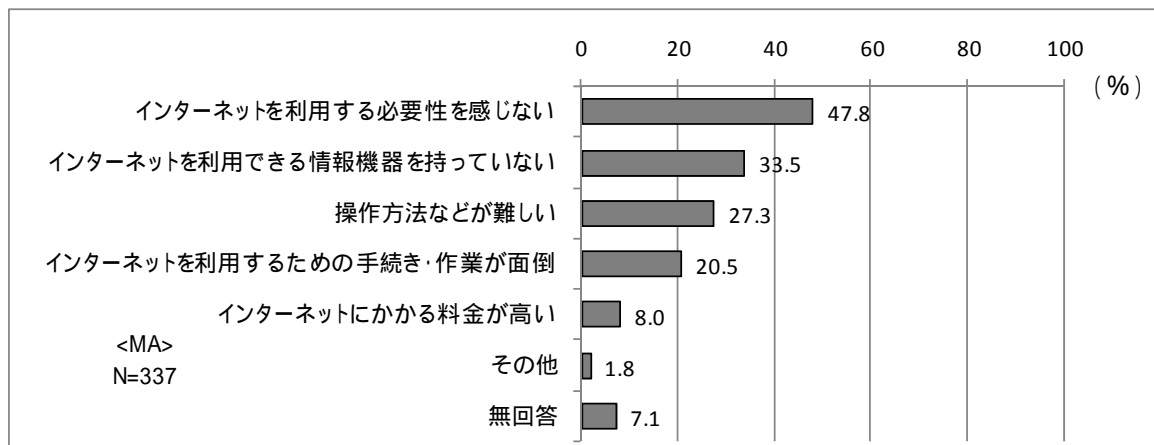
		全体	ホームページの閲覧	電子メール	ネットショッピング	ソフトのダウンロード	ホームページ・ブログ等を通じての情報発信	チャットや掲示板	その他	無回答
全体		1,121	1,024	949	584	322	212	171	10	8
		-	91.3	84.7	52.1	28.7	18.9	15.3	0.9	0.7
F 1 年齢	10代	48	95.8	91.7	37.5	41.7	41.7	39.6	0.0	0.0
	20代	110	95.5	82.7	53.6	30.0	37.3	28.2	0.9	0.0
	30代	280	95.4	86.8	66.8	30.4	18.6	17.5	0.0	0.7
	40代	294	94.2	87.4	59.5	30.6	17.0	14.6	1.4	0.0
	50代	184	87.5	82.1	42.4	24.5	12.5	10.9	0.5	0.5
	60代	151	83.4	77.5	33.8	21.2	12.6	4.6	1.3	2.6
	70代以上	40	75.0	87.5	22.5	32.5	7.5	2.5	5.0	0.0
	無回答	14	85.7	78.6	50.0	28.6	28.6	7.1	0.0	7.1

インターネットを利用していない理由（問 11 - 2）

インターネットを利用しないのは「利用する必要性を感じない」から

- ・ 「インターネットを利用する必要性を感じない」を、半数近くの人が挙げている。

図 インターネットを利用していない理由
(は2つまで。問 11 で「利用していない」と回答した人のみ)



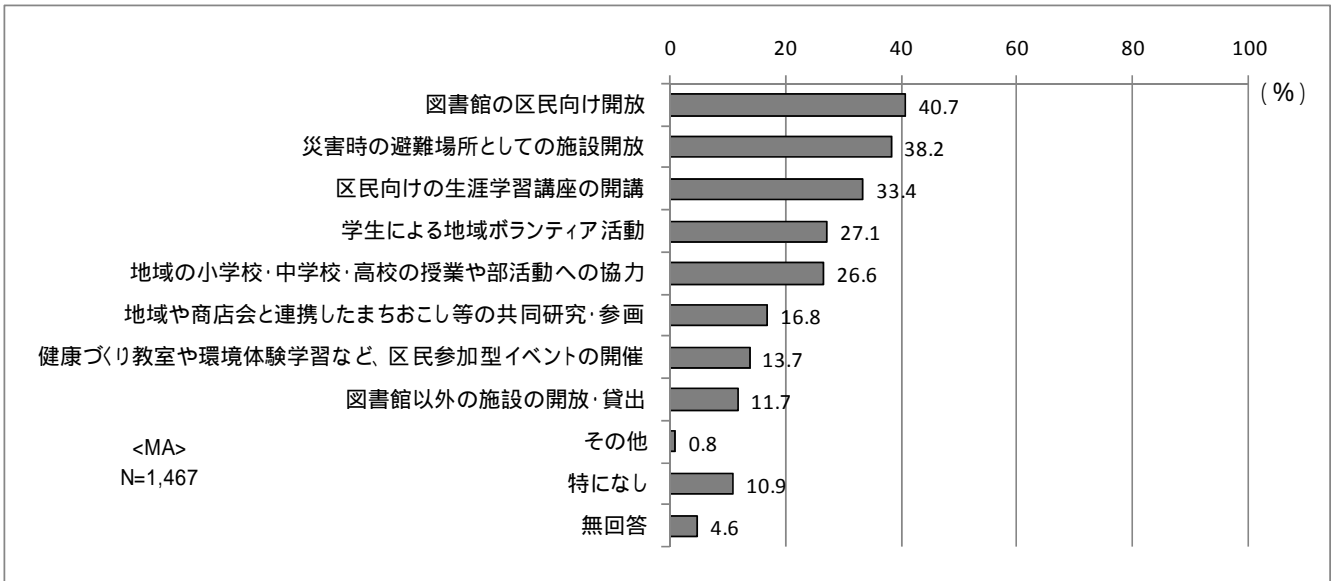
4. 大学連携事業について

大学との連携・協力で大学に期待すること（問 12）

最も期待されているのは、日ごろ不便に思っている「図書館の区民向け開放」

- 「図書館の区民向け開放」が最も多い。なお、図書館については、問2「日々の生活の中で、不足もしくは不便と思うこと」において第2位に挙げられている問題である。

図 区内の大学について期待すること(はいくつでも)



年齢別 区内の大学について期待すること(問 12×F1)

- 10代から40代は「図書館の区民向け開放」、50代、60代では「区民向けの生涯学習講座の開講」、70代以上では「災害時の避難場所としての施設開放」が最も多く、世代によって回答が分かれた。

図 年齢別 区内の大学について期待すること

		全体	図書館の区民向け開放	災害時の避難場所としての施設開放	区民向けの生涯学習講座の開講	学生による地域ボランティア活動	地域の小学校・中学校・高校の授業や部活動への協力	まちおこし等の共同研究・参画	地域や商店会と連携した参画	区民参加型イベントの開催	健康づくり教室や環境体験学習など	図書館以外の施設の開放・貸出	その他	特になし	無回答
全 体		1,467	40.7	38.2	33.4	27.1	26.6	16.8	13.7	11.7	0.8	10.9	4.6		
F 1	10代	51	45.1	31.4	3.9	25.5	31.4	7.8	3.9	9.8	0.0	13.7	2.0		
年齢	20代	115	53.0	37.4	23.5	22.6	21.7	23.5	9.6	16.5	1.7	13.9	1.7		
	30代	291	47.1	41.2	34.4	21.0	30.9	15.5	12.7	14.4	0.3	7.9	2.4		
	40代	324	52.8	46.3	36.7	26.9	40.7	16.0	13.3	13.9	1.2	6.2	1.9		
	50代	233	35.6	38.6	41.2	29.6	21.9	16.7	16.3	11.2	0.4	9.4	3.0		
	60代	264	28.0	33.0	39.8	33.7	20.5	20.5	18.2	9.8	1.1	12.1	5.7		
	70代以上	170	23.5	28.8	21.8	27.6	10.6	13.5	12.4	5.3	0.6	22.4	15.3		
	無回答	19	42.1	26.3	21.1	31.6	21.1	15.8	5.3	0.0	0.0	10.5	15.8		

5. 買い物について

買い物をする所（問 13 - 1）

日用品・食料品は近くの店で、洋服・家電などは遠方まで足を延ばす
横浜市内よりも東京志向が強い

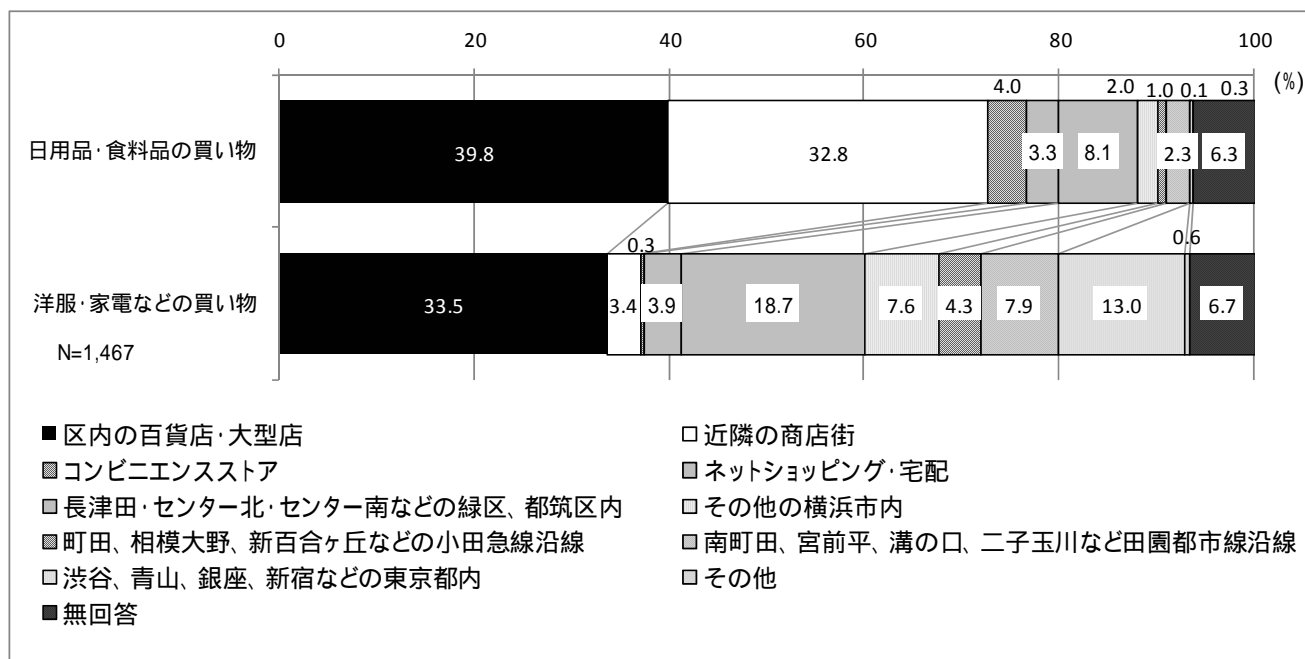
(ア) 日用品・食料品の買い物

- 「区内の百貨店・大型店」が全体の約4割、「近隣の商店街」が約3割を占め、日用品・食料品については近くの店で済ませるケースが7割となっている。

(イ) 洋服・家電など(ア)以外の買い物

- 「区内の百貨店・大型店」が最も多く、全体の3分の1を占める。次いで「長津田・センター北・センター南などの緑区、都筑区内」、「渋谷、青山、銀座、新宿などの東京都内」となっている。日用品に比べて、時間や交通費をかけてでも遠方まで足を延ばす傾向があり、更に、横浜市内よりも都内への志向が見られる。

図 買い物をする所



買い物をする頻度（問 13 - 2）

日用品・食料品は、9割近くが週3日以上の頻度で買い物をするとしている
洋服・家電などは「月に2、3回」「月に1回」「年に数回」がほぼ並ぶ

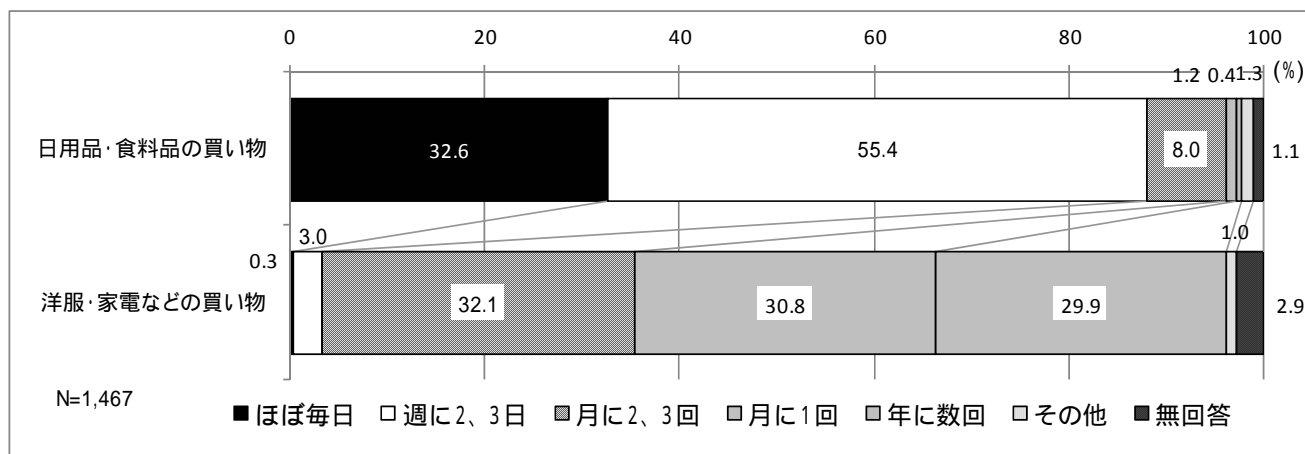
(ア) 日用品・食料品の買い物

- ・ 「週に2、3日」が過半数を占める。次いで「ほぼ毎日」で、これらを合わせると9割近くが週3日以上

(イ) 洋服・家電など(ア)以外の買い物

- ・ 「月に2、3回」「月に1回」「年に数回」がほぼ並ぶ。

図 買い物をする頻度



買い物での主な交通手段（問 13 - 3）

日用品・食料品は、「徒歩」または「自家用車」
洋服・家電などは「自家用車」が最も多く、次いで「電車」

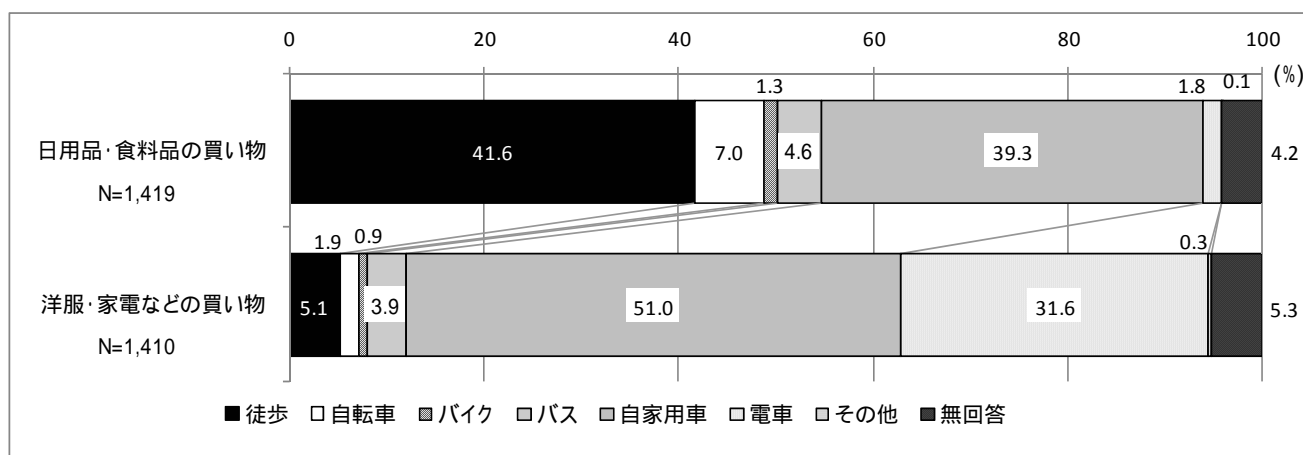
(ア) 日用品・食料品の買い物

- ・ 「徒歩」、「自家用車」がほぼ並ぶ。

(イ) 洋服・家電など(ア)以外の買い物

- ・ 「自家用車」が最も多く、半数を超える。次いで「電車」が約3割である。

図 主な交通手段



(問 13 - 1 で「ネットショッピング・宅配」と回答した人を除く)

6. 地域活動・地域社会について

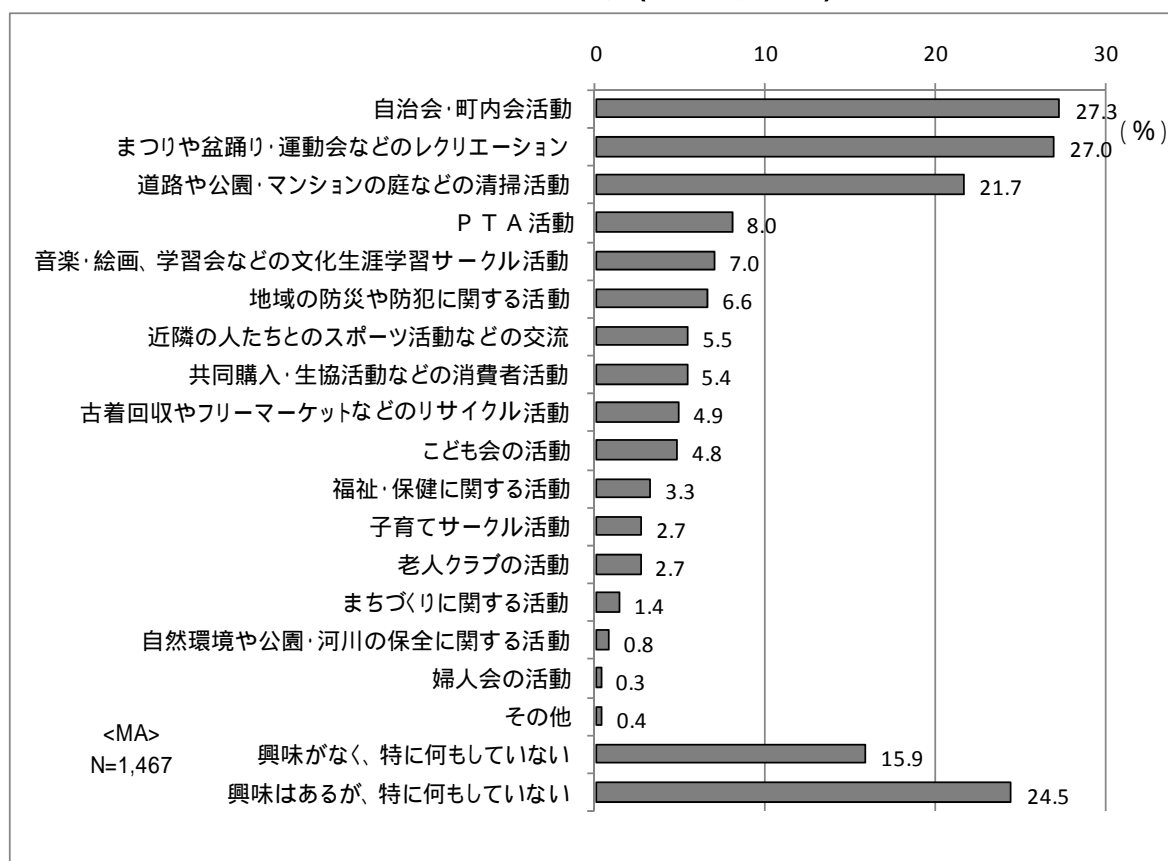
地域の活動への参加（問 14）

「自治会・町内会活動」「まつりや盆踊り・運動会などのレクリエーション」「道路や公園・マンションの庭などの清掃活動」の3点に回答が集中

「興味はあるが、特に何もしていない」は 24.5%に達しており、潜在的な地域活動の担い手の存在が伺われる

- ・ 「自治会・町内会活動」「まつりや盆踊り・運動会などのレクリエーション」が3割弱でほぼ並ぶ。次いで「道路や公園・マンションの庭などの清掃活動」が2割強で、この3点に回答が集中した。
- ・ 「興味はあるが、特に何もしていない」は 25%近くに達しており、潜在的な地域活動の担い手がある程度存在していることが伺われる。

図 地域活動への参加（はいくつでも）

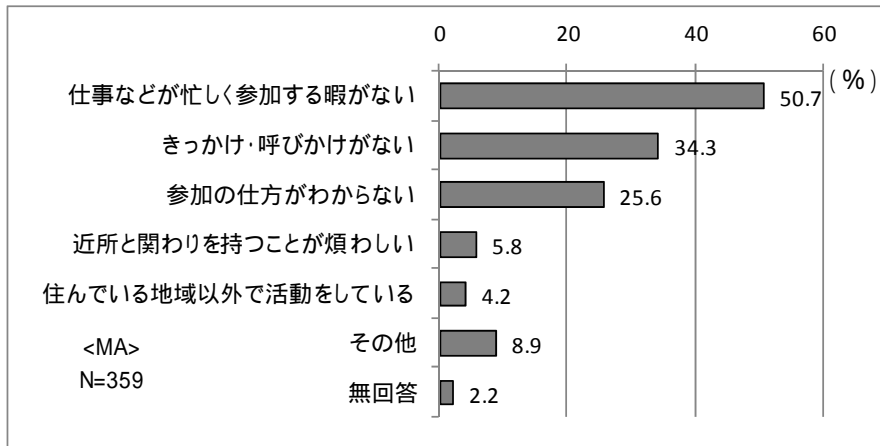


特に何もしていない理由（問 14 - 1）

興味はあるが、特に何もしていない理由は「仕事などが忙しくて参加する暇がない」が最多

- 「興味はあるが、特に何もしていない」と答えた人にその理由を尋ねると、「仕事などが忙しくて参加する暇がない」が最も多く、半数の人が挙げている。次いで「きっかけ・呼びかけがない」が、「参加の仕方がわからない」と続く。

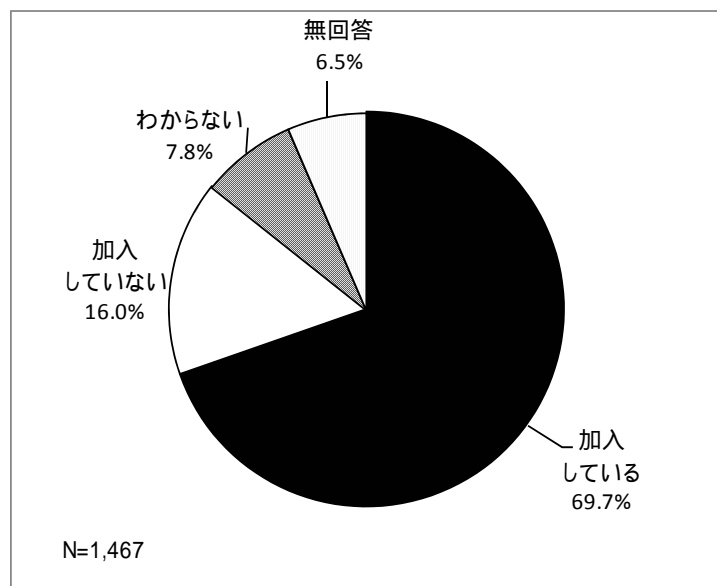
図 特に何もしていない理由（ は2つまで）



自治会・町内会への加入（問 15）

「加入している」が「加入していない」を 50 ポイント以上上回る

図 自治会・町内会加入の有無

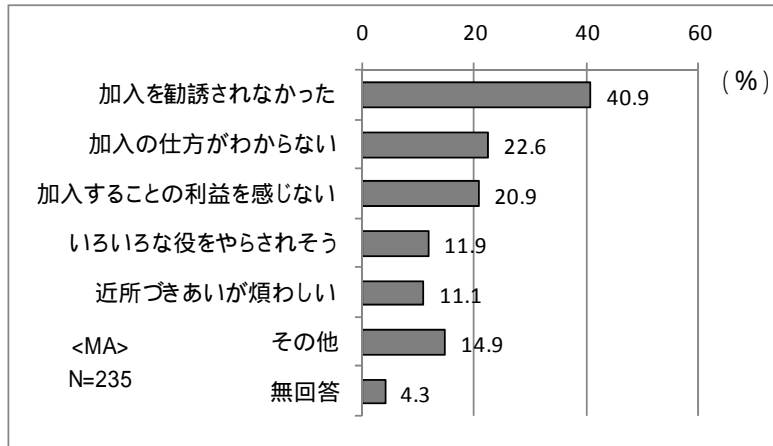


自治会・町内会に加入していない理由（問 15 - 1）

自治会・町内会に加入しない主な理由は「加入を勧誘されなかった」から

- 自治会・町内会に加入していない人に理由を尋ねると「加入を勧誘されなかった」を4割の人が挙げており、最も多くなっている。

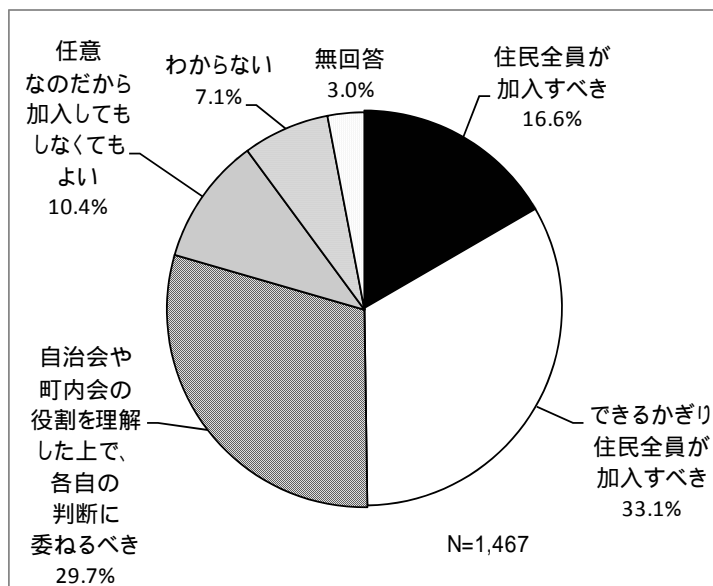
図 自治会・町内会へ加入していない理由（は2つまで）



自治会・町内会への加入についての考え方（問 16）

「できるかぎり住民全員が加入すべき」、次いで「自治会や町内会の役割を理解した上で、各自の判断に委ねるべき」が多くなっている

図 自治会・町内会の加入についてどう思うか

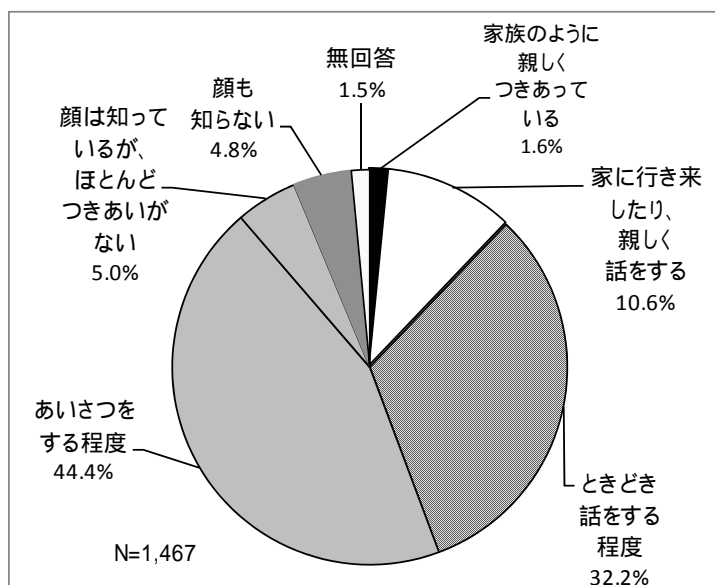


普段の近所づきあい（問 17）

家を行き来するほど親しくはないが、会えばあいさつをする程度の近所付き合いが中心である

- 「あいさつをする程度」が全体の半分弱を占める。次いで「ときどき話をする程度」で、この2つに回答が集中しており、家を行き来するほど親しくはないが、会えばあいさつをする程度の近所付き合いが中心になっていることが伺われる。

図 近所づきあいについて



年齢別 近所づきあいについて(問 17×F1)

- 10代から50代までの世代では「あいさつをする程度」、60代と70代以上では「ときどき話をする程度」が最も多く、高齢者層の方が近所づきあいが深い。

図 年齢別 近所づきあいについて

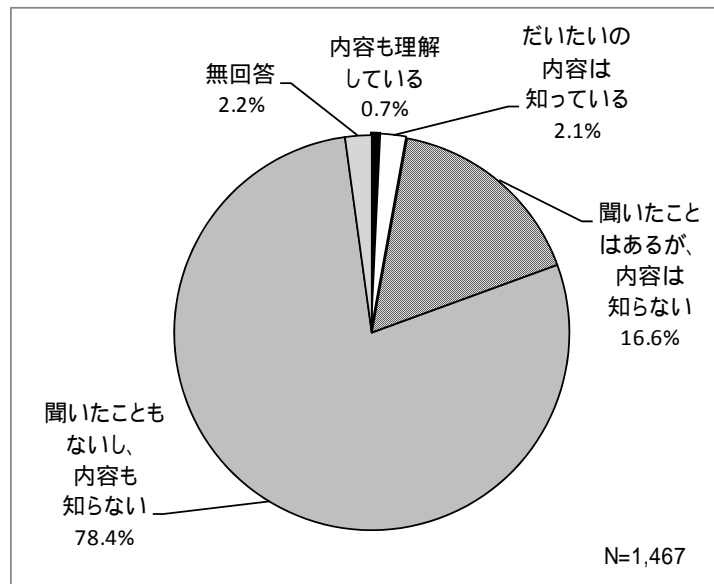
		全体	家族の ように 親しくつき あっている	家に行き来 したり、 親しく話を する	ときどき 話をする 程度	あいさつを する程度	顔は知って いるが、 ほとんど つきあがない	顔も 知らない	無回答
全 体		1,467	23	155	472	651	74	70	22
		100.0	1.6	10.6	32.2	44.4	5.0	4.8	1.5
F 1 年齢	10代	51	3.9	2.0	21.6	56.9	9.8	2.0	3.9
	20代	115	1.7	2.6	13.9	58.3	11.3	12.2	0.0
	30代	291	0.3	9.6	23.7	49.5	5.2	11.0	0.7
	40代	324	0.6	11.7	37.3	42.6	4.3	3.1	0.3
	50代	233	0.4	9.9	32.2	48.9	4.7	2.1	1.7
	60代	264	1.5	14.0	43.2	34.5	3.8	0.8	2.3
	70代以上	170	6.5	14.7	37.1	34.1	2.9	2.4	2.4
	無回答	19	0.0	0.0	15.8	52.6	5.3	10.5	15.8

第2期青葉区地域福祉保健計画の認知度（問18）

「聞いたこともないし、内容も知らない」が8割近くを占め、認知度は低い

- ・ 「聞いたこともないし、内容も知らない」が全体の8割近くを占める。
- ・ 「だいたいの内容は知っている」「内容も理解している」の2つを合わせても、多少なりとも内容を知っている人は3%に満たず、認知度は低い。

図 「青葉かがやく生き生きプラン ～第2期青葉区地域福祉保健計画～」の認知度

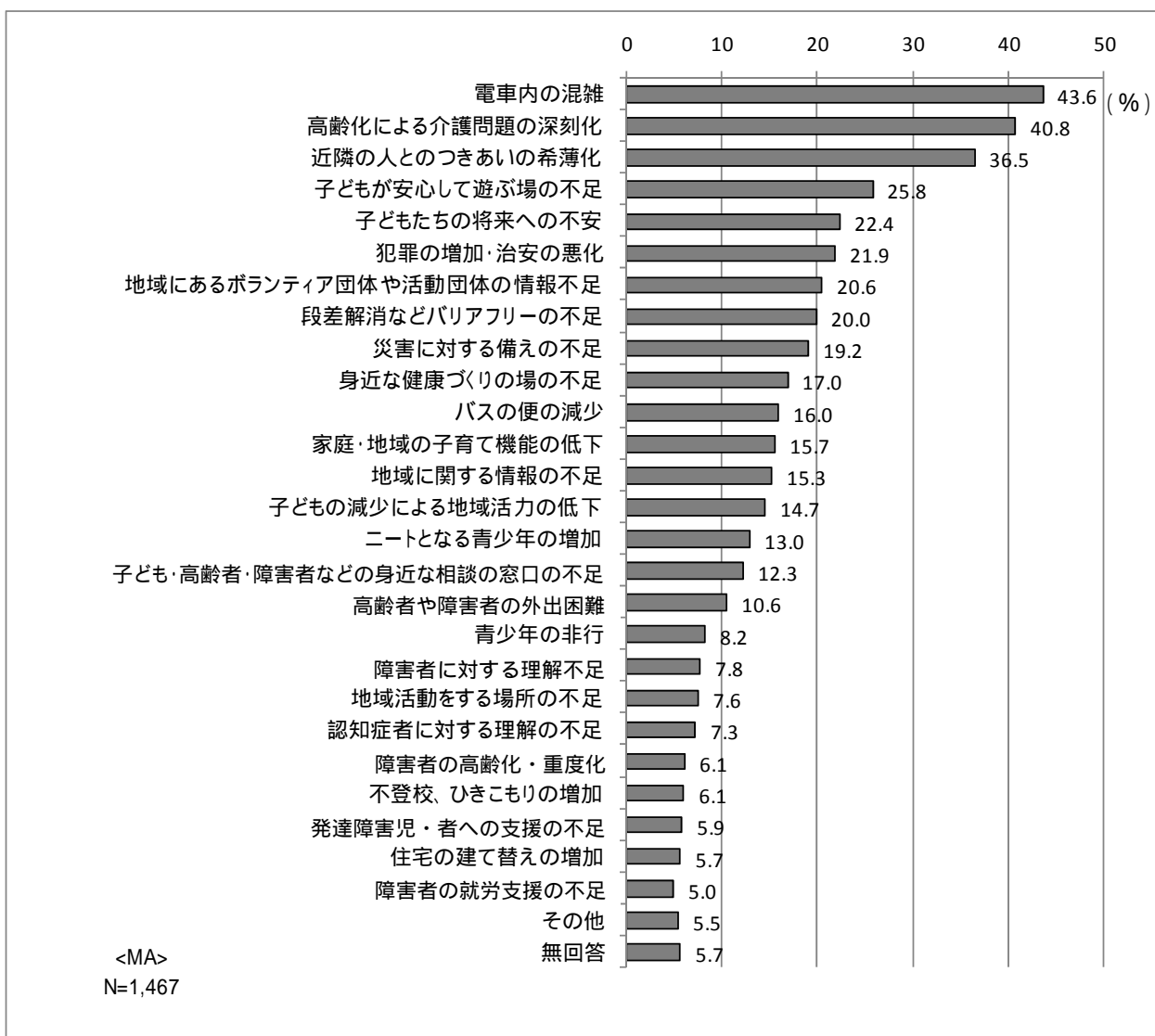


地域の課題や問題（問 19）

「電車内の混雑」が最多。それ以外にも、介護問題の深刻化、近所づきあいの希薄化、子どもに関する問題が上がっている

- 「電車内の混雑」が最も多い。次に「高齢化による介護問題の深刻化」、「近隣の人とのつきあいの希薄化」で、ここまでは4割前後の人が挙げている。次いで「子どもが安心して遊ぶ場の不足」、「子どもたちの将来への不安」と、子どもに関する問題が続く。以下「犯罪の増加・治安の悪化」、「地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足」について2割強の人が挙げている。

図 地域における問題や課題（はいくつでも）



年齢別 地域における問題や課題(問 19×F1)

- ・ 10代から40代までの世代では「電車内の混雑」、50代を超えると「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多く、世代間で回答が分かれた。
- ・ また、10代で「住宅の建て替えの増加」「バスの便の減少」、30代、40代で「子どもが安心して遊ぶ場の不足」、60代では「地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足」が、それぞれ他の世代より高い数値となっている。

図 年齢別 地域における問題や課題

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	
全体	1,467	-	51	115	291	324	233	264	170	19
電車内の混雑	640	43.6	52.9	60.0	51.2	51.2	45.5	31.1	19.4	42.1
高齢化による介護問題の深刻化	599	40.8	13.7	27.0	23.4	34.3	49.8	58.7	61.2	36.8
近隣の人とのつきあいの希薄化	536	36.5	33.3	33.0	30.6	38.0	40.3	37.5	40.0	42.1
子どもが安心して遊ぶ場の不足	379	25.8	27.5	28.7	35.7	34.9	18.5	16.7	14.1	21.1
子どもたちの将来への不安	329	22.4	17.6	21.7	28.5	29.0	24.0	14.8	12.4	10.5
犯罪の増加・治安の悪化	322	21.9	15.7	20.0	22.0	22.2	25.3	21.2	20.0	31.6
地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	302	20.6	5.9	22.6	10.3	15.7	24.5	32.6	26.5	21.1
段差解消などバリアフリーの不足	293	20.0	9.8	16.5	22.7	17.3	26.6	19.7	19.4	0.0
災害に対する備えの不足	281	19.2	15.7	15.7	15.5	20.4	20.2	20.1	24.7	10.5
身近な健康づくりの場の不足	249	17.0	9.8	14.8	11.7	15.7	18.5	24.2	18.8	15.8
バスの便の減少	235	16.0	25.5	20.9	15.8	15.1	15.5	14.4	14.7	21.1
家庭・地域の子育て機能の低下	230	15.7	13.7	15.7	21.3	18.2	16.7	10.2	8.2	21.1
地域に関する情報の不足	225	15.3	15.7	20.0	15.1	10.8	16.7	18.6	14.7	10.5
子どもの減少による地域活力の低下	215	14.7	5.9	12.2	16.8	12.0	15.0	18.2	14.7	10.5
ニートとなる青少年の増加	191	13.0	9.8	20.0	11.0	9.3	14.6	15.2	14.7	10.5
子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	181	12.3	7.8	11.3	10.7	11.4	14.6	13.6	14.7	5.3
高齢者や障害者の外出困難	156	10.6	3.9	13.0	7.2	8.0	11.2	12.5	18.2	10.5
青少年の非行	121	8.2	11.8	12.2	6.5	6.2	11.6	6.8	8.8	10.5
障害者に対する理解不足	114	7.8	9.8	9.6	7.9	5.9	9.4	7.6	7.6	5.3
地域活動をする場所の不足	111	7.6	5.9	7.0	4.5	8.0	9.0	11.4	4.7	10.5
認知症者に対する理解の不足	107	7.3	2.0	6.1	5.5	6.5	9.0	8.7	10.6	0.0
障害者の高齢化・重度化	90	6.1	2.0	6.1	3.8	2.8	5.6	9.5	12.9	10.5
不登校、ひきこもりの増加	89	6.1	9.8	7.8	4.5	6.5	7.7	7.2	1.8	5.3
発達障害児・者への支援の不足	86	5.9	2.0	7.8	5.8	7.1	8.6	4.5	2.4	0.0
住宅の建て替えの増加	84	5.7	15.7	8.7	4.8	4.9	3.4	6.1	5.9	10.5
障害者の就労支援の不足	73	5.0	2.0	7.0	4.8	4.6	7.3	5.3	2.4	0.0
その他	80	5.5	2.0	6.1	8.9	4.0	6.4	4.2	4.1	0.0
無回答	84	5.7	5.9	7.0	3.1	4.9	4.3	6.8	9.4	21.1

(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

居住地域別 地域における問題や課題(問 19×F12)

- ・ 市ヶ尾連合自治会、上谷本連合町内会では「近隣の人とのつきあいの希薄化」が最も多い。
- ・ 奈良町、奈良北団地連合自治会では「バスの便の減少」が最も多い。
- ・ 中里北部連合町内会、谷本連合自治会、すすき野連合自治会では「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多い。
- ・ 上記以外の地域では「電車内の混雑」が最も多く、また青葉台連合自治会では「電車内の混雑」と「高齢化による介護問題の深刻化」が同率である。

図 居住地域別 地域における問題や課題

(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

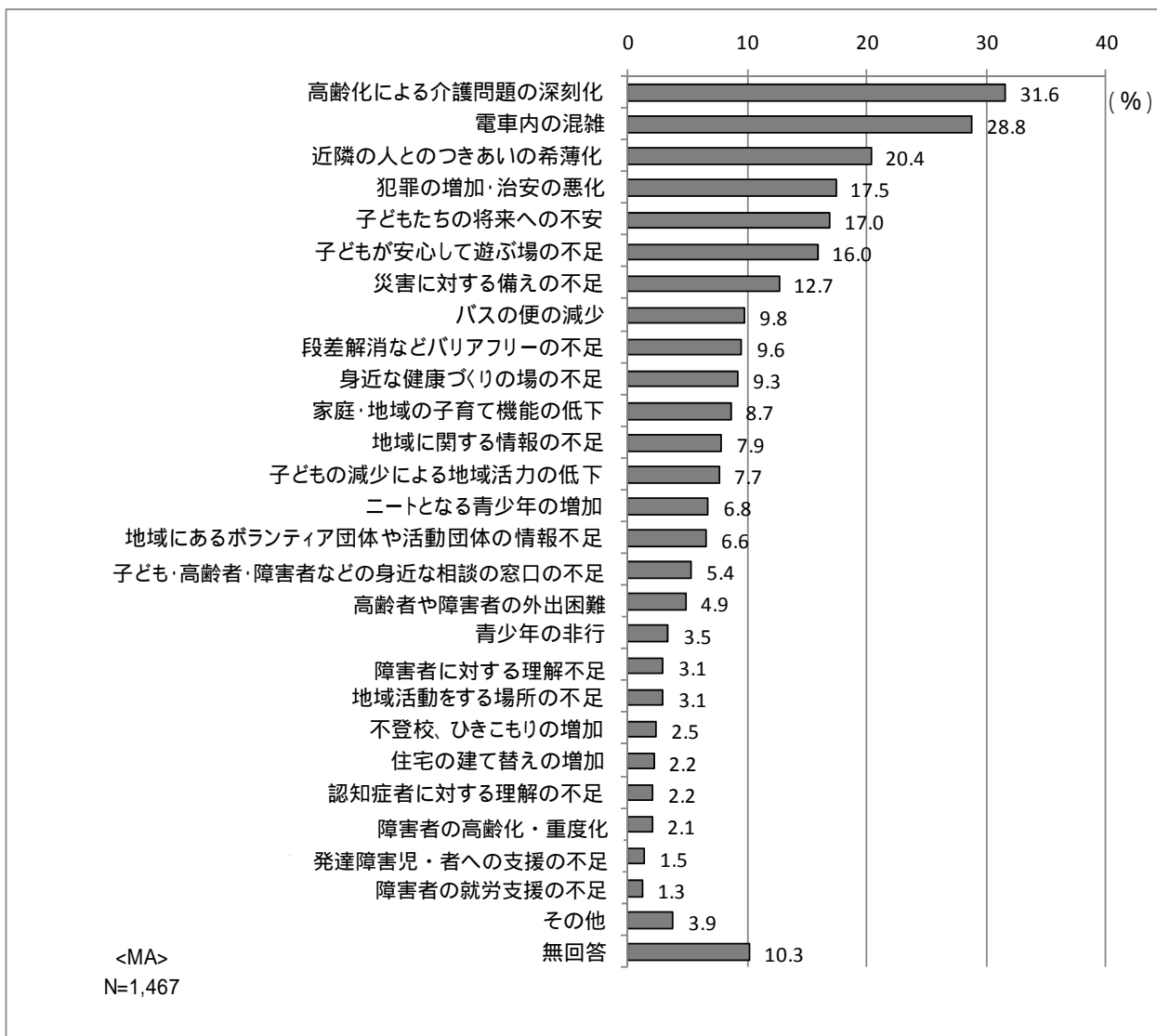
	全体	中里連合自治会	中里北部連合町内会	市ヶ尾連合自治会	上谷本連合町内会	谷本連合自治会	恩田連合自治会	青葉台連合自治会	連合自治会 奈良町、奈良北団地	山内連合自治会	新荏田連合自治会 荏田、荏田西	すすき野連合自治会	美しが丘連合自治会	無回答	
全体	1,467	-	76	68	83	65	120	135	190	125	202	214	86	73	30
電車内の混雑	640	43.6	42.1	45.6	33.7	41.5	40.0	43.7	39.5	36.0	52.5	46.7	41.9	58.9	33.3
高齢化による介護問題の深刻化	599	40.8	31.6	50.0	45.8	33.8	41.7	39.3	39.5	33.6	43.6	35.5	55.8	52.1	36.7
近隣の人とのつきあいの希薄化	536	36.5	30.3	33.8	47.0	44.6	40.8	34.1	28.9	36.0	35.1	37.9	40.7	39.7	36.7
子どもが安心して遊ぶ場の不足	379	25.8	18.4	16.2	30.1	23.1	30.8	22.2	34.7	17.6	29.7	26.2	20.9	23.3	26.7
子どもたちの将来への不安	329	22.4	19.7	19.1	28.9	18.5	24.2	21.5	24.7	20.8	22.3	23.8	22.1	16.4	23.3
犯罪の増加・治安の悪化	322	21.9	7.9	23.5	22.9	27.7	25.0	30.4	24.2	22.4	22.8	18.2	14.0	21.9	16.7
地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	302	20.6	15.8	17.6	16.9	20.0	24.2	22.2	17.9	20.8	23.8	18.7	23.3	26.0	16.7
段差解消などバリアフリーの不足	293	20.0	17.1	22.1	28.9	20.0	25.0	14.8	22.1	17.6	22.3	15.0	22.1	19.2	13.3
災害に対する備えの不足	281	19.2	10.5	16.2	14.5	20.0	23.3	18.5	21.1	20.8	21.8	17.8	20.9	19.2	13.3
身近な健康づくりの場の不足	249	17.0	10.5	23.5	20.5	15.4	8.3	15.6	19.5	21.6	21.3	13.1	12.8	19.2	23.3
バスの便の減少	235	16.0	17.1	19.1	24.1	10.8	16.7	19.3	9.5	38.4	9.4	16.8	8.1	8.2	6.7
家庭・地域の子育て機能の低下	230	15.7	15.8	14.7	18.1	18.5	20.0	14.8	14.2	11.2	17.3	14.0	17.4	15.1	16.7
地域に関する情報の不足	225	15.3	7.9	22.1	18.1	15.4	15.8	19.3	16.3	16.0	15.8	12.6	11.6	13.7	13.3
子どもの減少による地域活力の低下	215	14.7	14.5	23.5	14.5	13.8	15.8	11.9	13.2	14.4	14.9	12.1	22.1	15.1	10.0
ニートとなる青少年の増加	191	13.0	11.8	11.8	15.7	23.1	15.0	14.1	14.2	10.4	14.4	9.3	9.3	11.0	13.3
子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	181	12.3	11.8	13.2	25.3	9.2	11.7	10.4	10.0	10.4	11.9	11.2	15.1	13.7	16.7
高齢者や障害者の外出困難	156	10.6	15.8	7.4	12.0	10.8	10.8	9.6	8.9	9.6	9.9	7.5	19.8	13.7	13.3
青少年の非行	121	8.2	2.6	10.3	14.5	7.7	9.2	7.4	11.6	10.4	6.4	6.1	7.0	4.1	13.3
障害者に対する理解不足	114	7.8	5.3	8.8	13.3	7.7	9.2	11.1	7.4	4.8	6.9	6.1	10.5	4.1	10.0
地域活動をする場所の不足	111	7.6	9.2	8.8	7.2	6.2	5.8	8.9	7.4	5.6	7.9	8.4	8.1	8.2	3.3
認知症者に対する理解の不足	107	7.3	1.3	8.8	10.8	6.2	5.8	7.4	6.3	6.4	8.9	5.6	10.5	12.3	6.7
障害者の高齢化・重度化	90	6.1	2.6	7.4	6.0	10.8	6.7	6.7	8.9	3.2	5.9	4.7	8.1	2.7	6.7
不登校、ひきこもりの増加	89	6.1	5.3	11.8	10.8	9.2	1.7	6.7	4.2	5.6	5.4	5.6	9.3	1.4	13.3
発達障害児・者への支援の不足	86	5.9	2.6	4.4	7.2	7.7	6.7	11.9	5.3	4.0	6.9	4.7	4.7	1.4	6.7
住宅の建て替えの増加	84	5.7	9.2	5.9	3.6	6.2	8.3	5.9	7.4	4.8	1.5	5.6	12.8	1.4	3.3
障害者の就労支援の不足	73	5.0	2.6	7.4	6.0	3.1	6.7	6.7	3.7	2.4	5.4	3.7	8.1	4.1	10.0
その他	80	5.5	7.9	2.9	3.6	1.5	7.5	3.7	5.3	13.6	3.0	5.6	7.0	4.1	0.0
無回答	84	5.7	2.6	7.4	4.8	4.6	5.8	7.4	6.3	3.2	5.9	7.5	4.7	1.4	13.3

重要度が高い地域の課題や問題（問 20）

「高齢化による介護問題の深刻化」が最多、次いで「電車内の混雑」

- ・ 「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多く、次に「電車内の混雑」である。次いで「近隣の人とのつきあいの希薄化」、「犯罪の増加・治安の悪化」、「子どもたちの将来への不安」、「子どもが安心して遊ぶ場の不足」と、前問で上位に挙がっている項目が続く。

図 地域における問題や課題の中で重要度が高い項目（3つまで選択）



年齢別 地域における問題や課題の中で、あなたにとって特に重要度が高い項目(問 20×F1)

- ・ 前項と同様、10代から40代までの世代では「電車内の混雑」、50代を超えると「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多く、世代間で回答が分かれた。
- ・ また、10代で「バスの便の減少」、30代で「子どもが安心して遊ぶ場の不足」、40代で子どもたちの将来への不安」、70代以上では「高齢者や障害者の外出困難」が、それぞれ他の世代より高い数値となっている。

図 年齢別 地域における問題や課題の中で、あなたにとって特に重要度が高い項目

	全体		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
全体	1,467	-	51	115	291	324	233	264	170	19
高齢化による介護問題の深刻化	464	31.6	11.8	20.9	14.8	25.3	39.9	47.0	51.8	21.1
電車内の混雑	423	28.8	45.1	48.7	35.1	36.1	26.2	17.0	8.2	26.3
近隣の人とのつきあいの希薄化	299	20.4	25.5	16.5	18.9	20.4	18.5	20.5	25.9	26.3
犯罪の増加・治安の悪化	256	17.5	15.7	14.8	17.9	21.0	19.7	14.4	13.5	21.1
子どもたちの将来への不安	249	17.0	17.6	15.7	23.7	27.5	14.6	8.0	4.7	5.3
子どもが安心して遊ぶ場の不足	234	16.0	21.6	19.1	29.6	21.0	7.3	5.3	8.2	10.5
災害に対する備えの不足	187	12.7	9.8	9.6	10.7	13.3	15.0	11.7	17.6	5.3
バスの便の減少	144	9.8	19.6	14.8	8.9	9.0	9.4	9.5	7.1	15.8
段差解消などバリアフリーの不足	141	9.6	5.9	5.2	11.0	9.0	11.6	9.8	10.0	5.3
身近な健康づくりの場の不足	136	9.3	5.9	8.7	6.5	6.8	10.7	12.9	12.9	5.3
家庭・地域の子育て機能の低下	127	8.7	13.7	12.2	14.1	11.7	6.4	3.0	1.8	5.3
地域に関する情報の不足	116	7.9	5.9	12.2	6.9	5.2	8.6	11.4	4.7	21.1
子どもの減少による地域活力の低下	113	7.7	7.8	5.2	9.3	7.1	7.3	9.1	6.5	5.3
ニートとなる青少年の増加	100	6.8	15.7	13.0	4.5	4.6	9.4	7.2	4.1	5.3
地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	97	6.6	3.9	7.0	3.1	3.7	9.9	12.5	5.9	0.0
子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	79	5.4	2.0	1.7	5.8	6.5	4.3	7.2	5.3	0.0
高齢者や障害者の外出困難	72	4.9	2.0	4.3	3.1	3.4	3.4	5.3	13.5	5.3
青少年の非行	51	3.5	7.8	2.6	4.1	2.5	5.6	2.7	1.8	5.3
障害者に対する理解不足	45	3.1	5.9	4.3	2.1	2.5	3.0	3.8	3.5	0.0
地域活動をする場所の不足	45	3.1	2.0	3.5	1.7	2.2	4.3	5.3	1.2	10.5
不登校、ひきこもりの増加	36	2.5	9.8	2.6	1.0	2.5	6.0	0.8	0.6	0.0
住宅の建て替えの増加	33	2.2	3.9	1.7	2.1	3.4	1.3	1.5	2.4	5.3
認知症者に対する理解の不足	32	2.2	0.0	2.6	1.0	2.5	3.0	3.4	1.2	0.0
障害者の高齢化・重度化	31	2.1	2.0	0.0	1.0	0.0	0.9	4.5	7.6	0.0
発達障害児・者への支援の不足	22	1.5	0.0	1.7	3.1	1.5	1.7	0.8	0.0	0.0
障害者の就労支援の不足	19	1.3	0.0	1.7	1.7	1.9	1.3	1.1	0.0	0.0
その他	57	3.9	0.0	5.2	6.9	2.5	5.6	2.3	2.4	0.0
無回答	151	10.3	7.8	4.3	8.2	8.0	8.2	14.0	18.2	26.3

(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

同居している子ども別 地域における問題や課題の中で重要度が高い項目(問 20×F10)

- 子どもが小学生までの場合「子どもが安心して遊ぶ場の不足」、子どもが中学生の場合は「子どもたちの将来への不安」、子どもが高校生の場合は「電車内の混雑」、子どもが専門学校生、大学生の場合とこれらにあてはまる家族がない場合「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多く、子どもの状況で重要課題への認識が大きく異なっている。
- また、子どもが乳幼児の場合「家庭・地域の子育て機能の低下」、専門学校生、大学生の場合「ニートとなる青少年の増加」が、それぞれ他より高い数値となっている。

図 同居している子ども別 地域における問題や課題の中で重要度が高い項目

	全体	乳幼児・未就学児	小学生	中学生	高校生	専門学校生	大学生	家族にはいないはまる	無回答
全体	1,467	-	185	217	160	107	131	833	39
高齢化による介護問題の深刻化	464 31.6	10.3	15.2	21.9	24.3	31.3	40.2	35.9	
電車内の混雑	423 28.8	28.1	26.7	30.0	36.4	29.0	28.7	20.5	
近隣の人とのつきあいの希薄化	299 20.4	21.1	18.4	17.5	17.8	19.1	21.7	20.5	
犯罪の増加・治安の悪化	256 17.5	18.4	20.3	17.5	25.2	23.7	16.2	10.3	
子どもたちの将来への不安	249 17.0	35.7	34.1	36.3	33.6	17.6	7.4	23.1	
子どもが安心して遊ぶ場の不足	234 16.0	40.0	35.5	20.0	14.0	9.9	8.9	12.8	
災害に対する備えの不足	187 12.7	11.9	13.4	16.3	12.1	19.8	12.0	10.3	
バスの便の減少	144 9.8	10.3	9.7	10.6	13.1	10.7	10.0	2.6	
段差解消などバリアフリーの不足	141 9.6	9.2	5.5	7.5	5.6	7.6	10.9	5.1	
身近な健康づくりの場の不足	136 9.3	6.5	8.8	8.1	6.5	11.5	10.3	7.7	
家庭・地域の子育て機能の低下	127 8.7	17.8	12.9	10.6	8.4	8.4	5.9	5.1	
地域に関する情報の不足	116 7.9	5.4	4.6	3.1	6.5	6.9	9.6	5.1	
子どもの減少による地域活力の低下	113 7.7	8.6	12.0	8.8	12.1	5.3	7.4	10.3	
ニートとなる青少年の増加	100 6.8	3.2	2.8	6.9	5.6	15.3	7.4	7.7	
地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	97 6.6	1.6	3.2	3.8	4.7	5.3	8.9	2.6	
子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	79 5.4	7.6	3.7	6.3	6.5	6.1	4.7	5.1	
高齢者や障害者の外出困難	72 4.9	1.1	1.8	1.3	2.8	4.6	6.8	2.6	
青少年の非行	51 3.5	4.3	3.7	3.1	4.7	4.6	3.1	2.6	
障害者に対する理解不足	45 3.1	0.5	2.3	3.1	0.9	3.1	3.8	0.0	
地域活動をする場所の不足	45 3.1	0.5	2.3	2.5	2.8	3.8	3.2	7.7	
不登校、ひきこもりの増加	36 2.5	1.6	1.8	3.1	4.7	3.8	1.9	5.1	
住宅の建て替えの増加	33 2.2	2.2	1.4	1.3	2.8	3.1	2.4	2.6	
認知症者に対する理解の不足	32 2.2	0.5	0.0	1.3	0.0	3.8	3.0	0.0	
障害者の高齢化・重度化	31 2.1	1.6	0.5	0.6	0.0	0.0	3.1	2.6	
発達障害児・者への支援の不足	22 1.5	2.7	4.1	1.3	2.8	0.0	0.8	0.0	
障害者の就労支援の不足	19 1.3	1.6	3.2	1.9	0.9	0.8	1.0	2.6	
その他	57 3.9	9.2	1.4	2.5	3.7	3.8	3.2	0.0	
無回答	151 10.3	4.3	10.1	11.3	5.6	6.1	11.9	17.9	

(注:便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

居住地域別 地域における問題や課題の中で重要度が高い項目(問 20×F12)

- ・ 奈良町、奈良北団地連合自治会で「バス便の減少」、荏田、荏田西、新荏田連合自治会と美しが丘連合自治会で「電車内の混雑」、それ以外の地域では「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多くなっている。
- ・ また、市ヶ尾連合自治会で「近隣の人とのつきあいの希薄化」の数値が他に比べて高く、すすき野連合自治会では「子どもの減少による地域活力の低下」がやや高くなっている。

図 居住地域別 地域における問題や課題の中で重要度が高い項目

	全体	中里連合自治会	中里北部連合町内会	市ヶ尾連合自治会	上谷本連合町内会	谷本連合自治会	恩田連合自治会	青葉台連合自治会	奈良町、奈良北団地連合自治会	山内連合自治会	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	すすき野連合自治会	美しが丘連合自治会	無回答	
全体	1,467	-	76	68	83	65	120	135	190	125	202	214	86	73	30
高齢化による介護問題の深刻化	464	31.6	28.9	33.8	41.0	32.3	30.8	28.9	32.1	24.0	35.1	27.1	43.0	31.5	26.7
電車内の混雑	423	28.8	27.6	25.0	19.3	27.7	25.8	28.1	28.4	22.4	33.2	33.2	22.1	47.9	26.7
近隣の人とのつきあいの希薄化	299	20.4	14.5	19.1	30.1	15.4	20.8	17.0	17.9	24.0	18.3	24.3	22.1	20.5	16.7
犯罪の増加・治安の悪化	256	17.5	9.2	20.6	16.9	18.5	23.3	25.2	18.4	16.8	16.8	14.0	10.5	19.2	13.3
子どもたちの将来への不安	249	17.0	17.1	14.7	25.3	13.8	14.2	14.1	14.2	16.0	16.3	22.4	18.6	13.7	20.0
子どもが安心して遊ぶ場の不足	234	16.0	17.1	8.8	15.7	15.4	20.8	16.3	21.1	8.8	16.8	16.8	11.6	16.4	6.7
災害に対する備えの不足	187	12.7	3.9	11.8	6.0	12.3	18.3	11.9	12.1	16.8	14.4	11.7	14.0	16.4	10.0
バスの便の減少	144	9.8	14.5	14.7	12.0	10.8	10.0	8.9	3.2	27.2	6.4	11.7	3.5	0.0	3.3
段差解消などバリアフリーの不足	141	9.6	10.5	10.3	12.0	7.7	11.7	8.9	9.5	8.8	10.9	7.0	12.8	8.2	6.7
身近な健康づくりの場の不足	136	9.3	7.9	10.3	8.4	9.2	5.8	11.1	11.1	8.8	10.9	7.9	7.0	12.3	6.7
家庭・地域の子育て機能の低下	127	8.7	10.5	8.8	9.6	7.7	10.8	5.2	9.5	4.0	12.4	9.3	5.8	6.8	6.7
地域に関する情報の不足	116	7.9	7.9	10.3	9.6	9.2	10.8	11.9	6.3	9.6	3.5	7.5	7.0	6.8	6.7
子どもの減少による地域活力の低下	113	7.7	6.6	10.3	3.6	6.2	6.7	8.1	6.8	9.6	8.4	6.1	16.3	5.5	6.7
ニートとなる青少年の増加	100	6.8	7.9	4.4	6.0	13.8	9.2	8.9	7.4	7.2	5.0	4.2	3.5	8.2	10.0
地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	97	6.6	9.2	1.5	4.8	10.8	6.7	8.9	5.8	5.6	5.9	7.5	4.7	9.6	3.3
子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	79	5.4	3.9	10.3	10.8	1.5	5.0	5.2	3.2	4.0	5.0	4.7	8.1	6.8	10.0
高齢者や障害者の外出困難	72	4.9	7.9	1.5	3.6	7.7	2.5	4.4	5.3	4.0	4.0	3.7	11.6	8.2	3.3
青少年の非行	51	3.5	1.3	7.4	3.6	4.6	3.3	5.9	4.7	4.8	2.5	2.3	0.0	1.4	3.3
障害者に対する理解不足	45	3.1	2.6	2.9	2.4	4.6	4.2	3.0	4.7	1.6	1.5	3.7	3.5	2.7	0.0
地域活動をする場所の不足	45	3.1	3.9	4.4	2.4	0.0	0.8	3.0	3.7	2.4	2.5	3.7	3.5	5.5	6.7
不登校、ひきこもりの増加	36	2.5	3.9	5.9	2.4	4.6	2.5	3.0	0.5	2.4	1.5	2.3	2.3	1.4	6.7
住宅の建て替えの増加	33	2.2	3.9	1.5	2.4	3.1	2.5	3.7	3.7	1.6	1.0	2.3	1.2	0.0	0.0
認知症者に対する理解の不足	32	2.2	2.6	4.4	1.2	3.1	2.5	1.5	2.6	2.4	1.5	1.9	2.3	2.7	0.0
障害者の高齢化・重度化	31	2.1	2.6	2.9	2.4	6.2	1.7	0.7	1.6	2.4	2.5	1.4	2.3	1.4	3.3
発達障害児・者への支援の不足	22	1.5	1.3	0.0	1.2	1.5	1.7	4.4	0.5	0.0	2.5	1.4	1.2	1.4	0.0
障害者の就労支援の不足	19	1.3	1.3	1.5	0.0	0.0	4.2	2.2	0.5	0.0	1.5	0.9	2.3	1.4	0.0
その他	57	3.9	5.3	1.5	2.4	0.0	4.2	3.0	4.2	12.8	1.0	4.2	3.5	4.1	0.0
無回答	151	10.3	9.2	10.3	8.4	10.8	8.3	8.1	12.6	8.0	11.9	11.2	12.8	4.1	20.0

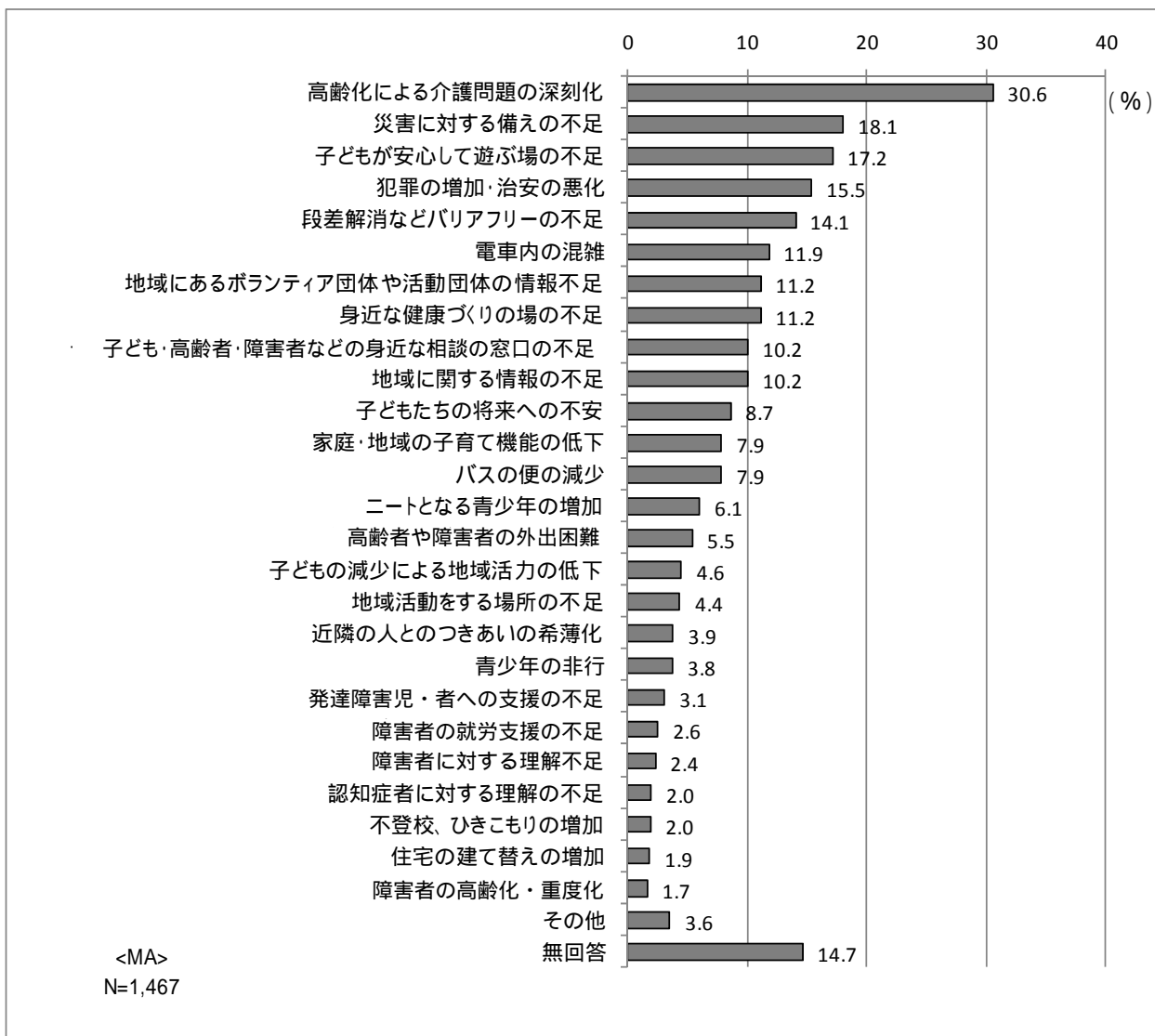
(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

区役所に対策をとってほしい地域の課題や問題（問 21）

「高齢化による介護問題の深刻化」が突出して多い

- ・ 「高齢化による介護問題の深刻化」を全体の3割が挙げており、突出して多くなっている。

図 地域における問題や課題の中で特に区役所に対策をとってほしい項目（3つまで選択）



年齢別 地域における問題や課題の中で特に区役所に対策をとってほしい項目(問 21×F1)

- ・ 10代と30代で「子どもが安心して遊ぶ場の不足」、20代で「電車内の混雑」、40代以上の世代では「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多くなっている。

図 年齢別 特に区役所に対策をとってほしい項目

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	
全体	1,467	-	51	115	291	324	233	264	170	19
高齢化による介護問題の深刻化	449	30.6	9.8	14.8	17.9	30.6	39.1	43.2	40.6	10.5
災害に対する備えの不足	266	18.1	15.7	15.7	17.2	23.1	20.6	14.0	17.1	5.3
子どもが安心して遊ぶ場の不足	253	17.2	25.5	18.3	26.8	23.5	12.4	6.4	8.8	21.1
犯罪の増加・治安の悪化	227	15.5	17.6	15.7	18.2	16.7	16.3	12.5	11.8	10.5
段差解消などバリアフリーの不足	207	14.1	11.8	7.0	16.5	13.3	17.6	12.9	15.9	0.0
電車内の混雑	175	11.9	19.6	35.7	16.5	13.0	8.6	2.3	3.5	10.5
地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	165	11.2	9.8	11.3	6.2	9.9	12.4	16.7	12.4	15.8
身近な健康づくりの場の不足	165	11.2	2.0	11.3	6.9	11.1	12.0	16.7	11.2	21.1
子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	149	10.2	2.0	7.8	6.5	12.0	12.0	13.6	9.4	5.3
地域に関する情報の不足	149	10.2	7.8	10.4	8.6	10.2	10.7	11.7	8.8	21.1
子どもたちの将来への不安	127	8.7	15.7	10.4	16.5	10.5	5.2	3.4	2.4	0.0
家庭・地域の子育て機能の低下	116	7.9	9.8	13.9	13.1	8.6	3.9	6.1	1.8	5.3
バスの便の減少	116	7.9	13.7	13.9	6.5	8.0	6.9	7.2	5.9	15.8
ニートとなる青少年の増加	89	6.1	5.9	10.4	5.8	3.7	6.4	6.8	5.9	10.5
高齢者や障害者の外出困難	80	5.5	3.9	6.1	3.8	4.3	4.7	6.8	10.0	0.0
子どもの減少による地域活力の低下	67	4.6	11.8	5.2	6.2	4.9	2.1	3.0	4.7	0.0
地域活動をする場所の不足	65	4.4	3.9	3.5	2.7	5.6	4.7	6.8	0.6	15.8
近隣の人とのつきあいの希薄化	57	3.9	7.8	3.5	5.8	4.3	2.1	3.4	1.8	5.3
青少年の非行	56	3.8	9.8	3.5	3.4	2.8	6.0	2.7	3.5	5.3
発達障害児・者への支援の不足	46	3.1	0.0	5.2	5.2	3.1	3.0	2.3	1.2	0.0
障害者の就労支援の不足	38	2.6	0.0	3.5	2.1	2.8	3.9	3.0	1.2	0.0
障害者に対する理解不足	35	2.4	5.9	1.7	2.1	2.2	4.7	1.1	1.8	0.0
認知症者に対する理解の不足	30	2.0	2.0	0.9	1.0	1.5	3.9	3.0	1.8	0.0
不登校、ひきこもりの増加	29	2.0	7.8	0.9	2.1	1.2	2.6	2.3	1.2	0.0
住宅の建て替えの増加	28	1.9	5.9	3.5	1.0	2.5	1.3	0.4	3.5	0.0
障害者の高齢化・重度化	25	1.7	3.9	0.9	0.3	0.3	0.9	3.0	5.9	0.0
その他	53	3.6	0.0	5.2	6.5	3.4	3.9	2.3	1.2	0.0
無回答	216	14.7	9.8	5.2	11.7	10.2	15.0	18.9	27.1	36.8

(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

同居している子ども別 特に区役所に対策をとってほしい項目(問 21×F10)

- ・ 子どもが小学生までの場合「子どもが安心して遊ぶ場の不足」、子どもが中学生以上の場合とこれらにあてはまる家族がいない場合「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多くなっている。
- ・ また、子どもが乳幼児の場合「子どもたちの将来への不安」が他に比べて高い数値となっている。

図 同居している子ども別 特に区役所に対策をとってほしい項目

	全体	乳幼児・未就学児	小学生	中学生	高校生	専門学校生 大学生	上記にあてはまる	無回答
全体	1,467 -	185	217	160	107	131	833	39
高齢化による介護問題の深刻化	449 30.6	15.1	24.4	27.5	28.0	27.5	36.7	25.6
災害に対する備えの不足	266 18.1	16.8	20.7	23.1	21.5	23.7	17.0	12.8
子どもが安心して遊ぶ場の不足	253 17.2	36.2	30.9	21.9	18.7	16.8	10.9	12.8
犯罪の増加・治安の悪化	227 15.5	18.9	17.5	13.1	19.6	14.5	15.0	5.1
段差解消などバリアフリーの不足	207 14.1	15.1	11.1	12.5	7.5	17.6	14.3	12.8
電車内の混雑	175 11.9	13.0	10.6	10.0	13.1	13.0	11.8	7.7
地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	165 11.2	4.9	8.3	10.6	12.1	8.4	13.4	7.7
身近な健康づくりの場の不足	165 11.2	8.1	9.2	13.1	13.1	14.5	11.8	10.3
子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	149 10.2	9.2	8.8	11.9	11.2	13.0	9.1	15.4
地域に関する情報の不足	149 10.2	8.1	10.6	6.9	9.3	9.9	10.4	15.4
子どもたちの将来への不安	127 8.7	18.9	16.6	14.4	10.3	6.9	5.2	5.1
家庭・地域の子育て機能の低下	116 7.9	15.1	9.7	10.6	2.8	5.3	7.1	5.1
バスの便の減少	116 7.9	7.6	8.3	11.9	10.3	8.4	7.3	7.7
ニートとなる青少年の増加	89 6.1	3.8	3.2	3.8	6.5	8.4	7.0	7.7
高齢者や障害者の外出困難	80 5.5	3.2	2.8	3.1	4.7	7.6	6.4	5.1
子どもの減少による地域活力の低下	67 4.6	5.9	6.9	5.6	6.5	3.1	4.2	5.1
地域活動をする場所の不足	65 4.4	2.7	5.1	3.8	3.7	4.6	4.6	5.1
近隣の人とのつきあいの希薄化	57 3.9	4.9	5.1	5.0	3.7	3.1	3.5	2.6
青少年の非行	56 3.8	4.9	3.2	2.5	3.7	5.3	4.0	0.0
発達障害児・者への支援の不足	46 3.1	4.9	5.5	4.4	6.5	3.1	2.3	0.0
障害者の就労支援の不足	38 2.6	1.6	3.7	3.1	2.8	3.8	2.4	2.6
障害者に対する理解不足	35 2.4	1.6	1.8	2.5	0.0	3.1	2.9	0.0
認知症者に対する理解の不足	30 2.0	1.1	1.4	1.9	0.0	3.8	2.3	2.6
不登校、ひきこもりの増加	29 2.0	2.2	1.8	1.3	2.8	2.3	1.8	5.1
住宅の建て替えの増加	28 1.9	2.2	0.9	1.3	1.9	2.3	2.0	0.0
障害者の高齢化・重度化	25 1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	2.5	2.6
その他	53 3.6	7.6	2.3	2.5	4.7	3.8	3.0	0.0
無回答	216 14.7	7.0	12.0	12.5	11.2	10.7	16.9	30.8

(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

居住地域別 地域における問題や課題の中で特に区役所に対策をとってほしい項目(問21×F12)

- ・ いずれの地域も「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多くなっていることに変わりはない。
- ・ ただし奈良町、奈良北団地連合自治会で「バスの減少」、美しが丘連合自治会では「電車内の混雑」が特に高い数値となっているほか、市ヶ尾連合自治会では「子どもたちの将来への不安」「子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足」の数値がやや高くなっている。

図 居住地域別 特に区役所に対策をとってほしい項目

	全体	中里連合自治会	中里北部連合町内会	市ヶ尾連合自治会	上谷本連合町内会	谷本連合自治会	恩田連合自治会	青葉台連合自治会	奈良町、奈良北団地連合自治会	山内連合自治会	新在田、在田西、在田連合自治会	すすぎ野連合自治会	美しが丘連合自治会	無回答	
全体	1,467	-	76	68	83	65	120	135	190	125	202	214	86	73	30
高齢化による介護問題の深刻化	449	30.6	21.1	36.8	36.1	32.3	31.7	31.9	28.9	28.0	30.2	27.1	43.0	31.5	23.3
災害に対する備えの不足	266	18.1	6.6	14.7	12.0	20.0	23.3	17.0	20.0	22.4	16.3	21.5	18.6	17.8	10.0
子どもが安心して遊ぶ場の不足	253	17.2	13.2	13.2	20.5	21.5	18.3	17.8	22.1	8.8	21.8	16.8	12.8	15.1	6.7
犯罪の増加・治安の悪化	227	15.5	10.5	17.6	10.8	21.5	17.5	23.0	17.9	16.8	15.3	12.1	5.8	17.8	6.7
段差解消などバリアフリーの不足	207	14.1	15.8	14.7	15.7	10.8	13.3	12.6	17.4	15.2	14.9	13.1	12.8	13.7	3.3
電車内の混雑	175	11.9	11.8	13.2	3.6	4.6	10.8	11.9	13.2	13.6	15.3	9.3	8.1	24.7	13.3
地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	165	11.2	14.5	10.3	8.4	13.8	11.7	12.6	9.5	10.4	10.4	9.8	12.8	19.2	6.7
身近な健康づくりの場の不足	165	11.2	7.9	13.2	10.8	6.2	5.0	13.3	13.2	12.8	9.9	12.6	12.8	13.7	13.3
子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	149	10.2	9.2	7.4	19.3	7.7	9.2	9.6	8.4	10.4	8.4	14.0	7.0	6.8	16.7
地域に関する情報の不足	149	10.2	5.3	14.7	9.6	7.7	15.0	11.1	8.9	8.0	7.4	11.2	12.8	9.6	16.7
子どもたちの将来への不安	127	8.7	7.9	8.8	18.1	6.2	6.7	10.4	8.4	8.0	9.9	8.4	4.7	5.5	6.7
家庭・地域の子育て機能の低下	116	7.9	7.9	10.3	3.6	10.8	10.8	5.9	6.3	6.4	11.4	8.9	2.3	8.2	6.7
バスの便の減少	116	7.9	11.8	10.3	9.6	7.7	7.5	8.9	3.2	20.8	4.0	9.8	2.3	0.0	10.0
ニートとなる青少年の増加	89	6.1	7.9	7.4	3.6	12.3	5.0	5.9	5.8	4.8	7.4	4.7	4.7	8.2	3.3
高齢者や障害者の外出困難	80	5.5	11.8	2.9	3.6	6.2	4.2	6.7	3.7	3.2	5.0	4.2	12.8	6.8	6.7
子どもの減少による地域活力の低下	67	4.6	5.3	2.9	3.6	4.6	5.0	5.2	4.2	2.4	6.9	5.1	4.7	2.7	0.0
地域活動をする場所の不足	65	4.4	5.3	4.4	4.8	0.0	2.5	3.7	4.2	3.2	4.0	6.5	5.8	8.2	3.3
近隣の人とのつきあいの希薄化	57	3.9	3.9	1.5	4.8	4.6	3.3	3.7	3.7	1.6	4.0	5.1	5.8	4.1	3.3
青少年の非行	56	3.8	2.6	8.8	2.4	1.5	5.0	5.2	3.2	6.4	1.5	3.7	2.3	6.8	0.0
発達障害児・者への支援の不足	46	3.1	1.3	4.4	2.4	3.1	5.0	4.4	3.2	2.4	3.5	2.8	2.3	2.7	0.0
障害者の就労支援の不足	38	2.6	1.3	1.5	2.4	0.0	6.7	3.7	0.5	2.4	3.0	3.3	1.2	2.7	3.3
障害者に対する理解不足	35	2.4	2.6	4.4	1.2	1.5	1.7	3.7	4.2	3.2	0.0	2.3	3.5	1.4	0.0
認知症者に対する理解の不足	30	2.0	1.3	1.5	1.2	4.6	1.7	2.2	2.1	1.6	0.5	1.9	3.5	5.5	3.3
不登校、ひきこもりの増加	29	2.0	2.6	1.5	0.0	3.1	2.5	2.2	1.1	2.4	1.0	2.3	2.3	1.4	10.0
住宅の建て替えの増加	28	1.9	3.9	2.9	0.0	0.0	0.8	2.2	3.7	1.6	1.5	0.5	7.0	0.0	0.0
障害者の高齢化・重度化	25	1.7	2.6	1.5	4.8	3.1	1.7	0.7	2.1	1.6	1.0	0.5	3.5	0.0	3.3
その他	53	3.6	5.3	2.9	3.6	1.5	4.2	2.2	2.6	9.6	2.0	4.7	3.5	1.4	0.0
無回答	216	14.7	18.4	14.7	13.3	16.9	12.5	11.1	14.7	12.0	17.3	14.5	17.4	9.6	30.0

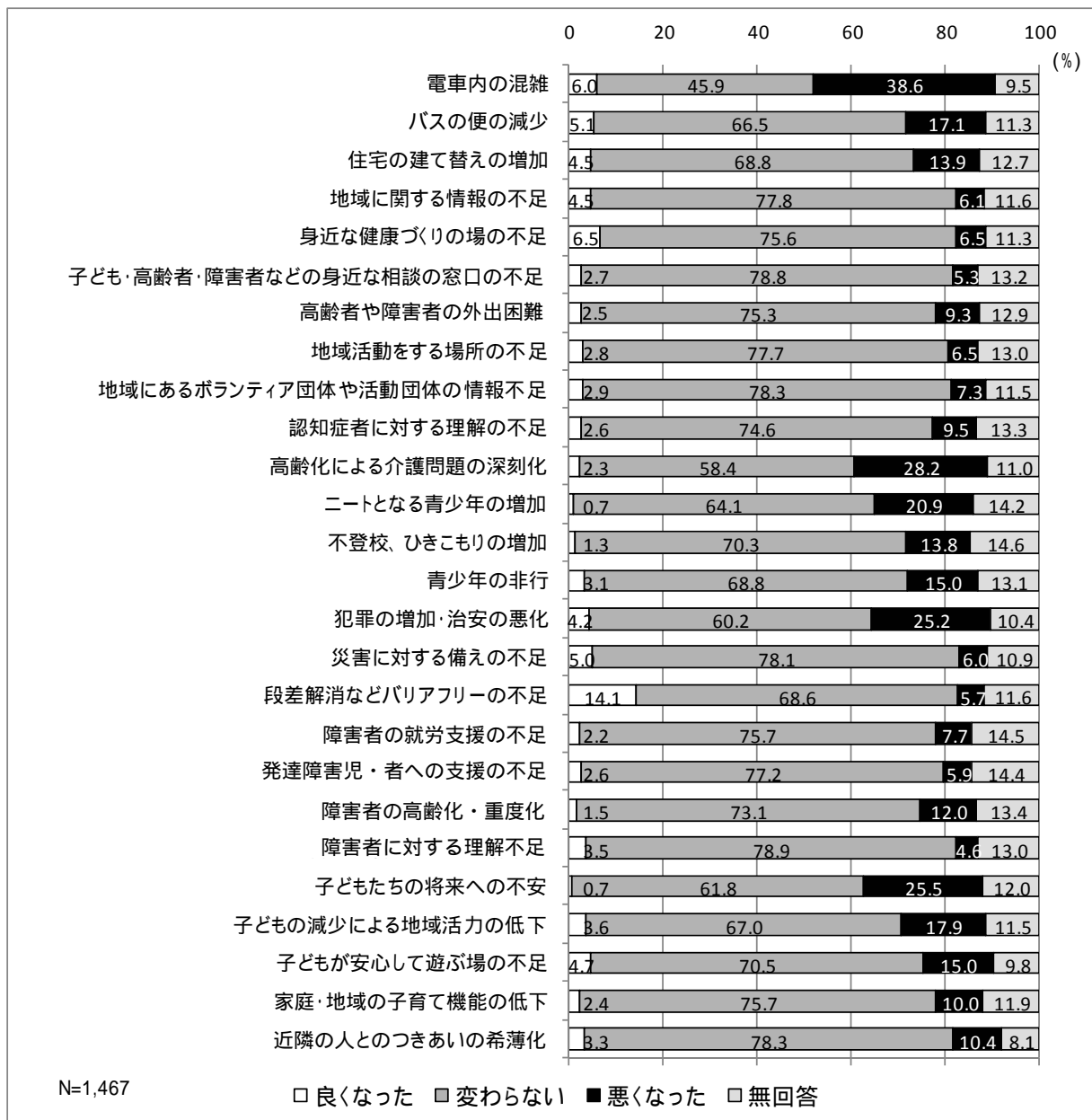
(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

ここ1～2年の間の課題の変化（問22）

好転した課題は「段差解消などバリアフリーの不足」、悪化したのは「電車内の混雑」

- ・ いずれの項目も「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 「良くなった」の割合が最も高いのは「段差解消などバリアフリーの不足」で、「良くなった」が1割を超えているのはこの項目のみである。
- ・ 「悪くなった」の項目が最も高いのは「電車内の混雑」で、4割近くに達している。次いで「高齢化による介護問題の深刻化」、「子どもたちの将来への不安」、「犯罪の増加・治安の悪化」、「ニート（就労・就学しておらず、なおかつ働く意思も、学ぶ意思も持たない若者）となる青少年の増加」と続いており、これらは「悪くなった」が2割を超えている。

図 地域における課題の変化



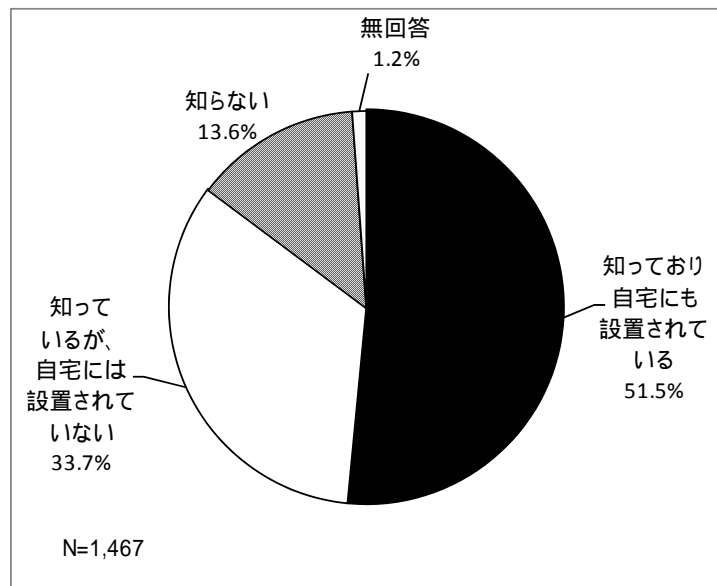
7. 危機管理について

住宅用火災警報器設置義務化の認知度（問 23）

「知っており、自宅にも設置されている」が過半数を占め、認知度は高い

- 「知っており、自宅にも設置されている」が最も多く、過半数を占める。「知っているが、自宅には設置されていない」は約3分の1、「知らない」は1割強で、認知度は高い。

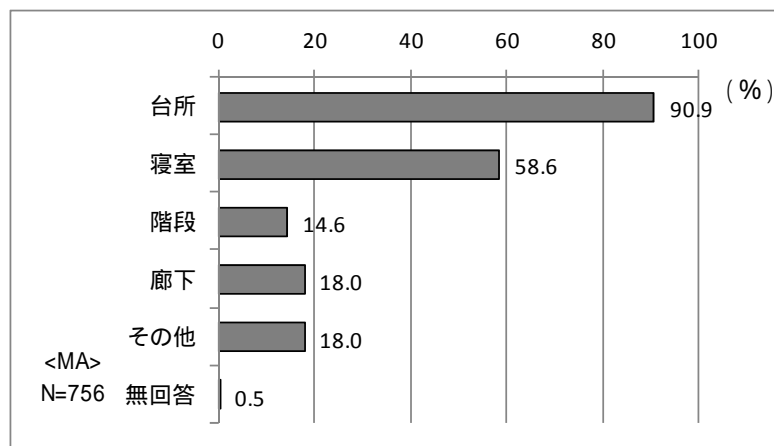
図 住宅用火災警報器設置についての認知度



住宅用火災警報器の設置場所（問 23 - 1）

9割が「台所」、6割弱が「寝室」を挙げている

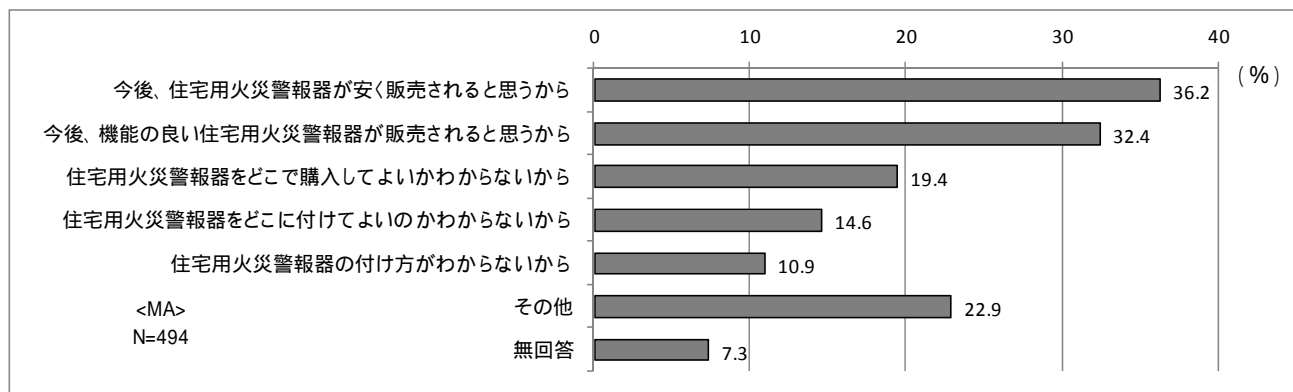
図 住宅用火災警報器の設置場所（はいくつでも）



住宅用火災警報器などが設置されていない理由（問 23 - 2）

設置されていない理由としては「今後、住宅用火災警報器が安く販売されると思うから」
「今後、機能の良い住宅用火災警報器が販売されると思うから」がほぼ並ぶ

図 住宅用火災警報器などが設置されていない理由



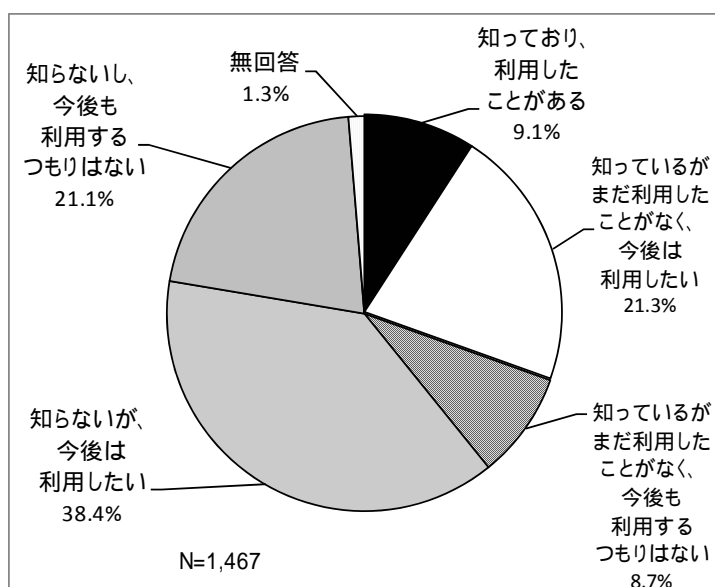
8. 区政・行政サービスについて

郵便局の証明発行窓口サービスの認知度（問24）

認知度は4割弱でさほど高くないが、今後の利用意向は高い

- ・ 「知らないが、今後は利用したい」が最も多く、全体の3分の1強となっている。次いで「知っているが、まだ利用したことがなく、今後は利用したい」、「知らないし、今後も利用するつもりはない」が2割強でほぼ並ぶ。
- ・ なお「知っており、利用したことがある」、「知っているが、まだ利用したことがなく、今後は利用したい」、「知っているが、まだ利用したことがなく、今後も利用するつもりはない」を合わせると、認知度は4割弱である。
- ・ また「知っており、利用したことがある」、「知らないが、今後は利用したい」を合わせると7割近くに達し、利用意向は高いといえる。

図 郵便局(青葉台、横浜奈良郵便局)で行っている証明発行窓口サービスの認知度

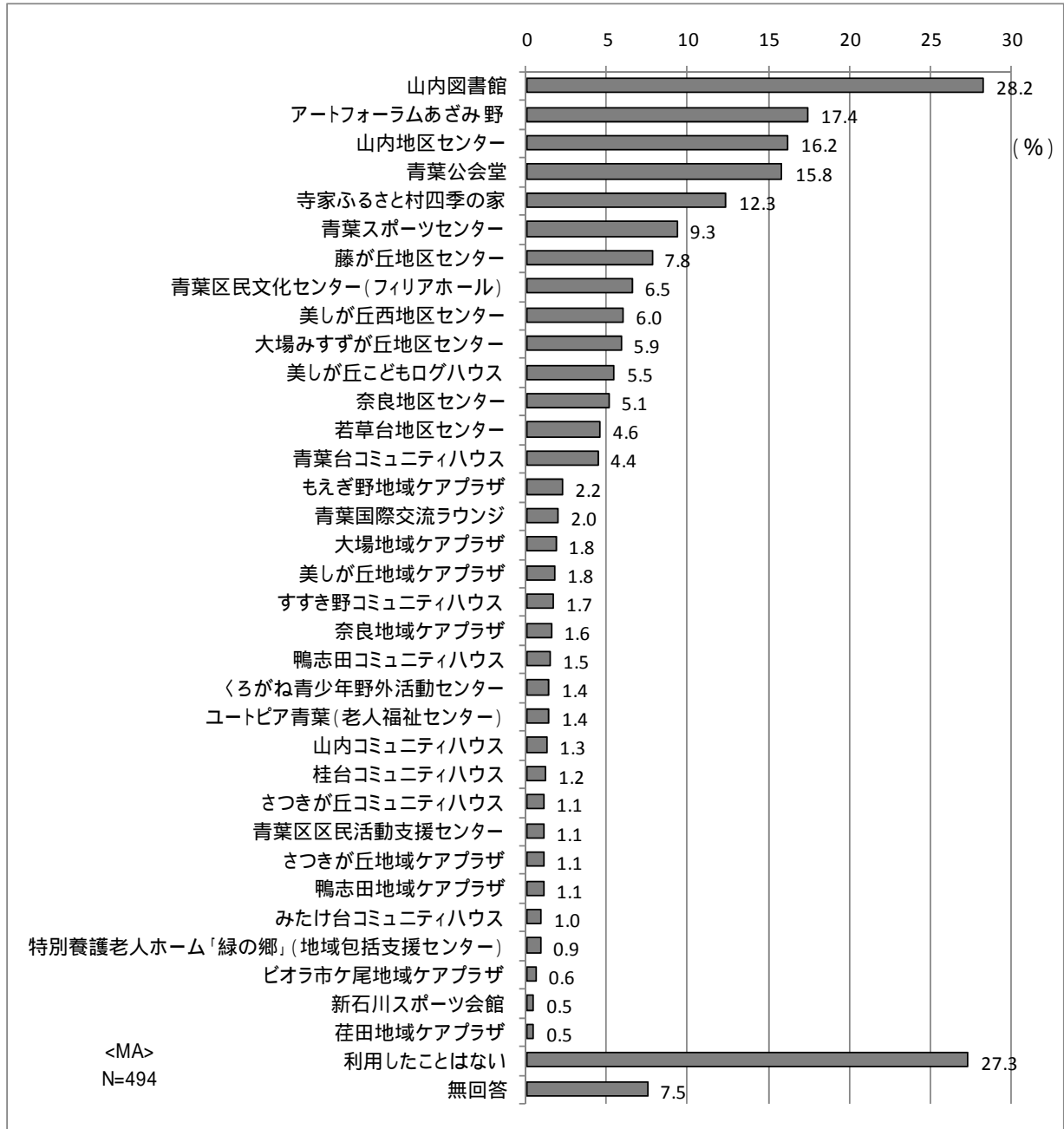


この1年の間に利用した施設（問25）

「山内図書館」の利用率が飛びぬけて多い

- ・ 「山内図書館」を3割近くの人が挙げており、飛びぬけて多い。次に「アートフォーラムあざみ野」、「山内地区センター」、「青葉公会堂」、「寺家ふるさと村四季の家」と続き、ここまでは1割以上の人が挙げている。一方「利用したことはない」は27.3%となっている。

図 施設の利用率（はいくつでも）



自由記述（問26）

「行政」「環境」「道路・交通」「福祉」「教育・文化」「地域社会」「防犯・防災」「医療」の順に意見が多かった

- ・ 青葉区政についての意見として、345件の記述があり、計562件の意見が挙げられた。
- ・ 意見が多かったのは、分野ごとに「行政」144件、「環境」104件、「道路・交通」95件、「福祉」80件、「教育・文化」72件、「地域社会」34件、「防犯・防災」24件、「医療」9件の順である。
- ・ 各分野の中で項目をまとめてみると、最も多かったのは「子育て支援・少子化対策」についての43件である。以下、目立ったものとしては「図書館・文化施設」(36件)、「ごみ・資源化」(34件)、「住環境」「道路」(共に28件)、「公共交通」(27件)などとなっている。

図 意見・要望・提案(自由記述)の分類別件数

大分類	中分類	計	大分類	中分類	計
行政		144	福祉		80
	広報・広聴	27		子育て支援・少子化対策	43
	公共施設	22		高齢者支援	27
	行政サービス	20		障害児・者支援	9
	税金・税の有効利用	18		難病支援	1
	区政一般・青葉区の将来像	14	教育・文化		72
	職員の資質	14		図書館・文化施設	36
	行政改革	10		教育	23
	アンケート	8		スポーツ	10
	イベントの開催	6		文化活動	3
	学校予定地の利用	3	地域社会		34
	広域連携	2		地域コミュニティ	10
環境		104		地域商業振興	10
	ごみ・資源化	34		雇用創出	9
	住環境	28		ボランティア	4
	自然環境	16		地域活性化	1
	公園	12	防犯・防災		24
	路上禁煙・喫煙環境	11		防犯	21
	ペット問題	3		防災	3
道路・交通		95	医療		9
	道路	28		健康診断・予防接種	6
	公共交通	27		病院	2
	混雑・渋滞	17		保健所	1
	交通マナー	11	計		562
	駐車場・駐輪場	9			
	バリアフリー	3			

平成 22 年度 青葉区区民意識調査

【調査ご協力をお願い】

区民の皆様には、日頃から区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

青葉区では、青葉区の生活について行動や意識をうかがい、今後の区政の参考とするために「青葉区区民意識調査」を実施しています。

この調査は、青葉区にお住まいの皆様の中から、16歳以上の男女3,000人の方を無作為に抽出し、お願いしているものです。

調査票は無記名でご提出いただき、ご回答いただいた内容は統計的に処理されますので、皆様のご意見や個人情報などが直接外部に公表されることは絶対にありません。

また、いただいたご回答は本調査の目的以外には一切利用いたしません。

調査結果につきましては、今後、「青葉区ホームページ」や「広報よこはま青葉区版」で公表いたします。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 22 年 6 月

青葉区長 岡田 輝彦

<ご記入にあたって>

封筒のあて名のご本人様にご回答ください。ご本人様が回答できない場合は、恐れ入りますが、調査票を破棄してください。

お答えは、各設問の中であてはまる回答（選択肢）の番号を で囲んでください。

の数は、（ は1つだけ）、（ はいくつでも）のように指定しておりますので、その範囲内でお答えください。

また、「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にできるだけ具体的にその内容をお書きください。

別途指示がある設問については、その指示に従ってお答えください。

質問によっては、ご回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印やことわり書きにご注意ください。

鉛筆または黒のボールペンでご記入ください。

ご記入いただきました調査票は、お名前やご住所を書かずに、同封の返信用封筒に入れて（切手を貼る必要はありません。） **6月23日（水）まで**にご投函ください。

この調査に関するご質問などは、下記までお問合せください。

青葉区役所 区政推進課 企画調整係 電話: 045-978-2217

FAX: 045-978-2410

E-mail: ao-kikaku@city.yokohama.jp

青葉区の生活環境について

問1 あなたは、青葉区のどのようなところに魅力を感じますか。 (はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|----------------------------|
| 1 街路樹や公園など、整備された緑に
囲まれている | 8 地域活動が盛んである |
| 2 田園風景や森林など、農地・自然環
境に恵まれている | 9 買い物に不自由しない |
| 3 歴史、文化的資源が豊富である | 10 都心に近く、通勤・通学などに便利
である |
| 4 整然とした良好なまちなみである | 11 公共交通機関が発達している |
| 5 病院、学校、道路などの生活基盤が
整っている | 12 福祉サービスが充実している |
| 6 教育の水準が高い | 13 その他
() |
| 7 文化の水準が高い | 14 特に魅力を感じない |

問2 日々の生活の中で、不足もしくは不便と思うことは何ですか。 (は3つまで)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 公園 | 14 日用品の店(商店街) |
| 2 緑地(山林や農地など) | 15 就労場所 |
| 3 ごみのリサイクル・減量化 | 16 病院、診療所 |
| 4 道路(道幅、渋滞など) | 17 図書館 |
| 5 駅の駐輪場 | 18 スポーツ施設 |
| 6 駅の駐車場 | 19 地区センター、コミュニティハウス |
| 7 駅への送迎のための駐車場所 | 20 高齢者のための施設 |
| 8 交通手段(バス) | 21 障害者のための施設 |
| 9 交通手段(電車) | 22 交番・警察 |
| 10 保育園・幼稚園 | 23 その他
() |
| 11 小学校・中学校 | 24 特にない |
| 12 子どもの遊び場や子育て支援のための施設 | |
| 13 ショッピングセンター・スーパー | |

問3 あなたの身近な住環境について、心配なことはありますか。 (はいくつでも)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1 まちなみを乱す建物、広告物など | 11 自動車の騒音 |
| 2 建物の用途(店舗、倉庫、工場など)の混在 | 12 路上駐車 |
| 3 高層建築物(日照や眺めなど) | 13 自転車の違法駐輪 |
| 4 敷地の細分化 | 14 自動車の不法投棄 |
| 5 敷地の造成にともなう緑地の減少 | 15 その他ごみの不法投棄 |
| 6 地震 | 16 犯罪、治安 |
| 7 火災 | 17 その他
() |
| 8 河川・水路のはん濫(風水害) | 18 特に心配なことはない |
| 9 河川の汚れや臭い | |
| 10 建築工事の騒音 | |

健康・子育てについて

問4 子育て中の家庭を支援するためには、どのようなことを充実する必要があると考えますか。
(は1つだけ)

- | | |
|--|---|
| 1 親子で遊べる、学べる場所
2 子育ての相談ができる場所
3 子育て情報の収集ができる場所
4 保育園
5 幼稚園 | 6 乳幼児の一時預かり場所
7 手当などの経済的支援
8 その他
()
9 特に必要な支援はない |
|--|---|

問5 あなたは、健康づくりのために取り組んでいることはありますか。
(はいいくつでも) 印の項目は20歳以上の方のみお答えください。

- | | |
|---|--|
| 1 バランスの良い食事
2 健康診断の定期的な受診
3 体重や血圧の日常的なチェック
4 十分な休養や睡眠の確保
5 健康に関する情報の積極的な収集
6 ジョギング、ウォーキングなどの適度な運動
7 スポーツジムの利用 | 8 禁煙
9 禁酒
10 過度な飲酒を控えている(日本酒1合、ビール大瓶1本程度)
11 何もしていない
12 その他
() |
|---|--|

問6 あなたはたばこを吸いますか? (は1つだけ) 20歳以上の方のみお答えください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 吸う -----> (問6-1へ) | 2. 吸わない ----> (問6-2へ) |
|----------------------|-----------------------|

問6で「1 吸う」とお答えの方に)

問6-1 あなたは禁煙に取り組んだことはありますか。(は1つだけ)

- | |
|--|
| 1 禁煙したことはない
2 禁煙したことがあるが現在吸っている
3 現在吸っているが、いつかやめようと思っている |
|--|

(問6で「2 吸わない」とお答えの方に)

問6-2 あなたがたばこを吸わない理由は何ですか。(は1つだけ)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 もともと吸う習慣がないから
2 吸っていたが禁煙したから |
|-----------------------------------|

問7 飲食店では禁煙席・喫煙席のどちらを選択しますか? (は1つだけ)

- | | |
|--|---|
| 1 必ず禁煙席を利用する
2 空いていれば、禁煙席を利用する
3 特に気にしない | 4 必ず喫煙席を利用する
5 空いていれば、喫煙席を利用する
6 その他
() |
|--|---|

情報関係について

問 8 あなたが、普段、よく利用している情報源は何ですか。

(下記 1 ~ 11 からよく利用する順に 3 つまで選んで記入)

1 位	2 位	3 位

1 テレビ 2 ケーブルテレビ 3 新聞 4 本・雑誌(週刊誌、専門誌など) 5 夕刊誌・ミコミ誌などフリーペーパー 6 ラジオ	7 インターネット(パソコン) 8 インターネット(携帯電話・PHS) 9 友人・知人など 10 その他 ()
---	--

問 9 あなたは、青葉区役所からの行政情報について、主にどのような手段で入手していますか。

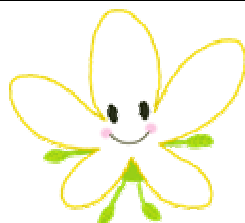
(下記 1 ~ 10 からよく利用する順に 3 つまで選んで記入)

1 位	2 位	3 位

1 ケーブルテレビ 2 広報よこはま青葉区版 3 自治会・町内会の回覧板・掲示板 4 夕刊誌・ミコミ誌などフリーペーパー 5 コミュニティ FM	6 青葉区ホームページ 7 区民活動支援センター 8 青葉区民ポータルサイト(あおばみん) 9 地区センター、コミュニティハウス 10 その他()
--	--

問 10 青葉区役所からの行政情報として、何に関する情報が知りたいですか。(はいいくつでも)

1 妊娠・出産・子育て 2 教育・学校・青少年 3 高齢者支援 4 障害者支援 5 医療・病院 6 健康づくり・検診 7 防犯 8 防災	9 環境・ごみ・リサイクル 10 区内の公共施設の紹介 11 区内公共施設のイベント (講座、講演会、コンサートなど) 12 地域のイベント(祭りなど) 13 区内の歴史、見どころ 14 区役所での手続き 15 区役所の施策 16 その他()
---	--

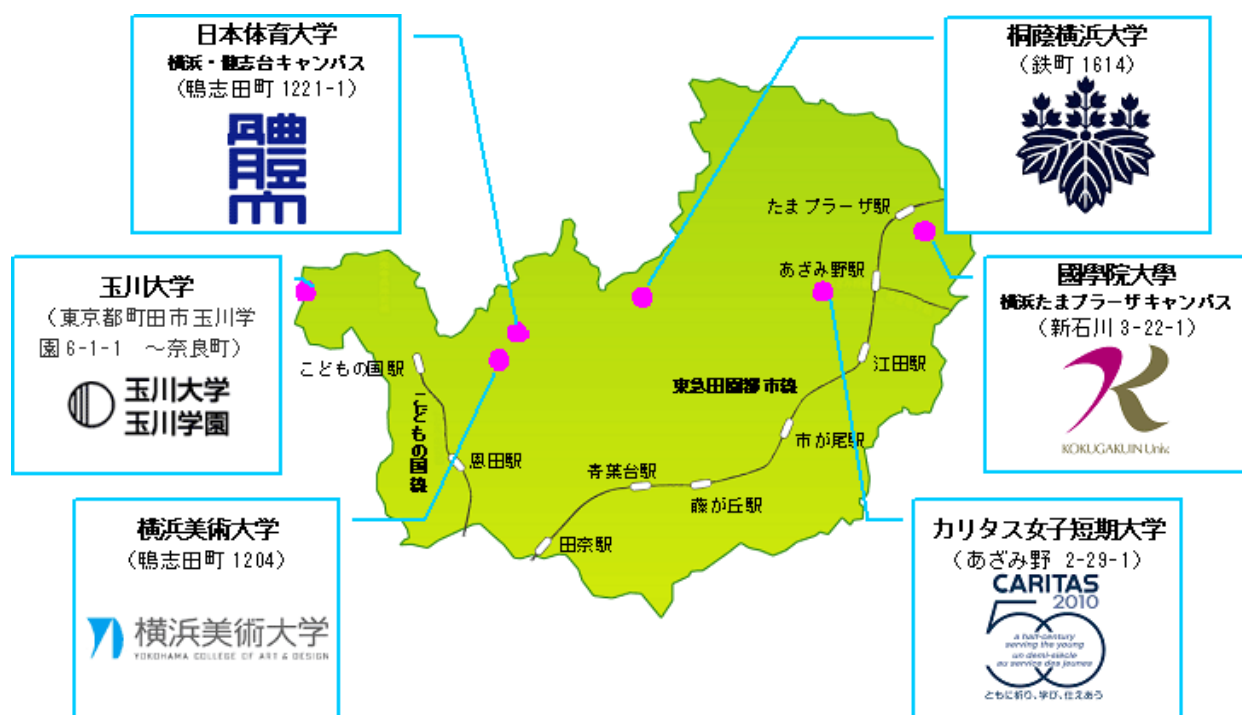


青葉区マスコット「なしかちゃん」

大学連携事業について

問 12 青葉区では、平成 22 年 1 月に、区内にキャンパスを有する 6 つの大学*と連携・協力に関する協定を締結し、大学と地域とのつながりを深め、双方の発展に結びつくような連携や取組を進めています。あなたは大学に対して、どのようなことを期待しますか。(はいいくつでも)

- 1 区民向けの生涯学習講座の開講（受講したい分野： _____）
- 2 健康づくり教室や環境体験学習など、区民参加型イベントの開催（具体的に： _____）
- 3 図書館の区民向け開放
- 4 図書館以外の施設の開放・貸出（具体的に： _____）
- 5 学生による地域ボランティア活動
- 6 災害時の避難場所としての施設開放
- 7 地域や商店会と連携したまちおこし等の共同研究・参画
- 8 地域の小学校・中学校・高校の授業や部活動への協力
- 9 その他（ _____）
- 10 特になし



* 区内 6 大学（50 音順）（学部・学科）

カリタス女子短期大学（言語文化学科）

国学院大学（文学部、法学部、経済学部、神道文化学部、人間開発学部）

玉川大学（文学部、農学部、工学部、経営学部、教育学部、芸術学部、リベラルアーツ学科）

桐蔭横浜大学（法学部、医用工学部、工学部、スポーツ健康政策学部）

日本体育大学（体育学部）

横浜美術大学（造形美術学部）

買い物について

問 13 普段の日用品・食料品の買い物や、たまに行く洋服・家庭電化製品などの買い物先は、主にどちらですか。また、その頻度や、出かける際の主な交通手段は何ですか。

(は1つだけ)

13-1 買い物をする所

	区内の百貨店・大型店	近隣の商店街	コンビニエンスストア	ネットショッピング・宅配	長津田・センター北・センター南などの緑区、都筑区内	その他の横浜市内	町田、相模大野、新百合ヶ丘などの小田急線沿線	南町田、宮前平、溝の口、二子玉川など田園都市線沿線	の東京都内	渋谷、青山、銀座、新宿など	（その他）
記載例 ----->	①	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
(ア) 日用品・食料品の買い物	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
(イ) 洋服・家電など(ア)以外の買い物	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

13-2 買い物をする頻度

	ほぼ毎日	週に2、3日	月に2、3回	月に1回	年に数回	（その他）
(ア) 日用品・食料品の買い物	1	2	3	4	5	6
(イ) 洋服・家電など(ア)以外の買い物	1	2	3	4	5	6

13-3 主な交通手段

	徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	電車	（その他）
(ア) 日用品・食料品の買い物	1	2	3	4	5	6	7
(イ) 洋服・家電など(ア)以外の買い物	1	2	3	4	5	6	7

地域活動・地域社会について

問14 今お住まいの地域（青葉区内）で、この1～2年の間に、次にあげような地域の活動に参加したことはありますか。 （はいくつでも）

1 自治会・町内会活動 2 まつりや盆踊り・運動会などのレクリエーション 3 道路や公園・マンションの庭などの清掃活動 4 こども会の活動 5 婦人会の活動 6 老人クラブの活動 7 福祉・保健に関する活動 8 自然環境や公園・河川の保全に関する活動 9 まちづくりに関する活動 10 地域の防災や防犯に関する活動	11 音楽・絵画、学習会などの文化生涯学習サークル活動 12 共同購入・生協活動などの消費者活動 13 子育てサークル活動 14 P T A 活動 15 古着回収やフリーマーケットなどのリサイクル活動 16 近隣の人たちとのスポーツ活動などの交流 17 その他（ ） 18 興味がなく、特に何もしていない 19 興味はあるが、特に何もしていない （問14-1へ）
--	--

（問14で「19 興味はあるが、特に何もしていない」とお答えの方に）

問14-1 特に何もしていない理由は何ですか。 （は2つまで）

1 仕事などが忙しく参加する暇がない 2 参加の仕方がわからない 3 近所と関わりを持つことが煩わしい	4 住んでいる地域以外で活動をしている 5 きっかけ・呼びかけがない 6 その他（ ）
---	---

問15 あなたは、お住まいの地域の自治会・町内会へ加入していますか。 （は1つだけ）

1 加入している	2 加入していない（問15-1へ）	3 わからない
----------	-------------------	---------

（問15で「2 加入していない」とお答えの方に）

問15-1 自治会・町内会へ加入していない理由は何ですか。 （は2つまで）

1 加入することの利益を感じない 2 いろいろな役をやらされそう 3 近所づきあいが煩わしい	4 加入を勧誘されなかった 5 加入の仕方がわからない 6 その他（ ）
--	--

問16 あなたは、自治会・町内会の加入について、どう思いますか。 （は1つだけ）

1 住民全員が加入すべき 2 できるかぎり住民全員が加入すべき 3 自治会や町内会の役割を理解した上で、各自の判断に委ねるべき	4 任意なのだから加入してもしなくてもよい 5 わからない
---	----------------------------------

問17 あなたは、普段、近所づきあいをどの程度していますか。

(は1つだけ)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 家族のように親しくつきあっている | 4 あいさつをする程度 |
| 2 家に行き来したり、親しく話をする | 5 顔は知っているが、ほとんどつきあがない |
| 3 ときどき話をする程度 | 6 顔も知らない |

問18 「青葉かがやく生き生きプラン ~ 第2期青葉区地域福祉保健計画 ~」について知っていますか。

(は1つまで)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 内容も理解している | 3 聞いたことはあるが、内容は知らない |
| 2 だいたいの内容は知っている | 4 聞いたこともないし、内容も知らない |

*お互いの顔が見え、支え合える、安心して暮らせるまちを作るために、区民と事業者、行政などみんなで取り組む計画として作ったのが「青葉区地域福祉保健計画」です。第2期計画「青葉かがやく生き生きプラン」が4月からスタートし、様々な地域の課題の解決に向けて動いています。

URL : <http://www.city.yokohama.jp/me/aoba/keikaku/>

問19 あなたの住んでいる地域には、現在、どんな課題や問題があると感じますか。

(はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1 近隣の人とのつきあいの希薄化 | 15 ニート(就労・就学しておらず、なおかつ働く意思も、学ぶ意思も持たない若者)となる青少年の増加 |
| 2 家庭・地域の子育て機能の低下 | 16 高齢化による介護問題の深刻化 |
| 3 子どもが安心して遊ぶ場の不足 | 17 認知症者に対する理解の不足 |
| 4 子どもの減少による地域活力の低下 | 18 地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足 |
| 5 子どもたちの将来への不安(進学、就職、友だちづきあい、結婚など) | 19 地域活動をする場所の不足 |
| 6 障害者に対する理解不足 | 20 高齢者や障害者の外出困難 |
| 7 障害者の高齢化・重度化 | 21 子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足 |
| 8 発達障害児・者への支援の不足 | 22 身近な健康づくりの場の不足 |
| 9 障害者の就労支援の不足 | 23 地域に関する情報の不足 |
| 10 段差解消などバリアフリーの不足 | 24 住宅の建て替えの増加 |
| 11 災害に対する備えの不足 | 25 バスの便の減少 |
| 12 犯罪の増加・治安の悪化 | 26 電車内の混雑 |
| 13 青少年の非行 | 27 その他 |
| 14 不登校、ひきこもりの増加 | |

問20 上記1~27の質問項目のうち、あなたにとって、特に重要度が高いとお考えの項目を3つまでお知らせください。

(1~27の番号から3つを選んで記入)

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------

問21 上記1~27の質問項目のうち、特に区役所に対策をとってほしい項目を3つまでお知らせください。

(1~27の番号から3つを選んで記入)

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------

問 22 あなたの住んでいる地域で、以下の課題はここ1～2年の間にどのように変化したと思いますか。
 (は各項目に1つまで)

	良くなった	変わらない	悪くなった
記載例 ----->	①	2	3
1 近隣の人とのつきあいの希薄化	1	2	3
2 家庭・地域の子育て機能の低下	1	2	3
3 子どもが安心して遊ぶ場の不足	1	2	3
4 子どもの減少による地域活力の低下	1	2	3
5 子どもたちの将来への不安(進学、就職、友だちづきあい、結婚など)	1	2	3
6 障害者に対する理解不足	1	2	3
7 障害者の高齢化・重度化	1	2	3
8 発達障害児・者への支援の不足	1	2	3
9 障害者の就労支援の不足	1	2	3
10 段差解消などバリアフリーの不足	1	2	3
11 災害に対する備えの不足	1	2	3
12 犯罪の増加・治安の悪化	1	2	3
13 青少年の非行	1	2	3
14 不登校、ひきこもりの増加	1	2	3
15 ニート(就労・就学しておらず、なおかつ働く意思も、学ぶ意思も持たない若者)となる青少年の増加	1	2	3
16 高齢化による介護問題の深刻化	1	2	3
17 認知症者に対する理解の不足	1	2	3
18 地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	1	2	3
19 地域活動をする場所の不足	1	2	3
20 高齢者や障害者の外出困難	1	2	3
21 子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	1	2	3
22 身近な健康づくりの場の不足	1	2	3
23 地域に関する情報の不足	1	2	3
24 住宅の建て替えの増加	1	2	3
25 バスの便の減少	1	2	3
26 電車内の混雑	1	2	3

危機管理について

問 23 一戸建ての住宅や小規模アパートでも住宅用火災警報器の設置が義務付けられたことを知っていますか。 (は1つだけ)

- | | |
|----------------------------------|--------|
| 1 知っており、自宅にも設置されている (問 23-1 へ) | 3 知らない |
| 2 知っているが、自宅には設置されていない (問 23-2 へ) | |

* 新築住宅は平成 18 年 (2006 年) 6 月 1 日から、既存住宅は平成 23 年 (2011 年) 6 月 1 日になるまでに、住宅用火災警報器を設置することが、横浜市火災予防条例で義務付けられました。

* 設置が義務化された場所は、台所、寝室、避難する階段です。

(問 23 で「1 知っており、住宅にも設置されている」とお答えの方に)

問 23-1 住宅用火災警報器をあなたの住宅のどの場所に設置されていますか。

(はいくつでも)

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 台所 | 3 階段 | 5 その他 |
| 2 寝室 | 4 廊下 | () |

(問 23 で「2 知っているが、住宅には設置されていない」とお答えの方に)

問 23-2 あなたのお住まいで、住宅用火災警報器などが設置されていないのはなぜですか。

(はいくつでも)

- | |
|-------------------------------|
| 1 住宅用火災警報器の付け方がわからないから |
| 2 住宅用火災警報器をどこに付けてよいのかわからないから |
| 3 住宅用火災警報器をどこで購入してよいかわからないから |
| 4 今後、機能の良い住宅用火災警報器が販売されると思うから |
| 5 今後、住宅用火災警報器が安く販売されると思うから |
| 6 その他 () |

区政・行政サービスについて

問 24 区内の 2 か所の郵便局 (青葉台、横浜奈良郵便局) で行っている証明発行窓口サービスを知っていますか。 (は1つだけ)

- | |
|------------------------------------|
| 1 知っており、利用したことがある |
| 2 知っているが、まだ利用したことがなく、今後は利用したい |
| 3 知っているが、まだ利用したことがなく、今後も利用するつもりはない |
| 4 知らないが、今後は利用したい |
| 5 知らないし、今後も利用するつもりはない |

* 青葉区では、平成 20 年 (2008 年) 1 月から、区内の 2 か所の郵便局 (青葉台、横浜奈良郵便局) で、住民票の写しなどの証明発行窓口サービスをモデル事業として実施しています。

問25 あなたは、この1年の間に、どの施設を利用したことがありますか。(はいくつでも)

1 山内地区センター	19 青葉区区民活動支援センター
2 藤が丘地区センター	20 青葉区民文化センター(フィリアホール)
3 若草台地区センター	21 くろがね青少年野外活動センター
4 美しが丘西地区センター	22 美しが丘こどもログハウス
5 奈良地区センター	23 山内図書館
6 大場みすずが丘地区センター	24 ユートピア青葉(老人福祉センター)
7 鴨志田コミュニティハウス	25 荏田地域ケアプラザ
8 さつきが丘コミュニティハウス	26 もえぎ野地域ケアプラザ
9 山内コミュニティハウス	27 奈良地域ケアプラザ
10 桂台コミュニティハウス	28 さつきが丘地域ケアプラザ
11 すずき野コミュニティハウス	29 美しが丘地域ケアプラザ
12 みたけ台コミュニティハウス	30 大場地域ケアプラザ
13 青葉台コミュニティハウス	31 鴨志田地域ケアプラザ
14 青葉公会堂	32 ビオラ市ケ尾地域ケアプラザ
15 青葉スポーツセンター	33 特別養護老人ホーム「緑の郷」 (地域包括支援センター)
16 新石川スポーツ会館	34 アートフォーラムあざみ野
17 寺家ふるさと村四季の家	35 利用したことはない
18 青葉国際交流ラウンジ	

問 26 青葉区政について、具体的なご意見、ご要望、ご提案などありましたら自由にご記入ください。

あなた自身について

F 1 あなたの年齢をお答えください。 (は1つだけ)

1 16～19歳	5 35～39歳	9 55～59歳	13 75歳以上
2 20～24歳	6 40～44歳	10 60～64歳	
3 25～29歳	7 45～49歳	11 65～69歳	
4 30～34歳	8 50～54歳	12 70～74歳	

F 2 あなたの性別をお答えください。 (は1つだけ)

1 男性	2 女性
------	------

F 3 あなたは、青葉区（平成5年以前は緑区北部支所管内）に、どのくらいの期間お住まいになっていますか。 (は1つだけ)

1 1年未満	6 20年以上～30年未満
2 1年以上～5年未満	7 30年以上～40年未満
3 5年以上～10年未満	8 40年以上～50年未満
4 10年以上～15年未満	9 50年以上
5 15年以上～20年未満	10 わからない

F 4 あなたが青葉区（平成5年以前は緑区北部支所管内）に来られる前にお住まいになっていたところはどちらですか。 (は1つだけ)

1 生まれてからずっと青葉区	5 町田市
2 青葉区以外の横浜市	6 東京23区
3 川崎市	7 その他()
4 横浜市、川崎市以外の神奈川県内	

(F 4で「2」～「7」(「1」以外)とお答えの方に)

F 4-1 あなたが青葉区へ転入してきたもっとも大きな理由は何ですか。 (は1つだけ)

1 家を購入したため	7 両親と同居するため
2 青葉区内に転勤になったため	8 子どもと同居するため
3 青葉区内への転勤ではないが、 転勤に伴って	9 青葉区に魅力を感じたため
4 就職のため	(魅力を感じた点：)
5 進学のため	
6 子どもの通学のため	10 その他 ()

F 5 あなたのお住まいは、この中のどれにあたりますか。 (は1つだけ)

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1 持家（一戸建て） | 4 借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮） |
| 2 持家（共同住宅） | 5 その他() |
| 3 借家（一戸建て） | |

F 6 あなたの職業はどれにあたりますか。 (は1つだけ)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 自営業・自由業 | 6 学生 |
| 2 自営業の家族従業者 | 7 家事専業（主夫・主婦） |
| 3 正社員、正職員 | 8 無職 |
| 4 契約社員、派遣社員、嘱託職員 | 9 その他 |
| 5 アルバイト、パート | () |

F 7 あなたの家族形態はどれにあたりますか。同居をしている方を対象としてお答えください。 (は1つだけ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1 ひとり暮らし | 4 親と子と孫（3世代） |
| 2 夫婦だけ | 5 その他 |
| 3 親と子（2世代） | () |

F 8 あなたにお子様はいますか。いる場合、お子様は次のどの段階にあたりますか。別居しているお子様も含め全員について、それぞれお答えください。 (はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 小学校入学前 | 7 学校教育終了 未婚 同居 |
| 2 小学校在学中 | 8 学校教育終了 未婚 別居 |
| 3 中学校在学中 | 9 学校教育終了 既婚 同居 |
| 4 高校在学中 | 10 学校教育終了 既婚 別居 |
| 5 各種学校、専修・専門学校在学中 | 11 その他（具体的に) |
| 6 短大・大学・大学院在学中 | 12 子どもはいない |

F9 あなたのご家庭は共働きですか。 (は1つだけ)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

F 10 現在同居しているご家族で、あなた自身を除き、下記にあてはまる方はいますか。 (はいくつでも)

- | | |
|------------|------------------|
| 1 乳幼児・未就学児 | 4 高校生 |
| 2 小学生 | 5 専門学校生、大学生 |
| 3 中学生 | 6 上記にあてはまる家族はいない |

(F10で「1」または「2」とお答えの方に)

F 10-1 あなたの家庭で日中子どもの世話をする方はいますか。 (は1つだけ)

- | | |
|------|-----|
| 1 いる | いない |
|------|-----|

F11 あなた本人も含めて区内に65歳以上のご家族はいますか。

(は1つだけ)

1 同居している

2 別居だが区内にいる

3 いない

F12 あなたの住んでいる町はどこですか(選択肢は五十音順)

(は1つだけ)

【あ】

1 青葉台一丁目～二丁目

7 美しが丘四丁目～五丁目

13 荏田北一丁目～三丁目

2 あかね台一丁目～二丁目

8 美しが丘西一丁目～二丁目

14 荏田西一丁目～五丁目

3 あざみ野一丁目～四丁目

9 美しが丘西三丁目

15 榎が丘

4 あざみ野南一丁目～四丁目

10 梅が丘

16 大場町

5 市ヶ尾町

11 荏子田一丁目～三丁目

17 恩田町

6 美しが丘一丁目～三丁目

12 荏田町

【か】

18 柿の木台

20 上谷本町

22 鉄町

19 桂台一丁目～二丁目

21 鴨志田町

23 黒須田

【さ】

24 桜台

27 下谷本町

30 すずき野一丁目～三丁目

25 さつきが丘

28 しらとり台

31 すみよし台

26 寺家町

29 新石川一丁目～四丁目

【た】

32 たちばな台一丁目～二丁目

34 千草台

33 田奈町

35 つつじが丘

【な】

36 奈良町

37 奈良一丁目～五丁目

38 成合町

【は】

39 藤が丘一丁目～二丁目

【ま】

40 松風台

43 緑山

46 もみの木台

41 みすずが丘

44 もえぎ野

42 みたけ台

45 元石川町

【わ】

47 若草台

お疲れ様でした。質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、6月23日(水)までにご投函ください。

